

# 商学部 履修要項 目次

- ◆人材養成目的、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー…………… 2
- ◆商学部沿革…………… 4

## I 履修計画を立てる前に

---

---

- 1. 科目履修について…………… 6  
単位制、科目登録、セメスター制度、授業について／学位取得について／入学前単位認定について
- 2. 成績評価について…………… 8  
成績評価方法／GPA制度とは／GPA制度の概要／履修中止制度／  
クレーム・コミッティ制度／追試験制度／成績評価の書き換えについて

## II 商学部での履修のすすめ方について

---

---

- 1. 商学部設置科目一覧表…………… 12
- 2. 履修体系…………… 14  
卒業必要単位について／標準的年次別単位修得例／最高・最低登録単位数／早期卒業制度について／  
5年一貫プログラムについて
- 3. 履修要領(商学総合コース)＜各類の履修方法等について＞…………… 22  
履修要領(フレックス複合コース)＜各類の履修方法等について＞…………… 32
- 4. 開講科目一覧…………… 52

- ◆同志社大学学則 学部一般内規
- ◆外国留学に関する諸規定
- ◆学業履修について

## 商学部 人材養成目的、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

商学部は、1922年（大正11年）に設立された同志社専門学校高等商業部を起源とし、キリスト教主義・自由主義・国際主義を柱とした大学の教育理念に基礎をおきつつ、多様な機会を通じて「ビジネスについての十分な専門的知識をもつとともに、幅広い見識をもった人材」の養成をめざしてきた。幅広い見識とは、単に知識の豊かさを意味するのではなく、自治・自立の精神も含む「良心教育」を根底においた見識を意味する。以上のような理念の下で、本学部は、自発的な問題発見能力と論理的な思考を身につけ、複雑な現代社会に対処していくための主体的で冷静な判断能力を有した人材を育成することを目標としている。

### 【人材養成目的】

商学部商学科は、現代産業社会の経済活動について、基礎的な知識の修得をはかるとともに豊かな教養を培い、専門領域の体系的かつ系統的な教育方針に基づく学習と実践的能力の育成を通して、企業や産業に関わる諸問題を的確に分析し、その解決のための判断能力を身につけ、国内外の各分野において「良心を手腕に運用する」有為な人材を養成することを目的とする。

### 【ディプロマ・ポリシー】（学位授与方針）

#### （知識・技能）

現実の国内外の企業や産業が直面する諸課題を、現代産業社会の経済活動に関する幅広い知識と深い洞察力にもとづいて理解することができるようになる。

#### （思考力・判断力・表現力）

現実の国内外の企業や産業が直面する諸課題を解決するために、理論的な思考方法および判断能力を身に付けるとともに、それらを社会に対して適切に発信することができるようになる。

#### （主体性・多様性・協働性）

課題に解決に当たって自ら積極的に取り組むとともに、多様な価値観に基づく思考と判断を行い、グループワークなどの共同作業を通じて、協調性を持つことができるようになる。

### 【カリキュラム・ポリシー】（教育課程編成方針）

現実の国内外の企業や産業が直面する諸課題を発見、理解、解決できる有為な人物を養成するために、専門教育科目群と教養教育科目群、自主選択科目群を設置する。なお、専門科目には5つの学系を設置する。商学総合コースは、専門教育科目群から80単位以上、教養教育科目群から28単位以上を履修する。フレックス複合コースは専門教育科目群から70単位以上、教養教育科目群から20単位以上を履修する。なおフレックス複合コースは2年次において（専門特化型）と（副専攻型）いずれかの履修コースを選択する。

1年次において履修する、2類入門科目は、現実の国内外の企業や産業が直面する諸課題を発見し、分析する基本的態度と、それらを解決するために必要な基礎的専門知識を修得することを到達目標とする。入門科目4科目のうち、3科目計6単位以上を履修する。

1 年次および2 年次以上において履修する、3 類学系基礎科目は、現実の国内外の企業や産業が直面する諸課題を発見し、的確に分析する能力と、それらを解決するために必要な専門的知識を修得することを到達目標とする。学系基礎科目Ⅰは4 科目計8 単位以上を1 年次において履修し、学系基礎科目Ⅱはすべての学系から各2 単位以上、計10 単位以上を2 年次において履修する。

3 年次以上において履修する4 類学系展開科目は、現実の国内外の企業や産業が直面する諸課題を発見し、深く分析する能力と、それらを解決するために必要な高度な専門的知識を修得することを到達目標とする。商学総合コースは選択した主学系・副学系2 つの学系科目から各4 単位以上、計20 単位以上を3 年次から4 年次にかけて履修する。フレックス複合コースは選択した主学系科目のうち10 単位以上(副専攻型)、または20 単位以上(専門特化型)を2 年次から4 年次にかけて履修する。なお(専門特化型)については、関連する5 類実践科目及び6 類専門外国語科目も20 単位に算入する。

すべての年次の学生が選択履修する、5 類実践科目は、現実の国内外の企業や産業が直面する諸課題を、実践的側面から理解するために必要な専門的知識を修得することを到達目標とし、講義または実習形式の科目を選択履修する。

3 年次以上の学生が履修する、6 類専門外国語科目は、現実の国内外の企業や産業が直面する諸課題を理解するために必要な専門的な外国語の運用能力を修得することを到達目標とし、演習形式の授業科目2 単位以上を履修する。

1 年次から4 年次にかけて選択履修する、8 類隣接科目は、現実の国内外の企業や産業が直面する諸課題を理解するために必要な幅広い知識を修得することを到達目標とする。

1 年次から4 年次にかけて履修する、9 類教養科目は、国内外の各分野において、建学の精神を備えた「良心を手腕に運用する」有為な人物となりうるために必要な豊かな教養を修得することを到達目標とし、全学共通教養教育科目(同志社科目、ライフデザイン科目、国際教養科目、クリエイティブ・ジャパン科目、人文科学系科目、社会科学系科目、自然科学系科目、人間科学系科目、保健体育科目)の中から12 単位以上を、10 類外国語科目は、外国語の実践的な運用能力を修得することを到達目標とし、全学共通教養教育科目に設置されている英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語の7 カ国語のうち選択した科目の中から、商学総合コースは2 カ国語、フレックス複合コースは1 カ国語を選択し、1 カ国語につき8 単位以上を1 年次から2 年次にかけて履修する。

1 年次から4 年次にかけて選択履修する、11 類自主選択科目は、自己の学問的関心と学習意欲にもとづき、主体的に取り組む姿勢を身につけるために「大学コンソーシアム京都単位互換科目」や「同志社女子大学単位互換科目」等の中から、商学総合コースは18 単位以内で、フレックス複合コースは36 単位以内の範囲で履修する。なお、フレックス複合コース(副専攻型)は選択した副専攻に含まれる科目のうち10 単位以上を履修する。

1 年次において選択履修する1 類導入科目は、大学および商学部における学びの基本的な姿勢を身につけることを到達目標としており、大学における学習の基礎となる思考方法、冷静な判断力、プレゼンテーションなどの表現力の基礎を身に着けることを到達目標とする。

2 年次秋学期から4 年次にかけて選択履修する、7 類演習科目は、現実の国内外の企業や産業が直面する諸課題を理論的かつ実証的に的確に分析する態度と、それを解決するために必要な主体的で冷静な判断能力を、多様な価値観に基づいて養成し、グループワーク等を通じた共同作業により、協調性を修得することを到達目標とする。具体的には、学術論文等の講読と研究発表を中心とした演習形式の授業科目12 単位を選択履修する。

以上

## 商 学 部 沿 革

1922年（大正11年）	4月	同志社専門学校高等商業部設立
1927年（昭和2年）	11月	高等商業部校舎を岩倉村に移転新築決定
1929年（昭和4年）	4月	高等商業部岩倉新校舎に移転
1930年（昭和5年）	12月	高等商業部を同志社高等商業学校と改称
1944年（昭和19年）	4月	高等商業学校を同志社経済専門学校と改称
1947年（昭和22年）	12月	経済専門学校を母体として同志社大学商学部を設立することを決定
1949年（昭和24年）	4月	同志社大学商学部設立
1949年（昭和24年）	7月	同志社大学商学会機関誌『同志社商学』創刊号発行
1950年（昭和25年）	4月	大学院商学研究科修士課程商学専攻設置
1950年（昭和25年）	9月	商学部研究室竣工
1955年（昭和30年）	1月	商学部研究室明德館5階に移転
1957年（昭和32年）	4月	大学院商学研究科博士課程金融・貿易専攻設置
1965年（昭和40年）	4月	大学院商学研究科博士課程の専攻名を商学専攻に改める
1968年（昭和43年）	1月	商学部研究室至誠館4・5階に移転
1975年（昭和50年）	4月	大学院商学研究科商学専攻博士課程（前期課程・後期課程）に改める
1994年（平成6年）	4月	大学院商学研究科商学専攻博士課程の前期課程に研究者コース、 専門職コースの両コースを開設
1996年（平成8年）	4月	大学院商学研究科商学専攻博士課程（前期課程）専門職コースに ベンチャービジネス・プログラムを開設
1997年（平成9年）	4月	商学部で昼夜開講制を実施
1998年（平成10年）	4月	商学部、大学院商学研究科で Semester 制を実施
1999年（平成11年）	4月	商学部商学科と学科名明示
2004年（平成16年）	4月	大学院商学研究科商学専攻博士課程(前期課程)の研究者コース と専門職コースを統合
2007年（平成19年）	11月	文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」採択に伴い、 「商学部導入教育センター」を設置
2013年（平成25年）	4月	1・2年次生の学習校地を京田辺校地から今出川校地に統合 新カリキュラムを導入(商学総合コース、フレックス複合コースの設置・ 昼夜開講制に基づくコース制の学生募集を停止)
2022年（令和4年）	4月	同志社大学商学部設立100周年 現在に至る

---

---

## I 履修計画を立てる前に

---

---

# 1. 科目履修について

## ■単位制，科目登録，セメスター制度，授業について

「単位制」とは，学部ごとの教育課程（カリキュラム）に定められた授業科目を登録・履修し，試験に合格することにより，それぞれの授業科目の所定の単位を得て，4年間の修業年限中に卒業に必要な単位数を修得していく制度のことである。また，自分で履修する科目を決め，定められた期間・方法で学部届け出を「科目登録」という。

「セメスター制度」は，1年間を春学期と秋学期にわけ，それぞれの学期で完結する授業を行い，成績評価も学期ごとに行う制度である。同志社大学における授業時間は1講時について90分とし，これを2時間と計算する。例えば，「春学期・週2時間」とは，春学期期間中に90分の授業が週1回行われるということであり，「秋学期・週4時間」とは，秋学期期間中に90分の授業が週2回行われるということの意味する。

## ■学位取得について

商学部にて4年以上在学（休学期間等を除く）し，定められた教育課程（カリキュラム）に従って授業科目を履修し，卒業に必要な単位を修得した者は，「学士（商学）（同志社大学）」の学位を授与する。

## ■入学前単位認定について

入学前に他大学や同志社大学の他の学部で修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む）を，商学部において修得したものと認定することができる。認定を希望する場合は，第1年次の科目登録前の所定の期間に申請を行うこと。日時は4月2日の学習指導にて確認すること。なお，入学前単位認定は新生にのみ適用されるので注意すること。

## ■■ 科目登録から試験までの流れ ■■

春学期	3月下旬以降、履修科目登録変更までの指定された日	先行登録
	4月4日(金)～10日(木)	<b>授業1週目(DO Week)</b>
	4月8日(火) 10:00～9日(水) 17:00	一般登録
	4月11日(金)	<b>授業2週目(面接(対面)授業開始)</b>
	4月15日(火) 9:00～17日(木) 17:00	登録科目確認とエラー修正
	5月12日(月)・13日(火)	春学期履修中止受付
	7月17日(木)	面接(対面)授業最終日
	7月18日(金)	春学期末試験開始
	7月31日(木)	春学期末試験終了
	9月12日(金)	春学期成績通知
秋学期	成績通知日以降、履修科目登録変更までの指定された日	先行登録(削除・追加)
	9月24日(水)～30日(火)	<b>授業1週目(DO Week)</b>
	9月25日(木)・26日(金)	登録変更期間
	10月1日(水)	<b>授業2週目(面接(対面)授業開始)</b>
	10月上旬頃	登録科目確認とエラー修正
	10月下旬頃	秋学期履修中止受付
	1月19日(月)	面接(対面)授業最終日
	1月20日(火)	秋学期末試験開始
	2月9日(月)	秋学期末試験終了
	3月13日(金)	秋学期成績通知

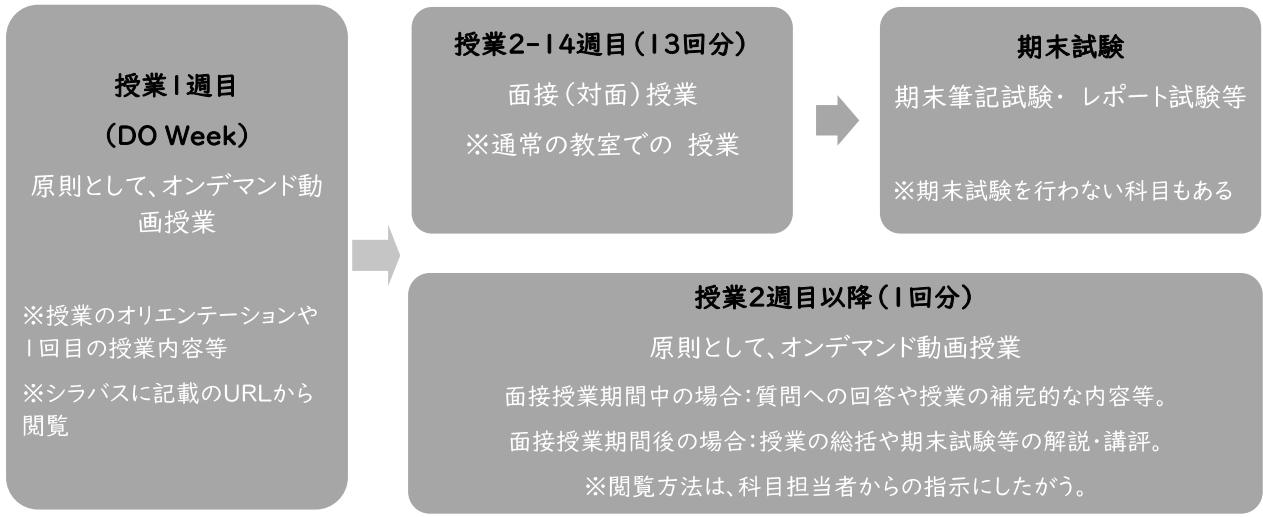
◎各項目の詳細については別冊の商学部登録要領を参照すること。

**■授業 1 週目 (DO Week) と授業 2 週目以降に行われるオンデマンド配信の受講方法について**

通常の教室での授業は 13 週の授業期間に受講し、残り 2 週分の授業はオンデマンドで受講することを基本とします。授業 1 週目 (DO Week) のオンデマンド配信はシラバスから URL を確認、受講の上、指示された課題等に取り組んでください。具体的な受講手順については大学 HP に掲載していますので、以下の URL、QR コード等から詳細を確認してください。

また、授業 2 週目以降に行われるオンデマンド配信の受講方法については科目担当者からの指示に従ってください。

**授業の進行イメージ**



なお、ゼミの一部クラスなど、第 1 週目と授業 2 週目以降のオンデマンド動画授業を行わないクラスもあります。その場合は、学期中に別の曜日講時等で授業が行われます。詳細は各クラスのシラバスで確認してください。

**■DO Week から始まる新たな学び**

[https://www.doshisha.ac.jp/students/new\\_calender/index.html](https://www.doshisha.ac.jp/students/new_calender/index.html)



**■「学則第 9 条の 5 対象」について**

同志社大学学則第 9 条の 5 では、文部科学省令である大学設置基準に規定されている遠隔授業の卒業必要単位数への算入上限を規定しており、学修支援システム DUET やシラバスに掲載している「学則第 9 条の 5 対象」は履修中の科目、もしくは単位修得済の科目がその「対象」であるか「対象外」であるかを示すものです。

本学では、2023 年度までは新型コロナウイルス感染症における特例措置等により、すべての科目を「学則第 9 条の 5」の「対象外」としてしています。これにより、すべての修得単位が卒業必要単位数へ算入されるため、この表示に留意する必要はありませんでしたが、2024 年度以降は特例措置の適用がなくなるため、この項目に留意して履修計画を立てる必要があります。

所属する学部によって卒業必要単位数への算入上限単位数が決まっており、各科目が「対象」か「対象外」かについてはシラバスで確認してください。詳細については以下 URL もしくは QR コードから確認してください。

**「学則第 9 条の 5 対象」について**

<https://duet-man.doshisha.ac.jp/student/article9-5.pdf>



## 2. 成績評価について

### ■成績評価方法

GPA（Grade Point Average）制度によって行われる。

### ■GPA制度とは

GPA制度は、大学教育における成績評価制度のグローバル・スタンダードとして、現在、国際的にもっとも認知度が高い制度で、日本の大学においても、標準的成績評価制度として普及している。GPA制度導入の目的は、大学教育の国際的競争環境に関する教員と学生双方の自覚を高め、GPAを核とした確かな履修指導や学習支援システムを充実させることにより、学生の自立的な自己教育を支援し、大学の教育を質的に一層向上させることにある。

### ■GPA制度の概要

各科目の成績評価を以下の判定基準にしたがい、5段階（A, B, C, D, F）で評価し、各成績評価段階に4.0～0.0の評点（Grade Point）を付与して、1単位あたりの評定平均値（Grade Point Average）を算出する方法である。GPAは、不合格を意味するF評価の成績を含めて以下の計算式で算出されるが、F評価であった科目を再履修してD以上の評価を得た場合、最後についたF評価は新たな評価に書き換えられて算出される。

#### 判定基準

評価	評点	判定内容
A	4.0	特に優れた成績を示した
B	3.0	優れた成績を示した
C	2.0	妥当と認められる成績を示した
D	1.0	合格と認められる最低限度の成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

[GPA算出方法]

$(A \times 4.0 + B \times 3.0 + C \times 2.0 + D \times 1.0 + F \times 0.0) / (A + B + C + D + F)$

A～F はA～Fの評価がついた科目の単位数の合計

成績通知書には履修した全ての科目の評価とGPAが記載され、成績証明書には不合格科目を除く履修した全ての科目の評価とGPAが記載される。

### ■履修中止制度

GPA制度では、学生は自分の成績をより真剣に考えなければならないので、授業開始後1ヵ月程度授業を受講し、望ましい評価が得られないと判断した科目については、定められた期間中に、一定の条件のもとに、登録科目の履修中止を認める。

### ■クレーム・コミッティ制度

厳格な成績評価制度の導入に伴い、大学は学生により質の高い教育を提供していかなければならない。このため、授業クラス毎の評点の平均値や分布、授業講評を公開している。また、大学が学生からの授業内容・授業方法に関する改善の要望や成績評価に関する質問や異議申し立てを受け付け、調査し回答するために、クレーム・コミッティ制度を設けている。

#### ★注意事項★

- ・受講している科目の授業内容や授業方法に関する改善の要望がある場合は、商学部・商学研究科事務室に申し出ること。なお、いかなる場合であっても相談者の学生IDや氏名が授業担当者に明かされることはなく、相談によって不利益を被ることはない。
- ・成績評価に関する質問や異議申し立てを行いたい場合は、定められた成績通知日から1週間以内に商学部・商学研究科事務室に申し出ること。



## ■追試験制度

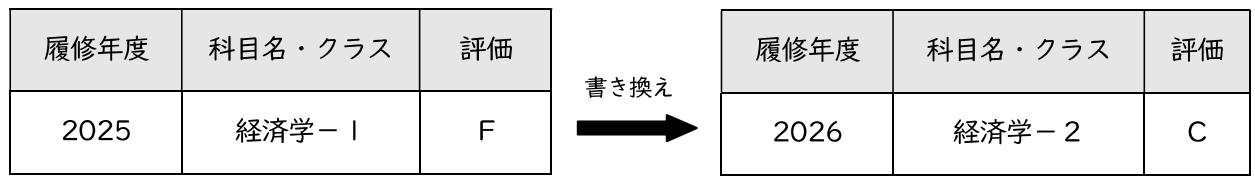
全年次生を対象として病気またはやむを得ない事由により、期末試験又は学部教授会が認める期末試験以外の評価を受けることができなかった場合、追試験の申請を行うことができる。  
 詳細については学内の掲示板等で確認すること。

## ■成績評価の書き換えについて

GPA制度導入後、F評価であった科目を再履修してD評価以上を得た場合、直近のF評価は新たな評価に書き換えられる。

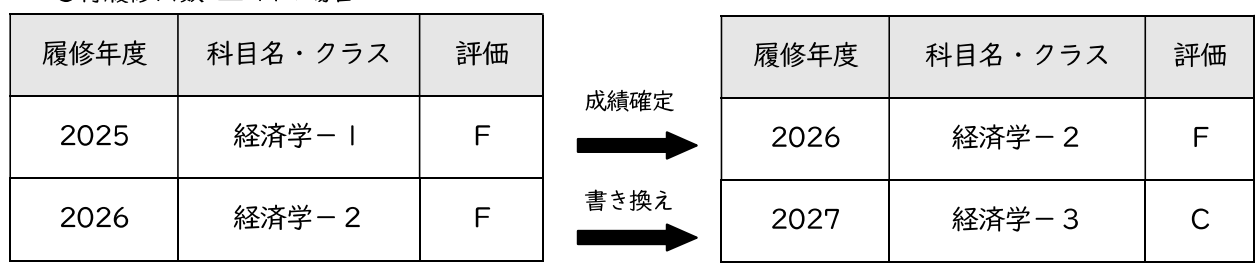
《例》

●再履修回数 1 回の場合



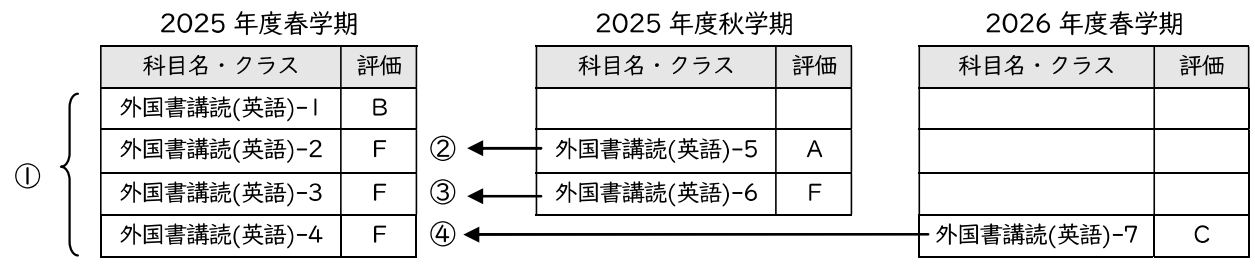
2025年度の「F」評価が2026年度の「C」評価によって書き換えられる。書き換えられたことによって2025年度の「F」評価の評点「0.0」は算入されなくなる。

●再履修回数 2 回の場合



2026年度の「F」評価によって2025年度の「F」評価は確定。よって以後の成績通知書にこの「F」評価は記載される。2026年度の「F」評価が2027年度の「C」評価によって書き換えられる。書き換えられたことによって2026年度の「F」評価の評点「0.0」は算入されなくなる。

●同一学期に複数回履修した場合



- ① 同一学期内で成績評価の書き換えは行わない。
- ② 2クラスは、2025年度秋学期5クラスの「A」評価に書き換えられる。書き換えられたことによって2025年度春学期2クラスの「F」評価の評点「0.0」は算入されなくなる。
- ③ 3クラスは、2025年度秋学期6クラスの「F」評価によって「F」評価に確定。3クラスの「F」評価は以後の成績通知書に記載されるとともに評点「0.0」が算入される。
- ④ 4クラスは、2026年度春学期7クラスの「C」評価に書き換えられる。書き換えられたことによって2025年度春学期4クラスの「F」評価の評点「0.0」は算入されなくなる。

### ★注意事項★

「大学コンソーシアム京都単位互換科目」「同志社女子大学単位互換科目」については成績を書き換えない。



## Ⅱ 商学部での履修のすすめ方について

# 1. 商学部設置科目一覧表

<b>1類 導入科目</b>	アカデミック・リテラシーⅠ アカデミック・リテラシーⅡ ビジネス・トピックス				
<b>2類 入門科目</b>	基本統計学	現代ビジネス	簿記学Ⅰ	簿記学Ⅱ	
<b>3類 学系基礎科目</b> <u>学系基礎科目Ⅰ</u>	経済・歴史学系 経済学	商業・金融学系 商業学	貿易・国際学系 国際経済学	企業・経営学系 経営学	簿記・会計学系 会計学
<u>学系基礎科目Ⅱ</u>	ミクロ経済学 マクロ経済学 計量経済学 商業史	流通論 マーケティング論 金融論 証券論	貿易論 貿易業務論 国際金融論 国際商取引論	経営管理論 経営組織論 経営戦略論 経営史	簿記学Ⅲ 工業簿記Ⅰ 財務会計論 監査論
<b>4類 学系展開科目</b> (常設)	経済変動論 市場と人間 経済統計分析 戦略の経済学 日本商業史 現代商業史 オペレーションズ・リサーチ	商品学 観光論 交通論 物流システム論 消費者行動論 マーケティング・リサーチ 貨幣論 銀行論 金融政策論 ファイナンス論 企業金融論 保険論 リスクマネジメント 金融システム論【15年度生～】 商業・金融のための統計数理【13、14年度生】	世界経済論 現代国際金融 経済統合論 欧米経済論 発展途上国経済論 アジア経済論 国際ビジネス・コミュニケーション論 国際電子商取引論 貿易契約論 貿易外国語(英語)【22年度生～】 貿易外国語(英)【13～21年度生】 貿易外国語(中国語)【22年度生～】 貿易外国語(中)【13～21年度生】	労務管理論 生産管理論 現代企業論 ソーシャル・マネジメント論【22年度生～】 公企業論【13～21年度生】 中小企業論 経営分析論 経営統計論 ビジネス・リサーチ 国際経営論 技術経営論 事業システム論 コーポレート・ガバナンス論	簿記学Ⅳ 工業簿記Ⅱ 財務諸表論 制度会計論 情報会計論 管理会計論 原価計算論 税務会計論 国際会計論 財務諸表監査 財務諸表分析
(特講)	多変量解析 数量分析の基礎 ポリティカル・エコノミー 産業組織論 西洋商業史 企業者史	旅行産業論 海運論 ロジスティクス 商業地理 商店立地論 広告論 サービス・マーケティング論 損害保険論 年金論 海上保険論	貿易政策論 国際開発論 ASEAN経済論 韓国経済論 中国経済論 国際商務ルール論 貿易代金決済論 国際ビジネス規制論 中国ビジネス投資論 国際環境経済論 国際環境政策	人的資源管理論 賃金論 ダイバーシティ・マネジメント論 財務管理論 ビッグビジネス論 産業分析論 商業経営論 多国籍企業論 工業経営論	現代会計論 連結会計 行動会計学 国際管理会計 戦略管理会計 コストマネジメント 分析会計論 非財務情報開示 非財務情報監査
<b>5類 実践科目</b>	商業簿記「日商Ⅰ級」 中小企業診断Ⅱ インターンシップ・プログラム ワークショップ(ビジネスと制作の現場におけるデータサイエンス) 証券アナリスト入門 アントレプレナーシップ実践	工業簿記「日商Ⅰ級」 ファイナンシャル・プランナー基礎 海外ビジネスⅡ 証券ビジネス 国際ビジネス 現代における会計の役割	会計学「日商Ⅰ級」 ファイナンシャル・プランナー応用Ⅰ Business Presentations in English メディア環境変化と広告 現代の企業経営と労務監査 国際会計の実務	原価計算「日商Ⅰ級」 ファイナンシャル・プランナー応用Ⅱ ワークショップ (ビジネスコンサルティング) 消費者問題 営業学入門	中小企業診断Ⅰ ファイナンシャル・プランナー実践 ワークショップ (グローバル時代の会計) 新時代のリスクと保険事業 メディア・スタートアップ
<b>6類 専門外国語科目</b>	外国書講読(英語) 【2022年度以降生】 外国書講読(ロシア語) 【2021年度以前生】	外国書講読(ドイツ語) 外国書講読(ロシア語) 外国書講読(独) 外国書講読(ハンブル)	外国書講読(フランス語) Business English 外国書講読(仏) Business English	外国書講読(中国語) 専門外国語特講 外国書講読(中) 専門外国語特講	外国書講読(スペイン語) 外国書講読(西)
<b>7類 演習科目</b>	演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅰ	演習Ⅱ 卒業研究演習Ⅱ	演習Ⅲ 卒業研究演習Ⅲ		
<b>8類 隣接科目</b>	社会学概論	統計Ⅰ【20年度生～】	統計Ⅱ【20年度生～】	経済政策Ⅰ	経済政策Ⅱ
<u>隣接科目Ⅰ</u>	統計【～19年度生】	財政学Ⅰ	財政学Ⅱ	民法Ⅳa(債権総論②)	会社法Ⅰ
<u>隣接科目Ⅱ</u>	民法Ⅱ(物権)	民法Ⅲa(債権総論①)	民法Ⅳa(担保物権)	民法Ⅳb(債権総論②)	会社法Ⅱ
<u>隣接科目Ⅲ</u>	会社法Ⅱ 領域の国際法	会社法Ⅲ 国際関係理論	手形法・小切手法【～22年度生】 国際政治経済論	比較憲法	国際法総論Ⅰ

**9類 教養科目**

(全学共通教養教育科目)				
同志社科目	キャリア形成支援科目【～24年度生】	ライフデザイン科目【25年度生～】	国際教養科目	クリエイティブ・ジャパン科目
人文科学系科目	社会科学系科目	自然・人間科学系科目【～24年度生】	自然科学系科目【25年度生～】	人間科学系科目【25年度生～】
複合領域科目【～24年度生】	プロジェクト科目【～24年度生】	保健体育科目		

※詳細は「全学共通教養教育科目 履修要項」で確認すること。  
 ※「商学（社会科学系科目）」は商学部生は履修できない。

**10類 外国語科目**

《英語》

【2022年度以降生】

(全学共通教養教育科目 外国語教育科目)				
Intensive Advanced English1	Intensive Advanced English2	Core English(LS)-Intermediate1	Core English(LS)-Intermediate2	Core English(RW)-Intermediate1
Core English(RW)-Intermediate2	Core English(LS)-Pre-Intermediate1	Core English(LS)-Pre-Intermediate2	Core English(RW)-Pre-Intermediate1	Core English(RW)-Pre-Intermediate2
Basic English(LS)1	Basic English(LS)2	Basic English(RW)1	Basic English(RW)2	General Academic English(LS)-Intermediate
General Academic English(RW)-Intermediate	General Academic English(LS)-Pre-Intermediate	General Academic English(RW)-Pre-Intermediate	English for Professional Purposes1	English for Professional Purposes2
English for Academic Purposes1	English for Academic Purposes2	English for Academic Purposes3	サマープログラム・英語A	サマープログラム・英語B
サマープログラム・英語C	スプリングプログラム・英語A	スプリングプログラム・英語B	スプリングプログラム・英語C	スプリングプログラム・英語D
セメスタープログラム・英語I	セメスタープログラム・英語II	Study Abroad Preparation(TOEFL TEST)1	Study Abroad Preparation(TOEFL TEST)2	Study Abroad Preparation(IELTS)1
Study Abroad Preparation(IELTS)2				
【2021年度以前生】				
コミュニケーション・イングリッシュ1	コミュニケーション・イングリッシュ2	アナリティカル・リーディング1	アナリティカル・リーディング2	イングリッシュ・セミナー1
イングリッシュ・セミナー2	イングリッシュ・セミナー3	イングリッシュ・ワークショップ1	イングリッシュ・ワークショップ2	イングリッシュ・ワークショップ3
アカデミック・イングリッシュA	アカデミック・イングリッシュB	プロフェッショナル・イングリッシュA	プロフェッショナル・イングリッシュB	イングリッシュ・プラクティクム1
イングリッシュ・プラクティクム2	プレ・イングリッシュ・プラクティクム	言語文化研究1	言語文化研究2	現代地域事情・上級講読1(英語圏)
現代地域事情・上級講読2(英語圏)	サマープログラム・英語A	サマープログラム・英語B	サマープログラム・英語C	スプリングプログラム・英語A
スプリングプログラム・英語B	スプリングプログラム・英語C	スプリングプログラム・英語D	セメスタープログラム・英語I	セメスタープログラム・英語II
Study Abroad Preparation(TOEFL TEST)1	Study Abroad Preparation(TOEFL TEST)2	Study Abroad Preparation(IELTS)1	Study Abroad Preparation(IELTS)2	
入門I	入門II	応用I	応用2	応用3
応用4	インテンシヴI	インテンシヴII	インテンシヴIII	インテンシヴIV
インテンシヴV	インテンシヴVI	インテンシヴVII	インテンシヴVIII	

《外国語》  
 (ドイツ, フランス, 中国, スペイン, ロシア, コリア)

**11類 自主選択科目**

(免許関連科目)				
(全学共通教養教育科目 外国語教育科目)				
文化事情1	文化事情2	表現法1	表現法2	言語文化原典演習1
言語文化原典演習2	現代地域事情・上級講読1	現代地域事情・上級講読2	会話初級1	会話初級2
会話中級1	会話中級2	会話上級1	会話上級2	基礎イタリア語I
基礎イタリア語II	基礎イタリア語III	基礎イタリア語IV	サマープログラム	スプリングプログラム
セメスタープログラム				
(他学部設置科目)				
(大学コンソーシアム京都単位互換科目)				
(同志社女子大学単位互換科目)				

**12類 外国人留学生科目**

(日本語・日本文化教育科目)				
※外国人留学生のみ登録履修できる。				

**自由科目**

特別支援と福祉の教育【～18年度生】				
--------------------	--	--	--	--

○外国留学科目(1科目各1～8単位)

※1～11類にそれぞれ設置。在学留学中に取得した単位について、その科目の分野で認定する。

II 商学部での履修の目安方について

## 2. 履修体系

商学部カリキュラムの概要（5学系）

商 学 部 専 門 科 目	導入科目	アカデミック・リテラシーⅠ      アカデミック・リテラシーⅡ      ビジネス・トピックス				
	入門科目	簿記学Ⅰ・Ⅱ 基本統計学 現代ビジネス				
	学系基礎科目Ⅰ	経済学	商業学	国際経済学	経営学	簿記・会計学系
	学系基礎科目Ⅱ	ミクロ経済学 マクロ経済学 計量経済学 商業史	流通論 マーケティング論 金融論 証券論	貿易論 貿易業務論 国際金融論 国際商取引論	経営管理論 経営組織論 経営戦略論 経営史	簿記学Ⅲ 工業簿記Ⅰ 財務会計論 監査論
	展開科目	展開特講科目	展開特講科目	展開特講科目	展開特講科目	展開特講科目
		展開特講科目	展開特講科目	展開特講科目	展開特講科目	展開特講科目
	学系展開科目	経済変動論 市場と人間 経済統計分析 戦略の経済学 日本商業史 現代商業史 オペレーションズ・リサーチ	商品学 観光論 交通論 物流システム論 消費者行動論 マーケティング・リサーチ 貨幣論 銀行論 金融政策論 ファイナンス論 企業金融論 保険論 リスクマネジメント 金融システム論 [15年度生～] 商業・金融のための統計処理 [13、14年度生]	世界経済論 現代国際金融 経済統合論 欧米経済論 発展途上国経済論 アジア経済論 国際電子商取引論 貿易契約論 貿易外国語（英語） [22年度生～] 貿易外国語（英） [13～21年度生] 貿易外国語（中国語） [22年度生～] 貿易外国語（中） [13～21年度生]	労務管理論 生産管理論 現代企業論 ソーシャル・マネジメント論 [22年度生～] 公企業論 [13～21年度生] 中小企業論 経営分析論 経営統計論 ビジネス・リサーチ 国際経営論 技術経営論 事業システム論 コーポレート・ガバナンス論	簿記学Ⅳ 工業簿記Ⅱ 財務諸表論 制度会計論 情報会計論 管理会計論 税務会計論 国際会計論 財務諸表監査 財務諸表分析
	実践科目	実践科目				
	専門外国語科目	外国書講読（英語）※2021年度以前生：外国書講読（英） 外国書講読（他） Business English 専門外国語特講				
	演習科目	演習Ⅰ      演習Ⅱ      演習Ⅲ 卒業研究演習Ⅰ      卒業研究演習Ⅱ      卒業研究演習Ⅲ				
	隣接科目	経済・法律科目				
	教養科目	全校共通教養教育科目（一般教養・語学・体育）				
	自主選択科目	大学コンソーシアム京都単位互換科目等				

## ◆ 卒業必要単位について

商学部では本学の学則及び一般内規にしたがい、4ヵ年以上在学し、126単位以上を修得した学生に対し、学位記（卒業証書）が授与される。商学部が定めた卒業必要単位の内訳は下記のとおりである。この内訳にしたがって各類で必要とされる単位数を修得しなければならない。

[商学総合コース]			(数字は単位数)	
1類	導入科目	4単位以下		
2類	入門科目	4科目登録必修 6単位以上	6	
3類	学系基礎科目Ⅰ	5科目登録必修 8単位以上	8	
	学系基礎科目Ⅱ	各学系から2単位以上	10	
4類	学系展開科目	主学系4単位以上 副学系4単位以上 ※1	20 ※2	80 以上
5類	実践科目			
6類	専門外国語科目		2 ※3	
7類	演習科目	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		
8類	隣接科目			
9類	教養科目	全学共通教養教育科目（同志社科目、キャリア形成支援科目※7、ライフデザイン科目※8、国際教養科目、クリエイティブ・ジャパン科目、人文科学系科目、社会科学系科目、自然・人間科学系科目※7、自然科学系科目※8、人間科学系科目※8、複合領域科目※7、プロジェクト科目※7、保健体育科目）		12以上 ※4
10類	外国語科目	全学共通教養教育科目の外国語教育科目（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語）から2カ国語選択 ※5	各8 ※6	16以上
11類	自主選択科目	他学部設置科目 大学コンソーシアム京都単位互換科目 同志社女子大学単位互換科目 全学共通教養教育科目の外国語教育科目 等		18以下
合計			126以上	

※1 主学系・副学系の選択は、3年次春学期の登録時に行う。

※2 選択した主学系・副学系から合計20単位以上を履修すること。

※3 「外国書講読（英語）・（ドイツ語）・（フランス語）・（中国語）・（スペイン語）・（ロシア語）・（コリア語）」、「Business English」は、担当者が異なる場合は別科目として登録履修できる（同一担当者の場合は登録履修不可）。  
「専門外国語特講」については科目のサブタイトルが異なれば別科目として登録履修できる。

※4 ドイツ文学・フランス文学・中国文学・スペイン文学・ラテンアメリカ文学・ロシア文学の中から複数の科目を修得しても卒業単位には4単位までしか算入されない。

※5 全学共通教養教育科目の外国語教育科目のうち10類外国語科目として修得すべき科目が決まっているので注意すること。

※6 英語以外の外国語については、応用1～応用4のすべて、またはインテンシヴⅣまでを修得しなければ1つの外国語の卒業要件を満たしたことはないので注意すること。

※7 2024年度以前生が対象の科目である。

※8 2025年度以降生が対象の科目である。

[フレックス複合コース：専門特化型\*]

(数字は単位数)

1類	導入科目	4単位以下			
2類	入門科目	4科目登録必修 6単位以上	6		
3類	学系基礎科目Ⅰ	5科目登録必修 8単位以上	8		
	学系基礎科目Ⅱ	各学系から2単位以上	10		
4類	学系展開科目	主学系10単位以上	10		
5類	実践科目			20	70以上
6類	専門外国語科目		2 ※2	※1	
7類	演習科目	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ			
8類	隣接科目				
9類	教養科目	全学共通教養教育科目（同志社科目、キャリア形成支援科目※6、ライフデザイン科目※7、国際教養科目、クリエイティブ・ジャパン科目、人文科学系科目、社会科学系科目、自然・人間科学系科目※6、自然科学系科目※7、人間科学系科目※7、複合領域科目※6、プロジェクト科目※6、保健体育科目）		12以上 ※3	
10類	外国語科目	全学共通教養教育科目の外国語教育科目（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語）から1カ国語選択 ※4		8以上 ※5	
11類	自主選択科目	他学部設置科目（副専攻パッケージ科目を含む） 大学コンソーシアム京都単位互換科目 同志社女子大学単位互換科目 全学共通教養教育科目の外国語教育科目 等		36以下	
合計				126以上	

\*専門特化型・副専攻型いずれかの履修型の選択及び主学系の選択は、2年次春学期の登録時に行い、変更がある場合は3年次春学期の登録時に受付ける。

※1 4類学系展開科目のうち、選択した主学系科目のみが20単位数に算入される。

※2 「外国語講読（英語）・（ドイツ語）・（フランス語）・（中国語）・（スペイン語）・（ロシア語）・（コリア語）」、「Business English」は、担当者が異なる場合は別科目として登録履修できる（同一担当者の場合は登録履修不可）。  
「専門外国語特講」については科目のサブタイトルが異なれば別科目として登録履修できる。

※3 ドイツ文学・フランス文学・中国文学・スペイン文学・ラテンアメリカ文学・ロシア文学の中から複数の科目を修得しても卒業単位には4単位までしか算入されない。

※4 全学共通教養教育科目の外国語教育科目のうち10類外国語科目として修得すべき科目が決まっているので注意すること。

※5 英語以外の外国語については、応用1～応用4のすべて、またはインテンシヴⅣまでを修得しなければ1つの外国語の卒業要件を満たしたことはないので注意すること。

※6 2024年度以前生が対象の科目である。

※7 2025年度以降生が対象の科目である。



[フレックス複合コース：副専攻型\*]

(数字は単位数)

1類	導入科目	4単位以下		70 以上
2類	入門科目	4科目登録必修 6単位以上	6	
3類	学系基礎科目Ⅰ	5科目登録必修 8単位以上	8	
	学系基礎科目Ⅱ	各学系から2単位以上	10	
4類	学系展開科目	主学系10単位以上	10	
5類	実践科目			
6類	専門外国語科目		2 ※1	
7類	演習科目	演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ		
8類	隣接科目			
9類	教養科目	全学共通教養教育科目(同志社科目、キャリア形成支援科目※6、ライフデザイン科目※7、国際教養科目、クリエイティブ・ジャパン科目、人文科学系科目、社会科学系科目、自然・人間科学系科目※6、自然科学系科目※7、人間科学系科目※7、複合領域科目※6、プロジェクト科目※6、保健体育科目)	12以上 ※2	
10類	外国語科目	全学共通教養教育科目の外国語教育科目(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語)から1カ国語選択 ※3	8以上 ※4	
11類	自主選択科目	他学部設置科目(副専攻パッケージ科目を含む) 大学コンソーシアム京都単位互換科目 同志社女子大学単位互換科目 全学共通教養教育科目の外国語教育科目 等	36以下 ※5	
合計			126以上	

\* 専門特化型・副専攻型いずれかの履修型の選択及び主学系の選択は、2年次春学期の登録時に行い、変更がある場合は3年次春学期の登録時に受付ける。

※1 「外国語講読(英語)・(ドイツ語)・(フランス語)・(中国語)・(スペイン語)・(ロシア語)・(コリア語)」、「Business English」は、担当者が異なる場合は別科目として登録履修できる(同一担当者の場合は登録履修不可)。

「専門外国語特講」については科目のサブタイトルが異なれば別科目として登録履修できる。

※2 ドイツ文学・フランス文学・中国文学・スペイン文学・ラテンアメリカ文学・ロシア文学の中から複数の科目を修得しても卒業単位には4単位までしか算入されない。

※3 全学共通教養教育科目の外国語教育科目のうち10類外国語科目として修得すべき科目が決まっているので注意すること。

※4 英語以外の外国語については、応用1～応用4のすべて、またはインテンシブⅣまでを修得しなければ1つの外国語の卒業要件を満たしたことはないので注意すること。

※5 選択した副専攻パッケージから10単位以上を修得すること。

※6 2024年度以前生が対象の科目である。

※7 2025年度以降生が対象の科目である。

◆フレックス複合コース専門特化型、副専攻型について

フレックス複合コースの学生は、2年次春学期の登録時において、「専門特化型」・「副専攻型」いずれかの履修型の選択及び主学系の選択を行う。なお変更がある場合は、3年次春学期の登録時にのみ受付ける(年次は休学中であっても進むため、変更を希望する場合は自身の年次を十分に確認すること)。

各型の特徴は、次の通りである。

専門特化型：

- ・ 商学部の専門科目において関心のある領域を重点的に学べるよう4類学系展開科目で履修をする主学系の単位比重を多く配分する。
- ・ フレックス複合コースの学生は、選択した「主学系」の4類学系展開科目から合計10単位以上の単位修得が卒業要件のひとつになっているが、専門特化型を選択した場合は、さらに10単位以上を、選択した主学系科目(4類学系展開科目・5類実践科目・6類専門外国語科目)から修得し、合計20単位以上を修得しなければならない。また主学系科目(4類学系展開科目・5類実践科目・6類専門外国語科目)から合計30単位以上を修得した者には、認定証を交付する。

副専攻型：

- ・ 商学に加えて、法学や社会学などの周辺領域や教職、国際など多様な将来像に応えた科目選択が可能となった柔軟な型である。自主選択科目に配置している他学部科目等に6つの「副専攻パッケージ」が用意されているので、1コースを選択する。
- ・ 副専攻パッケージの科目は、10単位以上修得することを卒業要件とする。
- ・ 副専攻パッケージの科目を20単位以上修得した者には、認定証を交付する。

\* 「副専攻パッケージ」については、【3. 履修要領ーフレックス複合コースー11類 自主選択科目 ▶副専攻パッケージについて】の頁を参照すること。

## ◆ 標準的年次別単位修得例

卒業必要単位を修得するための標準的年次別単位修得例を以下に示す（登録単位数を示したものではない）。  
教養科目・外国語科目は1，2年次に優先的に登録履修することが望ましい。

**※登録する際には、履修中止や不合格の可能性も考え、1～2年次生は最高登録単位数を目安に登録することが望ましい。**

### [商学総合コース]

(数字は単位数)

	1年次		2年次		3年次		4年次		計
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
1類 導入科目	2	2							80
2類 入門科目	6	2							
3類 学系基礎科目Ⅰ		10							
学系基礎科目Ⅱ			10	10					
4類 学系展開科目					6	6	4	4	
5類 実践科目					2	2			
6類 専門外国語科目					2				
7類 演習科目				2	2	2	2	4	
8類 隣接科目									12
9類 教養科目	4		2	2	2	2			
10類 外国語科目 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、 スペイン語、ロシア語、ロシア語から 2カ国語選択	3 (2)	3 (2)	1 (2)	1 (2)					8
	2	2	2	2					8
11類 自主選択科目			2	2	4	4	4	2	18
合計	17	19	17	19	18	16	10	10	126

### [フレックス複合コース:専門特化型]

(数字は単位数)

	1年次		2年次		3年次		4年次		計
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
1類 導入科目	2	2							74 ※1
2類 入門科目	6	2							
3類 学系基礎科目Ⅰ		10							
学系基礎科目Ⅱ			10	10					
4類 学系展開科目					4	6	4	2	
5類 実践科目						2			
6類 専門外国語科目					2				
7類 演習科目				2	2	2	2	4	
8類 隣接科目									12
9類 教養科目	4		2	2	2	2			
10類 外国語科目 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、 スペイン語、ロシア語、ロシア語から 1カ国語選択	3 (2)	3 (2)	1 (2)	1 (2)					8
11類 自主選択科目	2	2	4	4	6	6	4	4	32
合計	17	19	17	19	16	18	10	10	126

※1 卒業必要単位数は70単位

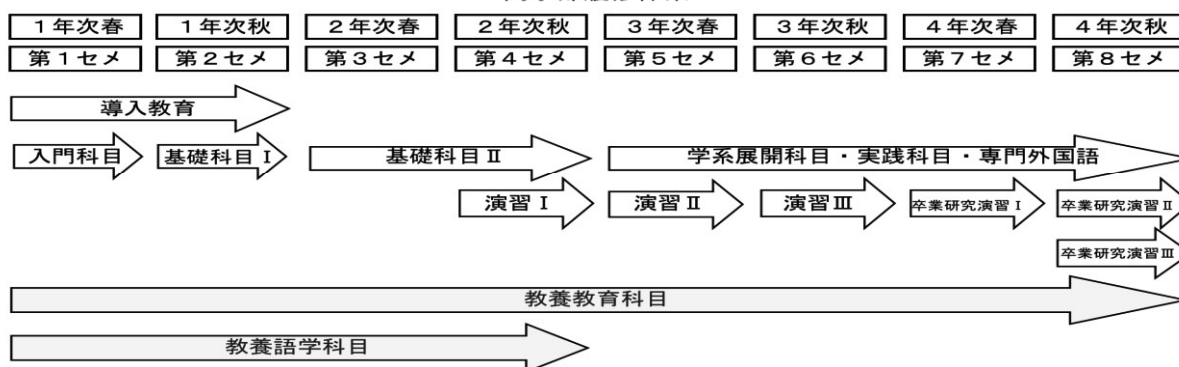
[フレックス複合コース：副専攻型]

(数字は単位数)

	1年次		2年次		3年次		4年次		計
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
1類 導入科目	2	2							70
2類 入門科目	6	2							
3類 学系基礎科目Ⅰ		10							
学系基礎科目Ⅱ			8	8					
4類 学系展開科目					4	6	4	2	
5類 実践科目						2			
6類 専門外国語科目					2				
7類 演習科目				2	2	2	2	4	
8類 隣接科目									
9類 教養科目	4		2	2	2	2			12
10類 外国語科目 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語から1カ国語選択	3 (2)	3 (2)	1 (2)	1 (2)					8
11類 自主選択科目	2	2	6	6	6	6	4	4	36
合計	17	19	17	19	16	18	10	10	126

Ⅱ 商学部での履修の目安方について

商学部履修体系



◆最高・最低登録単位数

それぞれの学期において最高・最低登録単位数の範囲内で登録履修することができるが、年間最高登録単位数を超えることはできない。

[商学総合コース，フレックス複合コース共通]

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
年間最高登録単位数	40		44		40		48	
学期最高登録単位数	30	30	34	34	30	30	46	46
学期最低登録単位数	10	10	10	10	10	10	2	2

◆科目ナンバリングについて

各科目には科目ナンバリングが定義されています。科目ナンバリングとは、授業科目に番号・分類を付与することで、学修の段階や順序が分かるように表示したものです。各科目の履修水準や学問分野を参考に履修するだけでなく、留学先の大学で授業を履修する際、本学授業科目との単位互換の目安として利用することもできます。必要に応じて活用してください。科目ナンバリングの詳細は、以下のURLを確認してください。

<https://clf.doshisha.ac.jp/numbering/numbering.html>

なお、他学部の科目については、当該学部が定める科目ナンバリングの履修配当年次または履修を推奨する年次と、本学部で認める配当年次が異なる場合があります。

## ◆商学部早期卒業制度について

### 【制度の趣旨】

商学部では、学業成績の優秀な学生に、大学院商学研究科において早期により高度な学習・研究機会を与えることを目的として、早期卒業制度を実施している。

### 【卒業要件】

早期卒業をするためには、下記の要件をすべて満たさなければならない。

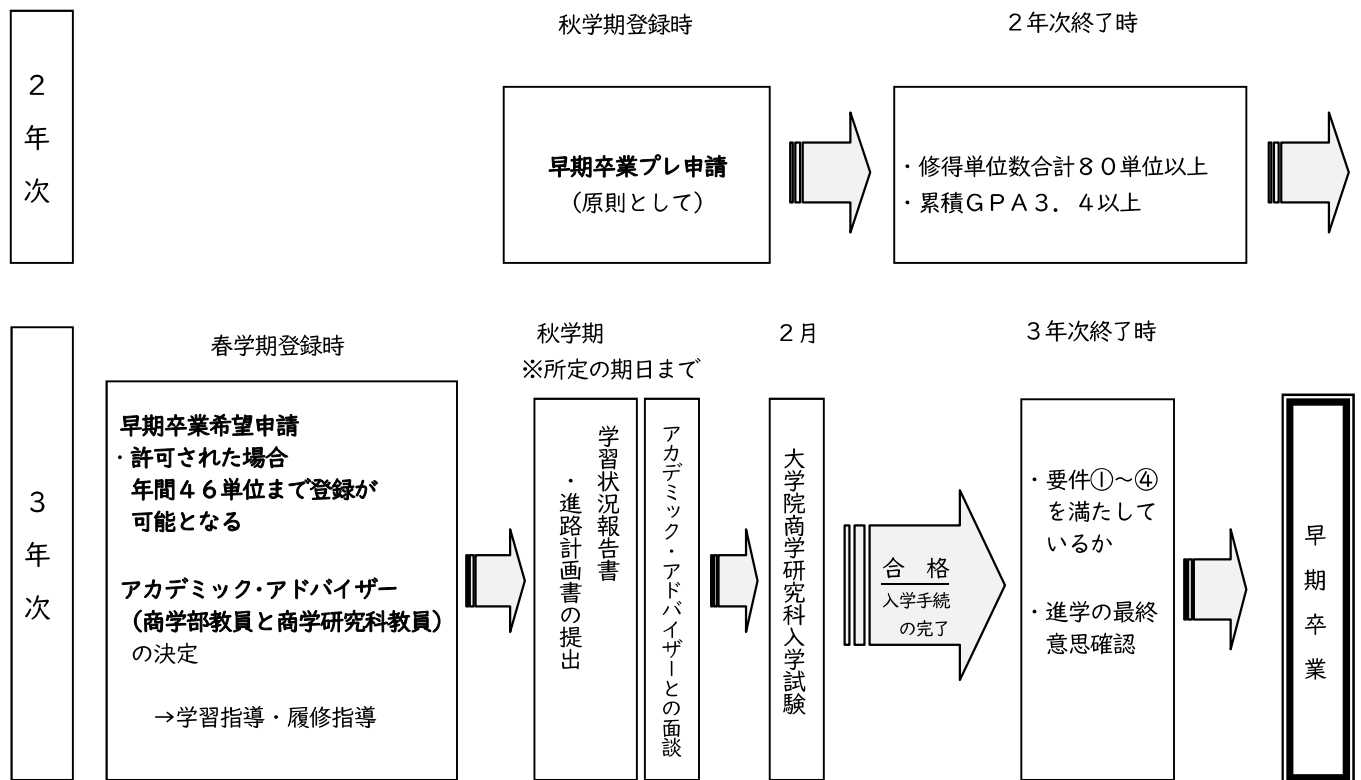
- ① 3年次終了時において、本人が早期卒業を希望していること。
- ② 3年次終了時において、卒業に必要な所定の単位(126単位)をすべて修得していること。
- ③ 3年次終了時において、累積GPAが3.2以上であること。
- ④ 3年次終了時において、本学商学研究科への進学が確定していること。

○3年次転入学生、編入学生、学士入学については早期卒業の対象とならない。

○3年間で休学等の学籍異動が生じた場合は早期卒業の対象とはならない。

### 【申請について】

申請の流れは下記のとおりである。



※希望する学生または興味を持っている学生は、2年次秋学期までに商学部・商学研究科事務室に相談すること。

## ◆5年一貫教育プログラムについて（2016年度以降生のみ対象）

### 【制度の趣旨】

ビジネス活動は、情報化・グローバル化などの変化がもっとも鮮明に現れている先端領域です。ビジネスの倫理と環境保全、非営利組織の発展など、新しい課題も生じています。同志社大学商学研究科は、こうした各分野における多様な変化に積極的に対応し、広く産業社会が要求する課題の解決に努めることを教育の目的としています。

本プログラムは、学部4年次に生まれる時間的余裕を大学院へのステップとして有効に活用することで、本研究科をめざす勉強意欲の高い学部生が大学院へ進学しやすくなる学修環境を提供するものです。学部から大学院へと継続的に指導を受けることで、幅広い視野と深い専門知識を修得し、国内外の企業・産業が直面する諸課題を理解・分析できるような幅広い知見を得ることを通じて、高度な専門知識を必要とする職業人の養成を目指します。

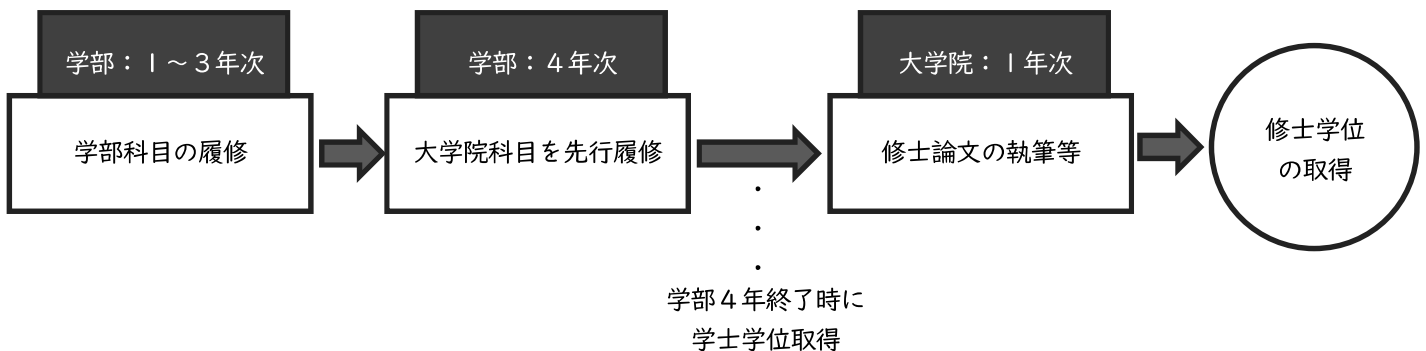
さらにより深い研究を目指す学生に対しては、研究基礎科目、学部・大学院の演習科目の連携などを通じて、より深い学識と専門的研究能力を身につけ、修士学位取得後、研究者を目指して博士後期課程へ進学するという選択肢を広げることのできる制度です。

意欲ある学生が本プログラムを利用し、教員の指導を受け、高度な専門知識の修得を目指してくれることを期待しています。

### 【プログラム概要】

- ・学部4年間+大学院1年間の5年一貫教育のプログラムです。
- ・従来の飛び級制度のように学部を中退する必要がなく、卒業・修了要件を満たせば通算5年間で学士と修士の学位を取得することが可能です。
- ・学部4年次に大学院科目を先行履修することができます。履修した科目は、大学院入学後、大学院の科目として単位認定することができます。

その他、募集・選考等の詳細につきましては、別途商学部掲示板（至誠館1F）にて案内いたします。



### 3. 履修要領 – 商学総合コース –

商学総合コース生が卒業するためには、Ⅰ類～Ⅷ類から合計80単位以上、Ⅸ類教養科目から12単位以上、Ⅹ類外国語科目から2つの外国語各8単位以上、計16単位以上を修得しなければならない。各類の卒業要件については下記を参照すること。商学総合コース生は、ⅠⅠ類自主選択科目は18単位まで卒業必要単位に算入される。

#### ●Ⅰ類 導入科目

大学での学びと学生生活を開始するための入り口となる科目である。アカデミック・リテラシーⅠは大学での学びの方法を学習し、学生生活を充実したものに作る基礎づくりを目的としている。アカデミック・リテラシーⅡは、アカデミック・リテラシーⅠの履修をふまえた上で、さらに特定の学習・研究スキルについて深く学ぶための科目である。ビジネス・トピックスは担当教員の専門性を生かした多面的な教育方法により商学部諸科目を学ぶ意欲を喚起し、専門領域の学びへ誘うことをめざすものである。いずれも1年次に履修し、単位修得することが望ましい。

- ① アカデミック・リテラシーⅠは履修できるクラスが指定されている。別紙「商学部2025年度生 クラス指定表」を参照し、指定されたクラスを受講すること。
- ② アカデミック・リテラシーⅡを登録するためには、アカデミック・リテラシーⅠの単位を修得している必要がある。アカデミック・リテラシーⅡは秋学期登録である。登録するクラスは選択できるが、クラス定員を上回った場合は選考によって登録者が決定される。
- ③ アカデミック・リテラシーⅠ、アカデミック・リテラシーⅡはそれぞれ同じ学期に複数クラスを登録履修することはできない。
- ④ ビジネス・トピックスは複数クラスを登録履修することはできない。
- ⑤ アカデミック・リテラシーⅠ・Ⅱ、ビジネス・トピックスの3科目を履修することができるが、Ⅰ類導入科目で修得した単位は合計4単位までしか卒業必要単位として算入されない。
- ⑥ 【Ⅰ類導入科目】は必修ではない。

◎Ⅰ類 導入科目についての詳細は「[商学部Ⅰ類導入科目ガイドABC](#)」を参照

#### ●Ⅱ類 入門科目

商学部の専門科目を学ぶ上で備えておくべき最も基礎的な知識を修得する科目である。

- ① **基本統計学、現代ビジネス、簿記学Ⅰ、簿記学Ⅱ**は1年次において必ず登録履修しなければならない。
- ② 1年次においては履修できるクラスが指定されている。別紙「商学部2025年度生 クラス指定表」を参照し、指定されたクラスを受講すること。
- ③ 卒業のためには入門科目4科目のうち、**3科目計6単位以上**を修得しなければならない。

#### ●Ⅲ類 学系基礎科目

##### (Ⅰ) 学系基礎科目Ⅰ

学系基礎科目Ⅰは商学部の学習・研究領域について広い視野を持つとともに、商学部の諸科目を学ぶ上で共通して必要となる基礎的な知識の修得を目的とする科目である。

- ① 1年次秋学期においては**経済学、商業学、国際経済学、経営学、会計学**を必ず登録履修しなければならない。

- ② 1年次においては履修できるクラスが指定されている。別紙「商学部2025年度生 クラス指定表」を参照し、指定されたクラスを受講すること。
- ③ 卒業のためには5科目のうち**4科目計8単位以上**を修得しなければならない。

## (2) 学系基礎科目Ⅱ

学系基礎科目Ⅱは各学系が学習・研究対象とする領域を概観し、何が研究課題となっているかを学ぶとともに、3年次において学系を選択するための知識を修得することを目的とする科目である。

- ① 卒業のためには、経済・歴史学系、商業・金融学系、貿易・国際学系、企業・経営学系、簿記・会計学系から少なくとも**各2単位以上、計10単位以上**を修得しなければならない。

## ● 4類 学系展開科目

学系展開科目は2類、3類の学習により得られた広い視野と基礎的な知識をふまえ各学系の専門領域を深く学ぶ商学部の基幹的な専門科目である。経済・歴史学系、商業・金融学系、貿易・国際学系、企業・経営学系、簿記・会計学系からなり、商学総合コース生は「主学系」と「副学系」を選択履修する。

- ① 商学総合コース生は**3年次春学期の登録時に「主学系」と「副学系」を選択し、届け出なければならない**。いったん届け出た学系は変更できないので注意すること。
- ② 商学総合コース生の卒業には、**4類学系展開科目のうち主学系4単位以上、副学系4単位以上計20単位以上の修得が必要である**。
- ③ 選択した主学系・副学系以外の学系展開科目で20単位以上を修得しても、上記②の要件を満たしたことはないので十分注意すること。
- ④ 各学系に設置されている展開特講科目は、社会の変化や学問の多様化に対応して学系展開科目を補うために年度ごとに開講される科目である。修得した展開特講科目の単位は②における卒業必要単位として算入される。ただし展開特講科目は、毎年度継続して、同じ科目が開講されるとは限らないので、登録履修にあたっては注意すること。

## ● 5類 実践科目

実践科目は、専門的技能の修得や実習、資格取得に必要な専門的知識の修得、実業家や実務家など外部講師による講義など社会でも活用できる知識や技能を学ぶ科目である。

- ① 実践科目は毎年度開講されるとは限らないので、登録履修にあたって注意すること。
- ② 実践科目には、一般登録に先立って登録が必要な先行登録科目があるので注意すること。
- ③ 5類実践科目は必修ではない。

## ● 6類 専門外国語科目

外国語を活用して専門領域に関する知識を深め、あわせて外国語の修得をめざすための科目である。専門分野の外国語文献の講読を通して読解力と専門的知識の充実をはかる「外国書講読」、ビジネス関連の英語学習を主たる目的とし、リーディング、ヒアリング、会話など多様な内容をもつ「Business English」、商学関係の個別テーマについて基礎的内容を英語で講義する「専門外国語特講」が開講される。

- ① 卒業のためには6類専門外国語科目から**2単位を修得しなければならない**。
- ② 「外国書講読(英語)・(ドイツ語)・(フランス語)・(中国語)・(スペイン語)・(ロシア語)・(コリア語)」、「Business English」は、担当者が異なる場合は別科目として登録履修できる(同一担当者の場合は登録履修不可)。
- ③ 「専門外国語特講」については科目のサブタイトルが異なれば別科目として登録履修できる。

## ● 7類 演習科目

演習は比較的少数の履修者からなる専門科目である。学生が一人の担当者の指導を受けながら学術論文の講読や研究発表などを通じて専門領域についての研究を進め、その成果を論文としてまとめることをめざす科目である。演習Ⅰは2年次（秋学期）から始まり、3年次に演習Ⅱ・演習Ⅲ、4年次に卒業研究演習Ⅰ（春学期）・卒業研究演習Ⅱ（秋学期）、卒業研究演習Ⅲ（秋学期）を履修できる。演習の履修を希望する者は、**2年次春学期に行われる演習説明会に必ず出席すること**。詳細は「演習要項」を参照すること。

- ① 演習のクラスは自由選択制であり、コースや学系に関わらず選択できる。ただし演習は定員制であり、登録に先だって選考が実施される。各クラスにはテーマや運営方針があり、これについては改めて発表される。
- ② 演習はグレード制であり、演習Ⅰから順に履修しなければならない。休学等により演習履修が中断されると、それ以降の演習履修が困難になることがあるので注意が必要である。
- ③ ②にかかわらず、転編入学生、交換留学生などについては、演習の途中からの登録履修開始が認められることがある。大学・学部からの派遣留学生（在学留学）、セメスタープログラム、早稲田については、遠隔指導により演習を継続することが認められることがある。
- ④ 担当者から演習の履修継続が不適格であると認められた場合には、演習の途中で失格することがある。
- ⑤ **演習Ⅱを履修するためには、演習Ⅰの単位修得とあわせて、商学部1～8類から20単位以上かつ総単位55単位以上を修得していなければならない。**
- ⑥ 演習Ⅰ履修後、演習Ⅰと同じ担当者の演習Ⅱ・Ⅲ、同卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修しなければならない。演習Ⅰ以外の演習科目は通年セット登録しなければならない。
- ⑦ 演習Ⅰ終了段階で、演習Ⅰの単位修得を条件として、1回に限り演習クラスの変更が認められることがある。演習クラスの変更には受け入れ定員が定められており、また変更先の演習担当者の了解が必要である。
- ⑧ 【7類演習科目】は必修ではない。

## ● 8類 隣接科目

商学部の専門科目を社会、経済、法律の諸側面から補完する科目によって構成されている。隣接科目から1科目以上を登録履修することが望ましい。なお、【8類隣接科目】は必修ではない。

## ● 9類 教養科目

教養科目は、専門的な知識にとどまらない幅広い知識の習得、総合的な判断力の養成、豊かな人間性の涵養を目的としている。全学共通教養教育科目のうち、同志社科目、キャリア形成支援科目（※1）、ライフデザイン科目（※2）、国際教養科目、クリエイティブ・ジャパン科目、人文科学系科目、社会科学系科目、自然・人間科学系科目（※1）、自然科学系科目（※2）、人間科学系科目（※2）、複合領域科目（※1）、プロジェクト科目（※1）、保健体育科目から選択履修すること。詳細は全学共通教養教育科目の履修要項を参照すること。

※1:2024年度以前生が対象 ※2:2025年度以降生が対象



- ① 卒業のためには9類教養科目から12単位以上を選択履修し、これを修得しなければならない。
- ② 同志社科目から1科目以上、登録履修することが望ましい。
- ③ 経済学Ⅰ、経済学Ⅱを登録履修することが望ましい。
- ④ ドイツ文学・フランス文学・中国文学・スペイン文学・ラテンアメリカ文学・ロシア文学の中から複数の科目を修得しても、卒業単位には4単位までしか算入されない。
- ⑤ 9類教養科目には先行登録を実施する科目がある。
- ⑥ 保健体育科目は必修ではない。
- ⑦ 商学部生は「商学」を登録履修することはできない。

## ● 10類 外国語科目

さまざまな外国語の学習を通して、異文化理解と語学力の向上を目指すとともに、国際的視野の確立を目的としている。全学共通教養教育科目の外国語教育科目から以下に定める科目を選択履修すること。

商学総合コース生は英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語より2ヵ国語を選択履修し、各言語を8単位以上修得しなければならない。

### 1. 英語科目の履修について

英語科目を選択する場合、次ページの表の中から8単位以上修得しなければならない。

各科目名につく数字は、科目のグレードを示すものではないので、必ずしも1、2の順に履修する必要はない。例えば、春学期にBasic English(LS)Ⅰが不合格でも、秋学期にBasic English(LS)Ⅱを履修することは可能である。履修条件等は別冊「商学部登録要領」を参照すること。

科目名	
【2022 年度以降生】	【2021 年度以前生】
Intensive Advanced English 1	コミュニケーション・イングリッシュ 1
Intensive Advanced English 2	コミュニケーション・イングリッシュ 2
Core English(LS)-Intermediate 1	アナリティカル・リーディング 1
Core English(LS)-Intermediate 2	アナリティカル・リーディング 2
Core English(RW)-Intermediate 1	イングリッシュ・セミナー 1
Core English(RW)-Intermediate 2	イングリッシュ・セミナー 2
Core English(LS)-Pre-Intermediate 1	イングリッシュ・セミナー 3
Core English(LS)-Pre-Intermediate 2	イングリッシュ・ワークショップ 1
Core English(RW)-Pre-Intermediate 1	イングリッシュ・ワークショップ 2
Core English(RW)-Pre-Intermediate 2	イングリッシュ・ワークショップ 3
Basic English(LS) 1	アカデミック・イングリッシュ A
Basic English(LS) 2	アカデミック・イングリッシュ B
Basic English(RW) 1	プロフェッショナル・イングリッシュ A
Basic English(RW) 2	プロフェッショナル・イングリッシュ B
General Academic English(LS)-Intermediate	イングリッシュ・プラクティクム 1
General Academic English(RW)-Intermediate	イングリッシュ・プラクティクム 2
General Academic English(LS)-Pre-Intermediate	プレ・イングリッシュ・プラクティクム
General Academic English(RW)-Pre-Intermediate	言語文化研究 1 言語文化研究 2
English for Professional Purposes 1	現代地域事情・上級講読(英語圏) 1
English for Professional Purposes 2	現代地域事情・上級講読(英語圏) 2
English for Academic Purposes 1	サマープログラム・英語 A
English for Academic Purposes 2	サマープログラム・英語 B
English for Academic Purposes 3	サマープログラム・英語 C
サマープログラム・英語 A	スプリングプログラム・英語 A
サマープログラム・英語 B	スプリングプログラム・英語 B
サマープログラム・英語 C	スプリングプログラム・英語 C
スプリングプログラム・英語 A	スプリングプログラム・英語 D
スプリングプログラム・英語 B	セメスタープログラム・英語 I
スプリングプログラム・英語 C	セメスタープログラム・英語 II
スプリングプログラム・英語 D	Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) 1
セメスタープログラム・英語 I	Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) 2
セメスタープログラム・英語 II	Study Abroad Preparation(IELTS) 1
Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) 1	Study Abroad Preparation(IELTS) 2
Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) 2	実践英語 1、実践英語 2
Study Abroad Preparation(IELTS) 1	実践英語 A、実践英語 B、実践英語 C
Study Abroad Preparation(IELTS) 2	
実践英語 A、実践英語 B、実践英語 C	

●実践英語A・B・Cは、在学中に認定ガイダンス講義を受講した後、TOEIC® L&R テスト、TOEFL-iBT® テスト、IELTS (アカデミック・モジュール) テスト、実用英語技能検定試験 (英検)、国際連合公用語英語検定試験のいずれかで下記の水準以上の成果を修めた場合、「英語」の修得単位として認定される。認定単位数は各学期最高登録単位数、年間登録単位数には含めない。

試験種類	科目名・認定単位数		
	実践英語 A	実践英語 A 実践英語 B	実践英語 A 実践英語 B 実践英語 C
	2 単位	4 単位	6 単位
TOEIC® L&R テスト	600 点以上 730 点未満	730 点以上 800 点未満	800 点以上
TOEFL-iBT® テスト	63 点以上 79 点未満	79 点以上 90 点未満	90 点以上
IELTS (アカデミック・モジュール) テスト	5.5	6.0	6.5 以上
実用英語技能検定試験 (英検)	—	準 1 級	I 級
国際連合公用語英語検定試験	—	A 級	特 A 級

【注意事項】

- 「実践英語ガイダンス」受講後のスコアでのみ申請ができます。(ガイダンス受講前のスコアは利用できません)
- スコアは紙媒体の公式認定証で提出してください。  
※デジタル公式認定証 (PDF 版) では申請できません。公式認定証 (紙媒体) が、実践英語の申請期限までに手元に届く日程で試験を受験すること。
- 過去問題で作成した試験 (IP テスト等) では申請することはできません。
- 休学期間中に修めた成果では申請することはできません。
- 休学期間中に実践英語を申請することはできません。
- スコアはガイダンス受講以降に受けたテストで、試験日から2年以内の申請が有効です。(試験日から2年経過したスコアは申請の対象外となります)
- 実践英語ガイダンスは在学中に1度受講すれば、卒業まで有効です。
- 英検 S-CBT でも申請することができます。
- テスト会場以外の自宅等で受験する方式 (TOEFL iBT Home Edition 等) のスコアについては、コロナ禍の特例として、2024年3月31日までに受験したテストであれば実践英語への申請に利用することができます。2024年4月1日以降に受験したテスト会場以外の自宅等で受験する方式のテストは、実践英語への申請に利用することはできません。

※「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。

※TOEIC、TOEFL-iBTはエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。

2. ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語及びコリア語の履修について

ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語及びコリア語については、各8単位以上修得しなければならない。下表のとおり各々「レギュラークラス (週2回・2単位)」と「インテンシヴクラス (I~IV: 週3回・3単位、V~VIII: 週2回・2単位)」が開講されている。それぞれの外国語で8単位以上修得していても、応用1~応用4のすべて、またはインテンシヴIVまでを修得しなければ1つの外国語の卒業要件を満たしたことはないので注意すること。

- ① レギュラークラス及びインテンシヴクラスは同一の外国語を履修しなければ、卒業要件を満たしたことはない。
- ② 各科目末尾のローマ数字は、その科目のグレードを示している。つまり「Iを合格した後でなければ、IIに進むことができない」という意味である。

(例) 入門 I 不合格 → 入門 II ~~の登録履修~~

- 履修については下表や履修例を参照のこと。

	科目名	単位	履修条件等
レギュラー クラス	入門Ⅰ	2	●同一外国語の入門Ⅰ・Ⅱをセットで登録すること。 ●春学期の入門Ⅰが不合格の場合、秋学期の入門Ⅱの登録は自動的に削除される。
	入門Ⅱ	2	
	応用Ⅰ	1	●入門Ⅱを合格した後に、同一外国語を登録すること。 ●インテンシブクラス（インテンシブⅢ、インテンシブⅣ）との同時履修はできない。
	応用Ⅱ	1	
	応用Ⅲ	1	
	応用Ⅳ	1	
インテンシブ クラス	インテンシブⅠ	3	●同一外国語のインテンシブⅠとインテンシブⅡをセットで登録すること。 ●春学期のインテンシブⅠが不合格の場合、秋学期のインテンシブⅡの登録は自動的に削除される。
	インテンシブⅡ	3	
	インテンシブⅢ	3	●前年度までに同一外国語のインテンシブⅡの単位を修得していなければならない。 ●同一外国語のインテンシブⅢとインテンシブⅣをセットで登録すること。
	インテンシブⅣ	3	
	インテンシブⅤ	2	●レギュラークラス（応用Ⅰ～Ⅳ）との同時履修はできない。
	インテンシブⅥ	2	
	インテンシブⅦ	2	
	インテンシブⅧ	2	

### ■■ 履修例 ■■

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期
例①	入門Ⅰ	入門Ⅱ	応用Ⅰ、応用Ⅱ、応用Ⅲ、応用Ⅳ	
例②	インテンシブⅠ	インテンシブⅡ	インテンシブⅢ	インテンシブⅣ
例③	入門Ⅰ	入門Ⅱ	インテンシブⅢ	インテンシブⅣ
例④	入門Ⅰ	インテンシブⅡ	インテンシブⅢ	インテンシブⅣ
例⑤	インテンシブⅠ	インテンシブⅡ	応用Ⅰ、応用Ⅱ、応用Ⅲ、応用Ⅳ	

帰国生等で上級レベルを希望し、認められた場合（※1）（登録相談への参加が必要）

例⑥	応用Ⅰ、応用Ⅱ、応用Ⅲ、応用Ⅳ	インテンシブⅤ	インテンシブⅥ
例⑦	インテンシブⅢ	インテンシブⅣ	インテンシブⅤ

（※1）一度上級レベルで認定を受けると、認定を受けた科目より低いレベルの科目は履修できないため、希望する場合は十分に注意すること。

### ■■ その他、注意点 ■■

○入門Ⅰを履修した後にインテンシブⅡへの変更を希望する場合（例④）および帰国生等で上級レベルを希望する場合（例⑥・⑦）は、必ず外国語登録相談へ行き、履修の許可を得ること。

● ⅠⅠ類 自主選択科目

大学における学習は、自己の問題関心と意欲にもとづく主体的な取り組みが求められる。各自の問題関心にもとづいて商学部専門科目と関連する、あるいは補完的な科目履修を行うことも大学における学びをより豊かにする。商学部では自主選択科目として免許関連科目、全学共通教養教育科目の外国語教育科目（ⅠⅠ類外国語科目の卒業に必要な単位として認められない科目）、他学部設置科目、大学コンソーシアム京都単位互換科目、同志社女子大学単位互換科目を選択履修することができる。多様な科目の中から自己の問題関心にしたがって科目選択を行い、主体的な学習計画にもとづいた登録履修が期待される。自主選択科目は必修ではなく18単位まで卒業単位に算入される。「商学部授業時間割表」に記載の科目のみ登録履修することができる。

※どの科目も2年次生から登録・履修できる。

○履修について

	概要等	参照項目
全学共通教養教育科目 外国語教育科目	「サマープログラム・ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ロシア語、セメスタープログラム・ドイツ語」については、前年度の選考試験に合格した2年次生以上が登録できる。	詳細については別冊「商学部登録要領」を参照すること。
他学部設置科目	2年次生以上が登録・履修できる。 ※フレックス複合コース副専攻型国際専修パッケージ科目については、副専攻型での募集を行った上で、人数に余裕がある場合は、商学総合コース生、フレックス複合コース専門特化型の学生も同パッケージの科目を自主選択科目として履修できることがある。手続については、事前に公表する。	
大学コンソーシアム京都単位互換科目	大学コンソーシアム京都に加盟している京都地域の私立大学、短期大学、国公立大学の講義科目を履修できる。 2年次生以上が登録・履修できる。	詳細については別冊「単位互換履修生募集ガイド」「同志社女子大学単位互換履修ガイド」を参照すること。 ※商学部・商学研究科事務室で配布
同志社女子大学単位互換科目	同志社女子大学の講義科目を履修できる。 2年次生以上が登録・履修できる。 ※同志社大学において、すでに履修済み、又は履修中の同一科目名でかつ同一担当者による講義は登録することができない。	詳細については別冊「商学部登録要領」の「『大学コンソーシアム京都単位互換科目』『同志社女子大学単位互換科目』の登録について」を参照すること。

## ▶ 免許科目について

免許資格課程の履修にあたっては、各学部の卒業に必要な単位に加え、各免許資格課程で定められた所要単位を修得しなければならない。授業だけでなく、準備学習や復習など授業時間外の学習の重要性を考慮したうえで、所属学部および免許資格の登録制限単位の範囲内で、1年次から計画的に履修することが要求される。

免許・資格を取得するために必要な科目が11類並びに他学部で開講されている場合は、配当年次に従い、当該科目を免許・資格関係科目として登録することも、【11類 自主選択科目】として登録することも可能である。どちらの方法でも免許・資格関係科目の単位を修得したことになる。ただし、卒業必要単位に算入されるのは【11類 自主選択科目】として登録した場合のみである。なお、**免許科目として登録する場合は、「種別欄」に必ず「M」を付けなければならない。**

### [免許科目としての登録について]

免許資格関係科目の登録種別欄で「M」を選択して登録（M登録）するには、履修を希望する免許資格課程の「仮登録（一般登録期間にDUETにて可能）」もしくは「課程登録（説明会出席等の所定手続が必要）」を必ず行わなければならない。手続方法は免許資格課程や年次によって異なるので免許資格課程センターの掲示・HP等で確認を行うこと。

「仮登録」もしくは「課程登録」を行った課程で定められている科目に限りM登録を行うことが可能となる。「仮登録」もしくは「課程登録」が完了していない場合、M登録することはできず登録エラーとなるので注意すること。

### [免許科目の単位の取り扱いについて]

最高登録単位数に	卒業必要単位に	GPAの	免許・資格科目として
含まない	算入できない	対象とならない	有効

### [免許科目の年間最高登録単位について]

免許・資格関係科目は、各年次に定められた最高登録単位数とは別に登録することができる。ただし、ここで示す2課程とは、教職課程と博物館学芸員課程のように異なった課程を指し、教職課程の2教科を意味するものではないので注意すること。

● **1課程** ⇒ 18単位      ● **2課程以上** ⇒ 22単位

### [課程について]

課程	免許・資格の種類
教職課程	中学校・高等学校の教員免許
博物館学芸員課程	博物館（美術館・資料館・宝物館・動物園・水族館など）の専門職員としての「学芸員」資格
図書館司書課程	図書館の専門職員としての「司書」資格
学校図書館司書教諭課程	「学校図書館司書教諭」資格 ※教員免許状を有することが取得条件であるため、教職課程とともに履修しなければならない。

## ● 12類 外国人留学生科目

外国人留学生科目は外国人留学生が一日も早く本学での生活に慣れ、学問研究の実をあげることができるように、また日本語・日本文化を深く学び、日本での学習研究を生きたものにするように設置したものである。したがって、学部生・大学院生の別なく、なるべく多くの科目を履修し、実力をつけるだけでなく、単位を修得することが望ましい。

詳細については、「2025 日本語・日本文化教育科目 履修の手引き」を参照すること。

- ① 外国人留学生のみが登録履修できる。
- ② 1年次生より登録履修できる。
- ③ 日本語1、日本語2、ビジネス日本語C、ビジネス日本語Dから8単位を修得した場合は、【10類 外国語科目】の1つの外国語8単位に代えることができる。なお、【10類 外国語科目】から母語を履修しても卒業必要単位には算入されない。
- ④ 日本語1、日本語2、ビジネス日本語C、ビジネス日本語Dを除く科目から単位を修得した場合は、【9類 教養科目】の単位に代えることができる。詳細については、「2025 日本語・日本文化教育科目 履修の手引き」を参照のこと。

### 3. 履修要領 –フレックス複合コース–

フレックス複合コース生が卒業するためには、Ⅰ類～Ⅷ類から合計70単位以上を、Ⅸ類教養科目から12単位以上、Ⅹ類外国語科目から1つの外国語8単位以上を修得しなければならない。フレックス複合コース生は、ⅠⅠ類自主選択科目は36単位まで卒業必要単位に算入される。

フレックス複合コース生は2年次春学期に専門特化型・副専攻型のいずれかの履修型を選択する。履修型は、2年次春学期に選択し、3年次春学期の登録時に変更することができる。各類の卒業要件の詳細は下記を参照すること。

#### ●Ⅰ類 導入科目

大学での学びと学生生活を開始するための入り口となる科目である。アカデミック・リテラシーⅠは大学での学びの方法を学習し、学生生活を充実したものに基礎づくりを目的としている。アカデミック・リテラシーⅡは、アカデミック・リテラシーⅠの履修をふまえた上で、さらに特定の学習・研究スキルについて深く学ぶための科目である。ビジネス・トピックスは担当教員の専門性を生かした多面的な教育方法により商学部諸科目を学ぶ意欲を喚起し、専門領域の学びへ誘うことをめざすものである。いずれも1年次に履修し、単位修得することが望ましい。

- ① アカデミック・リテラシーⅠは履修できるクラスが指定されている。別紙「商学部2025年度生 クラス指定表」を参照し、指定されたクラスを受講すること。
- ② アカデミック・リテラシーⅡを登録するには、アカデミック・リテラシーⅠの単位を修得している必要がある。アカデミック・リテラシーⅡは秋学期登録である。登録するクラスは選択できるが、クラス定員を上回った場合は選考によって登録者が決定される。
- ③ アカデミック・リテラシーⅠ、アカデミック・リテラシーⅡはそれぞれ同じ学期に複数クラスを登録履修することはできない。
- ④ ビジネス・トピックスは複数クラスを登録履修することはできない。
- ⑤ アカデミック・リテラシーⅠ・Ⅱ、ビジネス・トピックスの3科目を履修することができるが、Ⅰ類導入科目で修得した単位は合計4単位までしか卒業必要単位として算入されない。
- ⑥ 【Ⅰ類導入科目】は必修ではない。

◎Ⅰ類 導入科目についての詳細は「[商学部Ⅰ類導入科目ガイドABC](#)」を参照

#### ●Ⅱ類 入門科目

商学部の専門科目を学ぶ上で備えておくべき最も基礎的な知識を修得する科目である。

- ① **基本統計学、現代ビジネス、簿記学Ⅰ、簿記学Ⅱ**は1年次において**必ず登録履修**しなければならない。
- ② 1年次においては履修できるクラスが指定されている。別紙「商学部2025年度生 クラス指定表」を参照し、指定されたクラスを受講すること。
- ③ 卒業のためには入門科目4科目のうち、**3科目計6単位以上**を修得しなければならない。

#### ●Ⅲ類 学系基礎科目

##### (Ⅰ) 学系基礎科目Ⅰ

学系基礎科目Ⅰは商学部の学習・研究領域について広い視野を持つとともに、商学部の諸科目を学ぶ上で共通して必要となる基礎的な知識の修得を目的とする科目である。

- ① 1年次秋学期においては**経済学、商業学、国際経済学、経営学、会計学**を**必ず登録履修**しなければならない。



- ② 1年次においては履修できるクラスが指定されている。別紙「商学部2025年度生 クラス指定表」を参照し、指定されたクラスを受講すること。
- ③ 卒業のためには学系基礎科目Ⅰの5科目のうち**4科目計8単位以上**を修得しなければならない。

## (2) 学系基礎科目Ⅱ

学系基礎科目Ⅱは各学系が学習・研究対象とする領域を概観、何が研究課題となっているかを学ぶとともに、2年次および3年次において学系を選択するための知識を修得することを目的とする科目である。

- ① 経済・歴史学系、商業・金融学系、貿易・国際学系、企業・経営学系、簿記・会計学系のすべての学系から少なくとも**各2単位以上、計10単位以上**を修得しなければならない。

## ● 4類 学系展開科目

学系展開科目は2類、3類の学習により得られた広い視野と基礎的な知識をふまえ各学系の専門領域を深く学ぶ商学部の基幹的な専門科目である。経済・歴史学系、商業・金融学系、貿易・国際学系、企業・経営学系、簿記・会計学系からなり、フレックス複合コース生はこのなかから「主学系」を選択履修する。

- ① フレックス複合コース生は**2年次春学期の登録時に「主学系」を選択し**、届け出なければならない。ただし、3年次春学期の登録時にのみ学系の変更を行うことができる。詳細については別冊「商学部登録要領」を参照すること。
- ② フレックス複合コースは**4類学系展開科目のうち主学系10単位以上**を修得しなければならない。
- ③ 専門特化型を選択した場合は、さらに**10単位以上を、選択した主学系科目（4類学系展開科目・5類実践科目・6類専門外国語科目）から修得し、合計20単位以上を修得しなければならない**。選択した主学系科目（4類学系展開科目・5類実践科目・6類専門外国語科目）以外の単位は、合計20単位の内に、算入されないので注意すること。専門特化型を選択し、主学系科目（4類学系展開科目・5類実践科目・6類専門外国語科目）から合計30単位以上を修得した場合は、認定証を交付する。
- ④ 展開特講科目は社会の変化や学問の発展に対応して学系展開科目を補うために年度ごとに開講される科目である。修得した展開特講科目の単位は選択した上記②および③における卒業必要単位として算入される。ただし展開特講科目は毎年度開講されるとは限らないので登録履修にあたっては注意すること。

## ● 5類 実践科目

実践科目は、専門的技能の修得や実習、資格取得に必要な専門的知識の修得、実業家や実務家など外部講師による講義などからなり、社会でも活用できる知識や技能を学ぶ科目である。

- ① 実践科目は毎年度開講されるとは限らないので、登録履修にあたって注意すること。
- ② 実践科目には、一般登録に先立って登録が必要な先行登録科目があるので注意すること。
- ③ 【5類実践科目】は必修ではない。

## ● 6類 専門外国語科目

外国語を活用して専門領域に関する知識を深め、あわせて外国語の修得をめざすための科目である。専門分野の外国語文献の講読を通して読解力と専門的知識の充実をはかる「外国語講読」、ビジネス関連の英語学習を主たる目的とし、リーディング、ヒアリング、会話など多様な内容をもつ「Business English」、商学関係の個別テーマについて基礎的内容を英語で講義する「専門外国語特講」が開講される。

- ① 卒業のためには6類専門外国語科目から**2単位を修得しなければならない**。
- ② 「外国書講読(英語)・(ドイツ語)・(フランス語)・(中国語)・(スペイン語)・(ロシア語)・(コリア語)」、「Business English」は、担当者が異なる場合は別科目として登録履修できる(**同一担当者の場合は登録履修不可**)。
- ③ 「専門外国語特講」については科目のサブタイトルが異なれば別科目として登録履修できる。

## ●7類 演習科目

演習は比較的少数の履修者からなる専門科目である。学生が一人の担当者の指導を受けながら学術論文の講読や研究発表などを通じて専門領域についての研究を進め、その成果を論文としてまとめることをめざす科目である。演習Ⅰは2年次(秋学期)から始まり、3年次に演習Ⅱ・演習Ⅲ、4年次に卒業研究演習Ⅰ(春学期)・卒業研究演習Ⅱ(秋学期)、卒業研究演習Ⅲ(秋学期)を履修できる。演習の履修を希望する者は、**2年次春学期に行われる演習説明会に必ず出席すること**。詳細は演習要項を参照すること。

- ① 演習のクラスは自由選択制であり、コースや学系に関わらず選択できる。ただし演習は定員制であり、登録に先だって選考が実施される。各クラスにはテーマや運営方針があり、これについては改めて発表される。
- ② 演習はグレード制であり、演習Ⅰから順に履修しなければならない。休学等により演習履修が中断されると、それ以降の演習履修が困難になることがあるので注意が必要である。
- ③ ②にかかわらず、転編入学生、交換留学生などについては、演習の途中からの登録履修開始が認められることがある。大学・学部からの派遣留学生(在学留学)、セメスタープログラム、早稲田については、遠隔指導により演習を継続することが認められることがある。
- ④ 担当者から演習の履修継続が不適格であると認められた場合には、演習の途中で失格することがある。
- ⑤ **演習Ⅱを履修するためには、演習Ⅰの単位修得とあわせて、商学部1～8類から20単位以上かつ総単位55単位以上を修得していなければならない**。
- ⑥ 演習Ⅰ履修後、演習Ⅰと同じ担当者の演習Ⅱ・Ⅲ、同卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを履修しなければならない。演習Ⅰ以外の演習科目は通年セット登録しなければならない。
- ⑦ 演習Ⅰ終了段階で、演習Ⅰの単位修得を条件として、1回に限り演習クラスの変更が認められることがある。演習クラスの変更は受け入れ定員が定められており、また変更先の演習担当者の了解が必要である。
- ⑧ 【7類演習科目】は必修ではない。

## ●8類 隣接科目

商学部の専門科目を社会、経済、法律の諸側面から補完する科目によって構成されている。隣接科目から1科目以上を登録履修することが望ましい。なお、【8類隣接科目】は必修ではない。

## ●9類 教養科目

教養科目は、専門的な知識にとどまらない幅広い知識の習得、総合的な判断力の養成、豊かな人間性の涵養を目的としている。全学共通教養教育科目のうち、同志社科目、キャリア形成支援科目(※1)、ライフデザイン科目(※2)、国際教養科目、クリエイティブ・ジャパン科目、人文科学系科目、社会科学系科目、自然・人間科学系科目(※1)、自然科学系科目(※2)、人間科学系科目(※2)、複合領域科目(※1)、プロジェクト科目(※1)、保健体育科目から選択履修すること。詳細は全学共通教養教育科目の履修要項を参照すること。

※1:2024年度以前生が対象 ※2:2025年度以降生が対象

- ① 卒業のためには9類教養科目から12単位以上を選択履修し、これを修得しなければならない。
- ② 同志社科目から1科目以上、登録履修することが望ましい。
- ③ 経済学Ⅰ、経済学Ⅱを登録履修することが望ましい。
- ④ ドイツ文学・フランス文学・中国文学・スペイン文学・ラテンアメリカ文学・ロシア文学の中から複数の科目を修得しても、卒業単位には4単位までしか算入されない。
- ⑤ 9類教養科目には先行登録を実施する科目がある。
- ⑥ 保健体育科目は必修ではない。
- ⑦ 商学部生は「商学」を登録履修することはできない。

## ● 10類 外国語科目

さまざまな外国語の学習を通して、異文化理解と語学力の向上を目指すとともに、国際的視野の確立を目的としている。全学共通教養教育科目の外国語教育科目から以下に定める科目を選択履修すること。

フレックス複合コース生は英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語より1カ国語を選択履修し、8単位以上修得しなければならない。

### 1. 英語科目の履修について

英語科目を選択する場合、次ページの表の中から8単位以上修得しなければならない。

各科目名につく数字は、科目のグレードを示すものではないので、必ずしも1、2の順に履修する必要はない。例えば、春学期にBasic English(LS)Ⅰが不合格でも、秋学期にBasic English(LS)Ⅱを履修することは可能である。履修条件等は別冊「商学部登録要領」を参照すること。

科目名

【2022年度以降生】	【2021年度以前生】
Intensive Advanced English 1	コミュニケーション・イングリッシュ 1
Intensive Advanced English 2	コミュニケーション・イングリッシュ 2
Core English(LS)-Intermediate 1	アナリティカル・リーディング 1
Core English(LS)-Intermediate 2	アナリティカル・リーディング 2
Core English(RW)-Intermediate 1	イングリッシュ・セミナー 1
Core English(RW)-Intermediate 2	イングリッシュ・セミナー 2
Core English(LS)-Pre-Intermediate 1	イングリッシュ・セミナー 3
Core English(LS)-Pre-Intermediate 2	イングリッシュ・ワークショップ 1
Core English(RW)-Pre-Intermediate 1	イングリッシュ・ワークショップ 2
Core English(RW)-Pre-Intermediate 2	イングリッシュ・ワークショップ 3
Basic English(LS) 1	アカデミック・イングリッシュ A
Basic English(LS) 2	アカデミック・イングリッシュ B
Basic English(RW) 1	プロフェッショナル・イングリッシュ A
Basic English(RW) 2	プロフェッショナル・イングリッシュ B
General Academic English(LS)-Intermediate	イングリッシュ・プラクティクム 1
General Academic English(RW)-Intermediate	イングリッシュ・プラクティクム 2
General Academic English(LS)-Pre-Intermediate	プレ・イングリッシュ・プラクティクム
General Academic English(RW)-Pre-Intermediate	言語文化研究 1 言語文化研究 2
English for Professional Purposes 1	現代地域事情・上級講読(英語圏) 1
English for Professional Purposes 2	現代地域事情・上級講読(英語圏) 2
English for Academic Purposes 1	サマープログラム・英語 A
English for Academic Purposes 2	サマープログラム・英語 B
English for Academic Purposes 3	サマープログラム・英語 C
サマープログラム・英語 A	スプリングプログラム・英語 A
サマープログラム・英語 B	スプリングプログラム・英語 B
サマープログラム・英語 C	スプリングプログラム・英語 C
スプリングプログラム・英語 A	スプリングプログラム・英語 D
スプリングプログラム・英語 B	セメスタープログラム・英語 I
スプリングプログラム・英語 C	セメスタープログラム・英語 II
スプリングプログラム・英語 D	Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) 1
セメスタープログラム・英語 I	Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) 2
セメスタープログラム・英語 II	Study Abroad Preparation(IELTS) 1
Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) 1	Study Abroad Preparation(IELTS) 2
Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) 2	実践英語 1、実践英語 2
Study Abroad Preparation(IELTS) 1	実践英語 A、実践英語 B、実践英語 C
Study Abroad Preparation(IELTS) 2	
実践英語 A、実践英語 B、実践英語 C	

●実践英語A・B・Cは、在学中に認定ガイダンス講義を受講した後、TOEIC® L&R テスト、TOEFL-iBT® テスト、IELTS (アカデミック・モジュール) テスト、実用英語技能検定試験 (英検)、国際連合公用語英語検定試験のいずれかで下記の水準以上の成果を修めた場合、「英語」の修得単位として認定される。認定単位数は各学期最高登録単位数、年間登録単位数には含めない。

試験種類	科目名・認定単位数		
	実践英語 A	実践英語 A 実践英語 B	実践英語 A 実践英語 B 実践英語 C
	2 単位	4 単位	6 単位
TOEIC® L&R テスト	600 点以上 730 点未満	730 点以上 800 点未満	800 点以上
TOEFL-iBT® テスト	63 点以上 79 点未満	79 点以上 90 点未満	90 点以上
IELTS (アカデミック・モジュール) テスト	5.5	6.0	6.5 以上
実用英語技能検定試験 (英検)	—	準 1 級	1 級
国際連合公用語英語検定試験	—	A 級	特 A 級

#### 【注意事項】

- 「実践英語ガイダンス」受講後のスコアでのみ申請ができます。(ガイダンス受講前のスコアは利用できません)
- スコアは紙媒体の公式認定証で提出してください。  
※デジタル公式認定証 (PDF 版) では申請できません。公式認定証 (紙媒体) が、実践英語の申請期限までに手元に届く日程で試験を受験すること。
- 過去問題で作成した試験 (IP テスト等) では申請することはできません。
- 休学期間中に修めた成果では申請することはできません。
- 休学期間中に実践英語を申請することはできません。
- スコアはガイダンス受講以降に受けたテストで、試験日から2年以内の申請が有効です。(試験日から2年経過したスコアは申請の対象外となります)
- 実践英語ガイダンスは在学中に1度受講すれば、卒業まで有効です。
- 英検 S-CBT でも申請することができます。
- テスト会場以外の自宅等で受験する方式 (TOEFL iBT Home Edition 等) のスコアについては、コロナ禍の特例として、2024年3月31日までに受験したテストであれば実践英語への申請に利用することができます。2024年4月1日以降に受験したテスト会場以外の自宅等で受験する方式のテストは、実践英語への申請に利用することはできません。

※「L&R」は「LISTENING AND READING」の短縮形です。

※TOEIC、TOEFL-iBTはエデュケーション・テスト・サービス (ETS) の登録商標です。

## 2. ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語及びコリア語の履修について

ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語及びコリア語については、各8単位以上修得しなければならない。下表のとおり各々「レギュラークラス (週2回・2単位)」と「インテンシブクラス (I~IV: 週3回・3単位、V~VIII: 週2回・2単位)」が開講されている。それぞれの外国語で8単位以上修得していても、応用1~応用4のすべて、またはインテンシブIVまでを修得しなければ1つの外国語の卒業要件を満たしたことはないので注意すること。

- ① レギュラークラス及びインテンシブクラスは同一の外国語を履修しなければ、卒業要件を満たしたことはない。
- ② 各科目末尾のローマ数字は、その科目のグレードを示している。つまり「Iを合格した後でなければ、IIに進むことができない」という意味である。

(例) 入門 I 不合格 → 入門 II の登録履修

●履修については下表や履修例を参照のこと。

	科目名	単位	履修条件等
レギュラー クラス	入門Ⅰ	2	●同一外国語の入門Ⅰ・Ⅱをセットで登録すること。 ●春学期の入門Ⅰが不合格の場合、秋学期の入門Ⅱの登録は自動的に削除される。 ●インテンシヴクラス（インテンシヴⅠ、インテンシヴⅡ）との同時履修はできない。  ●入門Ⅱを合格した後に、同一外国語を登録すること。 ●インテンシヴクラス（インテンシヴⅢ、インテンシヴⅣ）との同時履修はできない。
	入門Ⅱ	2	
	応用Ⅰ	1	
	応用Ⅱ	1	
	応用Ⅲ	1	
	応用Ⅳ	1	
インテンシヴ クラス	インテンシヴⅠ	3	●同一外国語のインテンシヴⅠとインテンシヴⅡをセットで登録すること。 ●春学期のインテンシヴⅠが不合格の場合、秋学期のインテンシヴⅡの登録は自動的に削除される。 ●レギュラークラス（入門Ⅰ、入門Ⅱ）との同時履修はできない。
	インテンシヴⅡ	3	
	インテンシヴⅢ	3	●前年度までに同一外国語のインテンシヴⅡの単位を修得していなければならない。 ●同一外国語のインテンシヴⅢとインテンシヴⅣをセットで登録すること。 ●レギュラークラス（応用Ⅰ～Ⅳ）との同時履修はできない。
	インテンシヴⅣ	3	
	インテンシヴⅤ	2	
	インテンシヴⅥ	2	
	インテンシヴⅦ	2	
	インテンシヴⅧ	2	

### ■■ 履修例 ■■

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期
例①	入門Ⅰ	入門Ⅱ	応用Ⅰ、応用Ⅱ、応用Ⅲ、応用Ⅳ	
例②	インテンシヴⅠ	インテンシヴⅡ	インテンシヴⅢ	インテンシヴⅣ
例③	入門Ⅰ	入門Ⅱ	インテンシヴⅢ	インテンシヴⅣ
例④	入門Ⅰ	インテンシヴⅡ	インテンシヴⅢ	インテンシヴⅣ
例⑤	インテンシヴⅠ	インテンシヴⅡ	応用Ⅰ、応用Ⅱ、応用Ⅲ、応用Ⅳ	

帰国生等で上級レベルを希望し、認められた場合（※1）（登録相談への参加が必要）

例⑥	応用Ⅰ、応用Ⅱ、応用Ⅲ、応用Ⅳ	インテンシヴⅤ	インテンシヴⅥ
例⑦	インテンシヴⅢ	インテンシヴⅣ	インテンシヴⅤ

（※1）一度上級レベルで認定を受けると、認定を受けた科目より低いレベルの科目は履修できないため、希望する場合は十分に注意すること。

### ■■ その他、注意点 ■■

○入門Ⅰを履修した後にインテンシヴⅡへの変更を希望する場合（例④）および帰国生等で上級レベルを希望する場合（例⑥・⑦）は、必ず外国語登録相談へ行き、履修の許可を得ること。

## ● ⅠⅠ類 自主選択科目

大学における学習は、自己の問題関心と意欲にもとづく主体的な取り組みが求められる。各自の問題関心にもとづいて商学部専門科目と関連する、あるいは補完的な科目履修を行うことも大学における学びをより豊かにする。商学部では自主選択科目として免許関連科目、全学共通教養教育科目の外国語教育科目（ⅠⅠ類外国語科目の卒業に必要な単位として認められない科目）、他学部設置科目、大学コンソーシアム京都単位互換科目、同志社女子大学単位互換科目を選択履修することができる。多様な科目の中から自己の問題関心にしたがって科目選択を行い、主体的な学習計画にもとづいた登録履修が期待される。自主選択科目は必修ではなく36単位まで卒業単位に算入される。「商学部授業時間割表」に記載の科目のみ登録履修することができる。

※どの科目も2年次生から登録・履修できる。

## ○履修について

	概要等	参照項目
全学共通教養教育科目 外国語教育科目	「サマープログラム・ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ロシア語、セメスタープログラム・ドイツ語」については、前年度の選考試験に合格した2年次生以上が登録できる。	詳細については別冊「商学部登録要領」を参照すること。
他学部設置科目	2年次生以上が登録・履修できる。 ※フレックス複合コース副専攻型国際専修パッケージ科目については、副専攻型での募集を行った上で、人数に余裕がある場合は、商学総合コース生、フレックス複合コース専門特化型の学生も同パッケージの科目を自主選択科目として履修できることがある。手続については、事前に公表する。	
大学コンソーシアム京都単位互換科目	大学コンソーシアム京都に加盟している京都地域の私立大学、短期大学、国公立大学の講義科目を履修できる。 2年次生以上が登録・履修できる。	詳細については別冊「単位互換履修生募集ガイド」「同志社女子大学単位互換履修ガイド」を参照すること。 ※商学部・商学研究科事務室で配布
同志社女子大学単位互換科目	同志社女子大学の講義科目を履修できる。 2年次生以上が登録・履修できる。 ※同志社大学において、すでに履修済み、又は履修中の同一科目名でかつ同一担当者による講義は登録することができない。	詳細については別冊「商学部登録要領」の「『大学コンソーシアム京都単位互換科目』『同志社女子大学単位互換科目』の登録について」を参照すること。

## ▶ 免許科目について

免許資格課程の履修にあたっては、各学部の卒業に必要な単位に加え、各免許資格課程で定められた所要単位を修得しなければならない。授業だけでなく、準備学習や復習など授業時間外の学習の重要性を考慮したうえで、所属学部および免許資格の登録制限単位の範囲内で、1年次から計画的に履修することが要求される。

免許・資格を取得するために必要な科目が11類並びに他学部で開講されている場合は、配当年次に従い、当該科目を免許・資格関係科目として登録することも、【11類 自主選択科目】として登録することも可能である。どちらの方法でも免許・資格関係科目の単位を修得したことになる。ただし、卒業必要単位に算入されるのは【11類 自主選択科目】として登録した場合のみである。なお、**免許科目として登録する場合は、「種別欄」に必ず「M」を付けなければならない。**

### [免許科目としての登録について]

免許資格関係科目の登録種別欄で「M」を選択して登録（M登録）するには、履修を希望する免許資格課程の「仮登録（一般登録期間にDUETにて可能）」もしくは「課程登録（説明会出席等の所定手続が必要）」を必ず行わなければならない。手続方法は免許資格課程や年次によって異なるので免許資格課程センターの掲示・HP等で確認を行うこと。

「仮登録」もしくは「課程登録」を行った課程で定められている科目に限りM登録を行うことが可能となる。「仮登録」もしくは「課程登録」が完了していない場合、M登録することはできず登録エラーとなるので注意すること。

### [免許科目の単位の取り扱いについて]

最高登録単位数に	卒業必要単位に	GPAの	免許・資格科目として
含まない	算入できない	対象とならない	有効

### [免許科目の年間最高登録単位について]

免許・資格関係科目は、各年次に定められた最高登録単位数とは別に登録することができる。ただし、ここで示す2課程とは、教職課程と博物館学芸員課程のように異なった課程を指し、教職課程の2教科を意味するものではないので注意すること。

● **1課程** ⇒ 18単位      ● **2課程以上** ⇒ 22単位

### [課程について]

課程	免許・資格の種類
教職課程	中学校・高等学校の教員免許
博物館学芸員課程	博物館（美術館・資料館・宝物館・動物園・水族館など）の専門職員としての「学芸員」資格
図書館司書課程	図書館の専門職員としての「司書」資格
学校図書館司書教諭課程	「学校図書館司書教諭」資格 ※教員免許状を有することが取得条件であるため、教職課程とともに履修しなければならない。



## ▶ 副専攻パッケージについて

2年次春学期の登録時にフレックス複合コース生で副専攻型を選択した場合は、下記のパッケージの中から一つを選択し、10単位以上を履修しなければならない。いずれのパッケージについても、20単位以上修得した場合は、完修したものと認め、認定証を交付する。3年次春学期の登録時に副専攻パッケージの変更、あるいは専門特化型への変更を認める。また「教職基礎パッケージ」については、免許科目として登録履修(種別欄に「M」を付けて登録)すると、卒業単位に含まれないため注意すること(11類自主選択科目の単位数として履修する場合は、「M」を付けて登録しないこと。ただしこの場合も、免許取得に必要な科目として認定される)。

## ■■ 副専攻パッケージ一覧 ■■

※各科目:2単位

パッケージ名称	分類	パッケージ科目群
教職基礎	基礎	人権教育論*、教育原理*、教職概論*
	応用	地誌学、人文地理学(1)、人文地理学(2) 地理学総論(1)、地理学総論(2)、社会科・地理歴史科教育法、社会科・公民科教育法、社会科教育法1、社会科教育法2、地理歴史科教育法、公民科教育法、商業科教育法A、商業科教育法B、職業指導I、職業指導II、教職情報処理実習、日本国憲法*、日本の憲法*、教育課程論 *1年次から履修が可能。 ※教職免許を修得する場合は、『免許・資格関係履修要項』を参照すること。
社会調査 2016 年度以前生 (科目提供元: 文化情報学部)	基礎	人間と社会、社会調査入門、データサイエンス入門、データサイエンス基礎、数学入門、数学基礎I
	応用	社会調査法、社会調査演習、定量的データ分析、定性的データ分析、数学基礎II、情報理論
社会調査 2017~2023 年度生 (科目提供元: 文化情報学部)	基礎	社会調査入門、データサイエンス入門、データサイエンス基礎、数学入門、線形代数
	応用	社会調査法、社会調査演習、定量的データ分析、定性的データ分析、微分積分、情報理論
スポーツ マネジメント (科目提供元: スポーツ健康科学部)	基礎	スポーツ生理学、スポーツ社会学、スポーツ政策論、栄養学、健康運動論、スポーツ機能解剖学
	応用	スポーツ運動学、トレーニング論、スポーツ栄養学、健康教育学、スポーツ心理学、障がい者スポーツ論、コーチング論、スポーツ教育学、スポーツ行政論、スポーツ経済学、スポーツビジネス論、スポーツ・メディア論、高齢者スポーツ論、スポーツ組織文化論、スポーツ・マーケティング論、障がい者スポーツ指導論
現代メディア (科目提供元: 社会学部)	基礎	ジャーナリズム史、メディア史
	応用	メディア・リテラシー概論、比較メディア論、現代メディア・ジャーナリズム論、ジェンダーとメディア、情報行動論、環境情報学、メディア社会論、世論と社会、メディア産業論、メディア法制倫理、コミュニケーション論、デジタルメディア論(※2021年度以前生:マルチメディア論)、放送論
行政 (科目提供元: 法学部)	基礎	政治参加と選挙、政党政治論、基本的人権概論、行政法概論
	応用	統治の原理I、統治の原理II、社会保障法I、社会保障法II、行政法総論I、行政法総論II、税法I、税法II、地方自治法、環境法、官僚制と政治、議会政治論、福祉国家と政治、利益集団論、政治行動論、行政学、地方政府論、政策過程論

パッケージ 名称	分類	パッケージ科目群
国際専修 2014年度 以前生 (科目提供元： ILA)	Japanese Business in the Global Economy Cluster	
	入門	<b>【Introductory】</b> Introduction to Contemporary Economics and Business, Introduction to Japanese Economy, Macroeconomics, Microeconomics, Introduction to Finance, Introduction to Business Administration, Introduction to Accounting, Society and Economy in Kyoto
	展開	<b>【Intermediate】</b> Consumers and the Market in Contemporary Japan, Ecology and Economy in Contemporary Japan, Industry and Labor in Contemporary Japan, The Creative Industries in Contemporary Japan, The Financial System in Contemporary Japan, Financial Accounting in Japan, Marketing at Japanese Corporation, Japanese Corporation
	発展	<b>【Advanced】</b> The Economies of East Asia, Japanese Economy in Globalization, Corporate Strategy and Organization, Management Accounting in Japan, International Marketing, International Business Communication, Industry and Corporation in Kyoto, Contemporary Issues in Business and Economics
	General Elective Courses	
	Special Lecture Series	
国際専修 2015年度 以降生 (科目提供元： ILA)	Japanese Business and the Global Economy Concentration	
	入門	<b>【Introductory】</b> Introduction to Contemporary Economics and Business, Introduction to the Japanese Economy, Macroeconomics, Microeconomics, Introduction to Finance, Introduction to Business Administration, Introduction to Accounting, Society and Economy in Kyoto
	展開	<b>【Intermediate】</b> Consumers and the Market in Japan, Ecology and Economy in Japan, Industry and Labor in Japan, The Creative Industries in Contemporary Japan, The Financial System in Japan, Financial Accounting in Japan, Introduction to Marketing, Japanese Corporations
	発展	<b>【Advanced】</b> Economic Growth, International Economics, Corporate Strategy and Organization, Management Accounting in Japan, International Marketing, International Business Communication, Industry and Corporation in Kyoto, Contemporary Issues in Business and Economics
	Other Elective Courses	
	Special Lecture Series	

※国際専修・社会調査及び現代メディアパッケージについては人数制限を設け選考を行う(国際専修・現代メディアは1学年30名まで。社会調査は1学年10名まで)。選考方法については、別冊「商学部登録要領」を参照すること。

※国際専修パッケージは、副専攻型の学生による申請で定員を満たさない場合は、商学総合コース、フレックス複合コース専門特化型を選択した学生も履修の申請を受付ける。その場合は、商学部掲示板及び商学部ホームページで案内する。

※社会調査及びスポーツマネジメントパッケージ科目は、京田辺校地で履修を行う。選択にあたっては、京田辺校地への移動、他の授業を考慮して履修を行うこと。

※2024年度以降生は、社会調査パッケージを選択できない。

## 1.各パッケージの内容

### ●教職基礎パッケージ

#### 【対象学生】

- ・将来、中学校の社会、高等学校の地理歴史、公民、商業の各教員になることをめざし、教職課程科目の履修を希望する学生。
- ・教職課程科目を履修しないが、学校教育や教育実践に関心のある学生。

#### 【コンセプト】

この副専攻は教職課程科目を履修する商学部生に対して、教職関連科目のうち基礎的科目の履修を促し、本パッケージを完修した学生には認定証を交付する。「教職基礎副専攻」の履修を通じて修得した単位は商学部の卒業必要単位として認定するが、このパッケージを完修しただけでは教職免許申請に必要な履修条件をすべて満たしたことはないので注意すること。なお、この副専攻は教職課程科目を履修していない学生も選択・履修できる。

#### 【構成科目】

≪基礎≫ 各2単位

人権教育論\* 教育原理\* 教職概論\*

≪応用≫ 各2単位

地誌学 人文地理学（1） 人文地理学（2） 地理学総論（1） 地理学総論（2）

社会科・地理歴史科教育法 社会科・公民科教育法 社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ

地理歴史科教育法 公民科教育法 商業科教育法A 商業科教育法B 職業指導Ⅰ 職業指導Ⅱ

教職情報処理実習 日本国憲法\* 日本の憲法\* 教育課程論

\*1年次から履修が可能。

#### 【選考】

- ・特になし

#### 【完修要件】

- ・上記科目より20単位以上を修得すること（卒業必要単位数は10単位）

#### 【その他】

- ・免許科目として登録（M登録）をした場合は、卒業要件に必要な単位数（10単位以上）にカウントされないので十分注意をして登録をすること。
  - ・このパッケージを完修しても教職免許申請に必要な科目を完修したことにはならないため注意すること。
- ※教職免許を修得する場合は、『免許・資格関係履修要項』を参照すること。

## ●社会調査パッケージ

### 【対象学生】

- ・本専攻は「社会調査士」の資格取得をめざし、また将来、企業や行政機関等で社会調査の専門家として活躍することをめざす学生。
- ・社会調査やデータ処理・統計等の基礎的素養獲得を希望する学生。
- ・2024年度以降生は、社会調査パッケージを選択できない

### 【コンセプト】

本専攻の目的は「社会調査士」資格取得、および社会調査やデータ処理に必要な諸科目を履修することである。この副専攻を登録することにより文化情報学部が提供する調査およびデータ処理に関する諸科目を履修することが可能となる。本パッケージを完修した学生には認定証を交付する。ただし「社会調査士」の資格取得のためには本副専攻パッケージのうち定められた科目を履修し、単位を修得することが必要である。

### 【構成科目】（科目提供元：文化情報学部）

※「社会調査士」資格取得のために必要な科目については、次頁の枠内を参照。

#### 2016年度以前生

≪基礎≫ 各2単位

人間と社会 社会調査入門 データサイエンス入門 データサイエンス基礎 数学入門 数学基礎Ⅰ

≪応用≫ 各2単位

社会調査法 社会調査演習 定量的データ分析 定性的データ分析 数学基礎Ⅱ 情報理論

#### 2017～2023年度生

≪基礎≫ 各2単位

社会調査入門 データサイエンス入門 データサイエンス基礎 数学入門 線形代数

≪応用≫ 各2単位

社会調査法 社会調査演習 定量的データ分析 定性的データ分析 微分積分 情報理論

### 【選考】

- ・1学年10名までの申請が可能。
  - ・1年次終わりのGPA及び単位修得数（※）を考慮して選考する。
  - ・選考日程については、別冊「商学部登録要領」を参照。
- （※）3年次春学期の登録時に履修型の変更を行う場合は、2年次終わりのGPA及び単位修得数に読み替える。

### 【パッケージ完修要件】

- ・上記科目より20単位以上を修得すること（卒業必要単位数は10単位）

### 【その他】

- ・このパッケージ構成科目は原則として京田辺キャンパスで開講されるため、2校地間移動等、登録条件等に注意すること。

●社会調査士とは

「社会調査士」とは、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会現象等を捉えることのできる能力を有する「調査の専門家」のことです。社会調査士資格には、「社会調査士」と「専門社会調査士」の2種類があります。

同志社大学商学部では、所定の科目の単位を修得して申請すれば、学部卒業時に「社会調査士」の認定が受けられます。

●社会調査士資格取得のためのカリキュラム

社会調査士資格取得のためには、以下のA～Gに対応する授業科目の単位を修得する必要があります。

詳細については、社会調査協会のHPを参照してください。

〔社会調査協会HP〕 <https://jasr.or.jp/>

	商学部設置科目	配当年次
【A】社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査入門	2年次
【B】調査設計と実施方法に関する科目	社会調査法	2年次
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目	データサイエンス入門	2年次
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目	データサイエンス基礎	2年次
【E】量的データ解析の方法に関する科目	定量的データ分析または 定性的データ分析	2年次
【G】社会調査の実習を中心とする科目	社会調査演習	2年次

大学在学中には、「社会調査士（キャンディデイト）」が申請できます。＜以下要確認＞

社会調査士（キャンディデイト）の要件は、

- ① 在籍期間が1年以上であること
- ② 社会調査士科目を設置している大学（機関）で標準カリキュラムA～Gに対応した科目単位を申請時まで、3科目以上単位修得していること
- ③ ②の単位修得済み科目と申請年度履修中の科目の合計が5科目以上であることです。

申請を希望する学生は、要件を満たすよう履修・登録に留意してください。なお、秋学期開講科目について、春学期の時点では、科目登録をしていれば、「履修中」とみなします。

〔社会調査協会HP〕 <https://jasr.or.jp/>

## ●スポーツマネジメントパッケージ

### 【対象学生】

- ・スポーツのマネジメントや社会的役割、スポーツの諸機能に関心をもつ学生。
- ・将来、スポーツ・マネージャーやスポーツ関連ビジネス、スポーツ団体などで活躍することを志望する学生。

### 【コンセプト】

- ・本副専攻の目的は、スポーツのマネジメントや社会的役割、諸機能などに関する諸科目を学ぶことである。この副専攻を登録することによりスポーツ健康科学部が提供するスポーツマネジメントに関する諸科目を履修することが可能となる。本パッケージを完修した学生には認定証を交付する。

### 【構成科目】（科目提供元：スポーツ健康科学部）

≪基礎≫ 各2単位

スポーツ生理学 スポーツ社会学 スポーツ政策論 栄養学 健康運動論 スポーツ機能解剖学

≪応用≫ 各2単位

スポーツ運動学 トレーニング論 スポーツ栄養学 健康教育学 スポーツ心理学  
障がい者スポーツ論 コーチング論 スポーツ教育学 スポーツ行政論 スポーツ経済学  
スポーツビジネス論 スポーツ・メディア論 高齢者スポーツ論 スポーツ組織文化論  
スポーツ・マーケティング論 障がい者スポーツ指導論

### 【選考】

- ・特になし

### 【完修要件】

- ・上記科目より20単位以上を修得すること（卒業必要単位数は10単位）

### 【その他】

- ・このパッケージ構成科目は原則として京田辺キャンパスで開講されるため、2校地間移動等、登録条件等に注意すること。

**●現代メディアパッケージ****【対象学生】**

- ・ マスメディアやジャーナリズム等に関心をもつ学生。
- ・ 将来、報道、マスコミ、放送、広告などの分野で活躍することを志望する学生。

**【コンセプト】**

・ 本副専攻の目的は、マスメディアやジャーナリズム、メディア産業などに関する諸科目を学ぶことである。この副専攻を登録することにより社会学部が提供するメディアに関する諸科目を履修することが可能となる。本パッケージを完修した学生には認定証を交付する。

**【構成科目】（科目提供元：社会学部）**

≪基礎≫ 各2単位

ジャーナリズム史 メディア史

≪応用≫ 各2単位

メディア・リテラシー概論 比較メディア論 現代メディア・ジャーナリズム論

ジェンダーとメディア 情報行動論 環境情報学 メディア社会論 世論と社会

メディア産業論 メディア法制倫理 コミュニケーション論 デジタルメディア論（※2021年度以

前生：マルチメディア論） 放送論

**【選考】**

- ・ 1学年30名までの申請が可能。
  - ・ 1年次終わりのGPA及び単位修得数（※）を考慮して選考する。
  - ・ 選考日程については、別冊「商学部登録要領」を参照。
- （※）3年次春学期の登録時に履修型の変更を行う場合は、2年次終わりのGPA及び単位修得数に読み替える。

**【完修要件】**

- ・ 上記科目より20単位以上を修得すること（卒業必要単位数は10単位）

## ●行政パッケージ

### 【対象学生】

- ・公共分野、政策立案や行政に関心をもつ学生。
- ・将来、官庁や地方自治体、公共セクター等で活躍することを志望する学生。

### 【コンセプト】

本副専攻の目的は、公共分野での政策活動や行政に関する諸科目を学ぶことである。この副専攻を登録することにより法学部が提供する政策や行政に関する諸科目を履修することが可能となる。本パッケージを完修した学生には認定証を交付する。

### 【構成科目】（科目提供元：法学部）

≪基礎≫ 各2単位

政治参加と選挙 政党政治論 基本的人権概論 行政法概論

≪応用≫ 各2単位

統治の原理Ⅰ 統治の原理Ⅱ 社会保障法Ⅰ 社会保障法Ⅱ 行政法総論Ⅰ 行政法総論Ⅱ 税法Ⅰ  
税法Ⅱ 地方自治法 環境法 官僚制と政治 議会政治論 福祉国家と政治 利益集団論  
政治行動論 行政学 地方政府論 政策過程論

### 【選考】

- ・特になし

### 【完修要件】

- ・上記科目より20単位以上を修得すること（卒業必要単位数は10単位）



## ●国際専修パッケージ

## 【対象学生】

- ・異文化理解に関心を持ち、高い外国語能力の習得を志す学生。
- ・将来、国際ビジネス等国際舞台において活躍することを志す学生。

## 【コンセプト】

この副専攻の目的は高い外国語能力を身に着けると同時に、異文化の理解を深めることである。この副専攻を申請することにより ILA（国際教育インスティテュート）設置科目のうち 2014 年度以前生は「Japanese Business in the Global Economy Cluster」の科目および「General Elective Courses」の「Special Lecture Series」を、2015 年度以降生は「Japanese Business and the Global Economy Concentration」の科目および「Other Elective Courses」の「Special Lecture Series」を履修することができる。本パッケージを完修した学生には認定証を交付する。完修により国際舞台で活躍し得る人材として成長することが期待される。

## 2014 年度以前生

## 【構成科目】（科目提供元：ILA）

*Japanese Business in the Global Economy Cluster*

## 《Introductory》 各 2 単位

Introduction to Contemporary Economics and Business

Introduction to Japanese Economy    Macroeconomics    Microeconomics

Introduction to Finance    Introduction to Business Administration

Introduction to Accounting    Society and Economy in Kyoto

## 《Intermediate》 各 2 単位

Consumers and the Market in Contemporary Japan    Ecology and Economy in Contemporary Japan

Industry and Labor in Contemporary Japan    The Creative Industries in Contemporary Japan

The Financial System in Contemporary Japan    Financial Accounting in Japan

Marketing at Japanese Corporations    Japanese Corporations

## 《Advanced》 各 2 単位

The Economies of East Asia    Japanese Economy in Globalization

Corporate Strategy and Organization    Management Accounting in Japan

International Marketing    International Business Communication

Industry and Corporation in Kyoto    Contemporary Issues in Business and Economics

*General Elective Courses*

Special Lecture Series（1 単位、2 単位もしくは 4 単位）

## 2015 年度以降生

## 【構成科目】（科目提供元：ILA）

*Japanese Business and the Global Economy Concentration*

## 《Introductory》 各 2 単位

Introduction to Contemporary Economics and Business    Introduction to the Japanese Economy

Macroeconomics    Microeconomics    Introduction to Finance    Introduction to Accounting

Introduction to Business Administration    Society and Economy in Kyoto

《Intermediate》 各 2 単位

Consumers and the Market in Japan Ecology and Economy in Japan  
Industry and Labor in Japan The Creative Industries in Contemporary Japan  
The Financial System in Japan Financial Accounting in Japan  
Introduction to Marketing Japanese Corporations

《Advanced》 各 2 単位

Economic Growth International Economics Corporate Strategy and Organization  
Management Accounting in Japan International Marketing  
International Business Communication Industry and Corporation in Kyoto  
Contemporary Issues in Business and Economics

### *Other Elective Courses*

Special Lecture Series (1 単位、2 単位もしくは 4 単位)

### 【選考】

1 学年 30 名までの申請が可能。

①次のいずれかの英語能力試験を受験し、定められたスコアを取得していること。

・ TOEIC®L&R テスト 730 点以上

・ TOEFL-IBT®テスト 79 点以上

※上記のスコアは、大学入学前のスコアも可とする。

※TOEIC-IP®テスト、TOEFL-ITP®テストのスコアは不可とする。

※申請にあたっては、DUET から副専攻パッケージの登録を行った上で、スコアの写しを  
商学部事務室に提出すること。

②申請者数が募集人数を上回った場合、英語能力試験のスコアと 1 年次終わりの GPA 及び単位修得数  
(※) を考慮して選考する。

(※) 3 年次春学期の登録時に履修型の変更を行う場合は、2 年次終わりの GPA 及び単位修得数に読  
み替える。

◆フレックス複合コース副専攻型を選択する学生を優先するが、募集人数に満たない場合は、  
商学総合コース及びフレックス複合コース専門特化型の学生も、「国際専修」の科目を履修  
することを認める (ただし 20 単位を修得した場合に、副専攻型の学生に発行する副専攻認  
定書は発行しない)。その場合は、選考を行う。

・ 選考日程については、別冊「商学部登録要領」を参照。

### 【完修要件】

・ 上記科目より 20 単位以上を修得すること (卒業必要単位数は 10 単位)

### 【その他】

・ 国際専修の科目 (国際教育インスティテュート (ILA) の授業) はすべて英語で行われる。

## ● 12類 外国人留学生科目

外国人留学生科目は外国人留学生が一日も早く本学での生活に慣れ、学問研究の実をあげることができるように、また日本語・日本文化を深く学び、日本での学習研究を生きたものにするように設置したものである。したがって、学部生・大学院生の別なく、なるべく多くの科目を履修し、実力をつけるだけでなく、単位を修得することが望ましい。

詳細については、「2025 日本語・日本文化教育科目 履修の手引き」を参照すること。

- ① 外国人留学生のみが登録履修できる。
- ② 1年次生より登録履修できる。
- ③ 日本語1、日本語2、ビジネス日本語C、ビジネス日本語Dから8単位を修得した場合は、【10類 外国語科目】の1つの外国語8単位に代えることができる。なお、【10類 外国語科目】から母語を履修しても卒業必要単位には算入されない。
- ④ 日本語1、日本語2、ビジネス日本語C、ビジネス日本語Dを除く科目から単位を修得した場合は、【9類 教養科目】の単位に代えることができる。詳細については、「2025 日本語・日本文化教育科目 履修の手引き」を参照のこと。

## 4. 開講科目一覧

### ◆ I 類 導入科目

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
今出川	I0522101	001	アカデミック・リテラシーⅠ	1	藤岡 裕大	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	002	アカデミック・リテラシーⅠ	2	藤岡 裕大	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	003	アカデミック・リテラシーⅠ	3	藤岡 裕大	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	004	アカデミック・リテラシーⅠ	4	藤岡 裕大	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	005	アカデミック・リテラシーⅠ	5	藤岡 裕大	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	006	アカデミック・リテラシーⅠ	6	藤岡 裕大	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	007	アカデミック・リテラシーⅠ	7	銀 迪	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	008	アカデミック・リテラシーⅠ	8	銀 迪	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	009	アカデミック・リテラシーⅠ	9	銀 迪	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	010	アカデミック・リテラシーⅠ	10	銀 迪	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	011	アカデミック・リテラシーⅠ	11	銀 迪	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	012	アカデミック・リテラシーⅠ	12	銀 迪	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	013	アカデミック・リテラシーⅠ	13	柴田 喜悠	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	014	アカデミック・リテラシーⅠ	14	柴田 喜悠	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	015	アカデミック・リテラシーⅠ	15	柴田 喜悠	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	016	アカデミック・リテラシーⅠ	16	柴田 喜悠	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	017	アカデミック・リテラシーⅠ	17	柴田 喜悠	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	018	アカデミック・リテラシーⅠ	18	柴田 喜悠	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	019	アカデミック・リテラシーⅠ	19	木村 多嘉子	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	020	アカデミック・リテラシーⅠ	20	木村 多嘉子	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	021	アカデミック・リテラシーⅠ	21	木村 多嘉子	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	022	アカデミック・リテラシーⅠ	22	木村 多嘉子	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	023	アカデミック・リテラシーⅠ	23	木村 多嘉子	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	024	アカデミック・リテラシーⅠ	24	木村 多嘉子	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	025	アカデミック・リテラシーⅠ	25	趙 勝新	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	026	アカデミック・リテラシーⅠ	26	趙 勝新	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	027	アカデミック・リテラシーⅠ	27	趙 勝新	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	028	アカデミック・リテラシーⅠ	28	趙 勝新	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	029	アカデミック・リテラシーⅠ	29	趙 勝新	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	030	アカデミック・リテラシーⅠ	30	趙 勝新	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	031	アカデミック・リテラシーⅠ	31	横山 斉理	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	032	アカデミック・リテラシーⅠ	32	朱 浩良	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	033	アカデミック・リテラシーⅠ	33	朱 浩良	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	034	アカデミック・リテラシーⅠ	34	EVGENY KISELEV	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	035	アカデミック・リテラシーⅠ	35	EVGENY KISELEV	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	I0522101	036	アカデミック・リテラシーⅠ	36	麻生 潤	2	春2	2~	【先行登録】 再履修クラス	否

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
今出川	10522102	000	アカデミック・リテラシーⅡ		EVGENY KISELEV	2	秋2	1~	【先行登録】	否
今出川	10522111	001	ビジネス・トピックス	1	藤岡 裕大	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	002	ビジネス・トピックス	2	藤岡 裕大	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	003	ビジネス・トピックス	3	藤岡 裕大	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	004	ビジネス・トピックス	4	藤岡 裕大	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	005	ビジネス・トピックス	5	藤岡 裕大	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	006	ビジネス・トピックス	6	藤岡 裕大	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	007	ビジネス・トピックス	7	銀 迪	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	008	ビジネス・トピックス	8	銀 迪	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	009	ビジネス・トピックス	9	銀 迪	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	010	ビジネス・トピックス	10	銀 迪	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	011	ビジネス・トピックス	11	銀 迪	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	012	ビジネス・トピックス	12	銀 迪	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	013	ビジネス・トピックス	13	柴田 喜悠	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	014	ビジネス・トピックス	14	柴田 喜悠	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	015	ビジネス・トピックス	15	柴田 喜悠	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	016	ビジネス・トピックス	16	柴田 喜悠	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	017	ビジネス・トピックス	17	柴田 喜悠	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	018	ビジネス・トピックス	18	柴田 喜悠	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	019	ビジネス・トピックス	19	木村 多嘉子	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	020	ビジネス・トピックス	20	木村 多嘉子	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	021	ビジネス・トピックス	21	木村 多嘉子	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	022	ビジネス・トピックス	22	木村 多嘉子	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	023	ビジネス・トピックス	23	木村 多嘉子	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	024	ビジネス・トピックス	24	趙 勝新	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	025	ビジネス・トピックス	25	趙 勝新	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	026	ビジネス・トピックス	26	趙 勝新	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	027	ビジネス・トピックス	27	趙 勝新	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	028	ビジネス・トピックス	28	趙 勝新	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	029	ビジネス・トピックス	29	趙 勝新	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	030	ビジネス・トピックス	30	長沼 健	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	031	ビジネス・トピックス	31	EVGENY KISELEV	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	032	ビジネス・トピックス	32	中村 文亮	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	033	ビジネス・トピックス	33	横山 斉理	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	034	ビジネス・トピックス	34	横山 斉理	2	秋2	1	【先行登録】	否
今出川	10522111	035	ビジネス・トピックス	35	木村 多嘉子	2	春2	2~	【先行登録】 再履修クラス	否

Ⅲ 商学部での  
履修のすすめ  
方について

◆2類 入門科目										
校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
今出川	10522201	001	基本統計学	1	相川 雄哉	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	002	基本統計学	2	相川 雄哉	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	003	基本統計学	3	相川 雄哉	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	004	基本統計学	4	相川 雄哉	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	005	基本統計学	5	相川 雄哉	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	006	基本統計学	6	相川 雄哉	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	007	基本統計学	7	相川 雄哉	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	008	基本統計学	8	相川 雄哉	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	009	基本統計学	9	相川 雄哉	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	010	基本統計学	10	相川 雄哉	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	011	基本統計学	11	相川 雄哉	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	012	基本統計学	12	久納 誠矢	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	013	基本統計学	13	久納 誠矢	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	014	基本統計学	14	中岡 孝剛	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	015	基本統計学	15	中岡 孝剛	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	016	基本統計学	16	牧 大樹	2	春2	1	【クラス指定】	否
今出川	10522201	017	基本統計学	17	相川 雄哉	2	秋2	1~	再履修クラス	否
今出川	10522202	001	現代ビジネス	1	大原 悟務 小島 秀信 中道 一心 EVGENY KISELEV	2	春2	1~	【先行登録】 2025年度生は【クラス指定】	否
今出川	10522202	002	現代ビジネス	2	大原 悟務 小島 秀信 中道 一心 EVGENY KISELEV	2	春2	1~		否
今出川	10522202	003	現代ビジネス	3	大原 悟務 小島 秀信 中道 一心 EVGENY KISELEV	2	春2	1~		否
今出川	10522202	004	現代ビジネス	4	大原 悟務 小島 秀信 中道 一心 EVGENY KISELEV	2	春2	1~		否
今出川	10522203	001	簿記学Ⅰ	1	徐 小鈞	2	春2	1~	【先行登録】 2025年度生は【クラス指定】	否
今出川	10522203	002	簿記学Ⅰ	2	徐 小鈞	2	春2	1~		否
今出川	10522203	003	簿記学Ⅰ	3	徐 小鈞	2	春2	1~		否
今出川	10522203	004	簿記学Ⅰ	4	徐 小鈞	2	春2	1~		否
今出川	10522203	005	簿記学Ⅰ	5	徐 小鈞	2	春2	1~		否
今出川	10522203	006	簿記学Ⅰ	6	徐 小鈞	2	春2	1~		否
今出川	10522203	007	簿記学Ⅰ	7	廣瀬 喜貴	2	春2	1~		否
今出川	10522203	008	簿記学Ⅰ	8	山本 達司	2	春2	1~		否
今出川	10522203	009	簿記学Ⅰ	9	陶 静	2	春2	1~		【先行登録】 再履修クラス 商学部の2025年度生は履修不可
今出川	10522204	001	簿記学Ⅱ	1	徐 小鈞	2	秋2	1~	【先行登録】 2025年度生は【クラス指定】	否
今出川	10522204	002	簿記学Ⅱ	2	徐 小鈞	2	秋2	1~		否
今出川	10522204	003	簿記学Ⅱ	3	徐 小鈞	2	秋2	1~		否
今出川	10522204	004	簿記学Ⅱ	4	徐 小鈞	2	秋2	1~		否
今出川	10522204	005	簿記学Ⅱ	5	徐 小鈞	2	秋2	1~		否
今出川	10522204	006	簿記学Ⅱ	6	徐 小鈞	2	秋2	1~		否
今出川	10522204	007	簿記学Ⅱ	7	廣瀬 喜貴	2	秋2	1~		否
今出川	10522204	008	簿記学Ⅱ	8	山本 達司	2	秋2	1~		否
今出川	10522204	009	簿記学Ⅱ	9	陶 静	2	秋2	1~		【先行登録】 再履修クラス 商学部の2025年度生は履修不可

◆ 3類 学系基礎科目Ⅰ										
校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
今出川	1052231	001	経済学	1	中岡 孝剛	2	秋2	1～	【先行登録】 2025年度生は【クラス指定】	可
今出川	1052231	002	経済学	2	内藤 徹	2	秋2	1～		可
今出川	1052231	003	経済学	3	橋本 浩幸	2	秋2	1～		可
今出川	1052232	001	商業学	1	佐々木 一郎	2	秋2	1～	【先行登録】 2025年度生は【クラス指定】	否
今出川	1052232	002	商業学	2	横山 斉理	2	秋2	1～		否
今出川	1052232	003	商業学	3	石田 信博	2	秋2	1～		否
今出川	1052233	001	国際経済学	1	久松 太郎	2	秋2	1～	【先行登録】 2025年度生は【クラス指定】	否
今出川	1052233	002	国際経済学	2	遠藤 敏幸	2	秋2	1～		否
今出川	1052233	003	国際経済学	3	朱 浩良	2	秋2	1～		否
今出川	1052234	001	経営学	1	福本 俊樹	2	秋2	1～	【先行登録】 2025年度生は【クラス指定】	否
今出川	1052234	002	経営学	2	柿沼 英樹	2	秋2	1～		否
今出川	1052234	003	経営学	3	中村 文亮	2	秋2	1～		否
今出川	1052234	004	経営学	4	富田 健司	2	春2	1～	再履修クラス 商学部の2025年度生は履修不可	可
今出川	1052235	001	会計学	1	志賀 理	2	秋2	1～	【先行登録】 2025年度生は【クラス指定】	可
今出川	1052235	002	会計学	2	志賀 理	2	秋2	1～		可
今出川	1052235	003	会計学	3	稲見 亨	2	秋2	1～		可

◆ 3類 学系基礎科目Ⅱ										
【2024年度生対象】3類 学系基礎科目Ⅱの履修について										
3類 学系基礎科目Ⅱの科目は一部を除きクラス指定科目である。										
原則、指定されたクラス以外の登録は認めないため、各科目の時間割を確認し、他の科目と時間割が重複しないように注意すること。										
下記理由の場合のみ、別クラスの履修を認める。（再履修クラスは履修不可）										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定クラスが7類 演習科目（演習Ⅰ）と時間割重複する場合</li> <li>・指定クラスが10類 外国語科目と時間割重複する場合</li> <li>・指定クラスが在学留学またはセメスタープログラムの参加学期と重複する場合</li> </ul>										
別クラスへの変更を希望する場合は、下記の期間中に商学部・商学研究科事務室の窓口で申請をすること。（DUETでは申請できない）										
春学期：4月8日（火）～9日（水）、秋学期：9月25日（木）、26日（金）										
事務室開室時間：9:00～11:30、12:30～17:00										
〔経済・歴史学系〕										
校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
今出川	10522312	001	ミクロ経済学	1	中岡 孝剛	2	春2	2	【クラス指定】2024年度生のみ履修可 1クラス：学生ID 1～476 2クラス：学生ID 477～終、2001～終	否
今出川	10522312	002	ミクロ経済学	2	内藤 徹	2	秋2	2		否
今出川	10522312	003	ミクロ経済学	3	内藤 徹	2	春2	2～	再履修クラス 商学部の2024年度生は履修不可	可
今出川	10522313	001	マクロ経済学	1	溝渕 英之	2	春2	2	【クラス指定】2024年度生のみ履修可 1クラス：学生ID 1～476 2クラス：学生ID 477～終、2001～終	否
今出川	10522313	002	マクロ経済学	2	新豊 直輝	2	秋2	2		否
今出川	10522313	003	マクロ経済学	3	溝渕 英之	2	春2	2～	再履修クラス 商学部の2024年度生は履修不可	可
今出川	10522314	001	計量経済学	1	上田 雅弘	2	春2	2	【先行登録】 2024年度生のみ履修可	否
今出川	10522314	002	計量経済学	2	牧 大樹	2	秋2	2		否
今出川	10522314	003	計量経済学	3	牧 大樹	2	春2	2		否
今出川	10522314	004	計量経済学	4	牧 大樹	2	秋2	2～	【先行登録】再履修クラス 商学部の2024年度生は履修不可	可
今出川	10522315	001	商業史	1	川満 直樹	2	春2	2	【クラス指定】2024年度生のみ履修可 1クラス：学生ID 477～終、2001～終 2クラス：学生ID 1～476	否
今出川	10522315	002	商業史	2	川満 直樹	2	秋2	2		否
今出川	10522315	003	商業史	3	川満 直樹	2	秋2	2～	再履修クラス 商学部の2024年度生は履修不可	可

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
〔商業・金融学系〕										
今出川	10522322	001	流通論	1	崔 容熏	2	春2	2	【クラス指定】2024年度生のみ履修可 1クラス：学生ID 1～476 2クラス：学生ID 477～終、2001～終	否
今出川	10522322	002	流通論	2	崔 容熏	2	春2	2		否
今出川	10522322	003	流通論	3	崔 容熏	2	秋2	2～	再履修クラス 商学部の2024年度生は履修不可	可
今出川	10522323	001	マーケティング論	1	石田 大典	2	春2	2	【クラス指定】2024年度生のみ履修可 1クラス：学生ID 1～476 2クラス：学生ID 477～終、2001～終	否
今出川	10522323	002	マーケティング論	2	石田 大典	2	春2	2		否
今出川	10522323	003	マーケティング論	3	石田 大典	2	春2	2～	再履修クラス 商学部の2024年度生は履修不可	可
今出川	10522324	001	金融論	1	植田 宏文	2	春2	2～	2024年度生は【クラス指定】 1クラス：学生ID 1～476 2クラス：学生ID 477～終、2001～終	可
今出川	10522324	002	金融論	2	植田 宏文	2	秋2	2～		可
今出川	10522325	001	証券論	1	五百旗頭 真吾	2	春2	2～	2024年度生は【クラス指定】 1クラス：学生ID 477～終、2001～終 2クラス：学生ID 1～476	可
今出川	10522325	002	証券論	2	五百旗頭 真吾	2	秋2	2～		可
〔貿易・国際学系〕										
今出川	10522332	001	貿易論	1	田淵 太一	2	春2	2～	2024年度生は【クラス指定】 1クラス：学生ID 1～476 2クラス：学生ID 477～終、2001～終	可
今出川	10522332	002	貿易論	2	久松 太郎	2	秋2	2～		可
今出川	10522333	001	貿易業務論	1	吉川 英一郎	2	春2	2～	2024年度生は【クラス指定】 1クラス：学生ID 1～476 2クラス：学生ID 477～終、2001～終	可
今出川	10522333	002	貿易業務論	2	吉川 英一郎	2	秋2	2～		可
今出川	10522334	001	国際金融論	1	服部 茂幸	2	春2	2～	2024年度生は【クラス指定】 1クラス：学生ID 477～終、2001～終 2クラス：学生ID 1～476	可
今出川	10522334	002	国際金融論	2	服部 茂幸	2	秋2	2～		可
今出川	10522335	001	国際商取引論	1	長沼 健	2	春2	2～	2024年度生は【クラス指定】 1クラス：学生ID 477～終、2001～終 2クラス：学生ID 1～476	可
今出川	10522335	002	国際商取引論	2	中村 嘉孝	2	秋2	2～		可
〔企業・経営学系〕										
今出川	10522342	001	経営管理論	1	谷本 啓	2	春2	2～	2024年度生は【クラス指定】 1クラス：学生ID 1～476 2クラス：学生ID 477～終、2001～終	可
今出川	10522342	002	経営管理論	2	今西 宏次	2	秋2	2～		可
今出川	10522343	001	経営組織論	1	福本 俊樹	2	春2	2	【クラス指定】2024年度生のみ履修可 1クラス：学生ID 1～476 2クラス：学生ID 477～終、2001～終	否
今出川	10522343	002	経営組織論	2	柿沼 英樹	2	秋2	2		否
今出川	10522343	003	経営組織論	3	松田 陽一	2	春2	2～	再履修クラス 商学部の2024年度生は履修不可	可
今出川	10522344	001	経営戦略論	1	中道 一心	2	春2	2	【クラス指定】2024年度生のみ履修可 1クラス：学生ID 477～終、2001～終 2クラス：学生ID 1～476	否
今出川	10522344	002	経営戦略論	2	中道 一心	2	秋2	2		否
今出川	10522344	003	経営戦略論	3	中村 文亮	2	秋2	2～	再履修クラス 商学部の2024年度生は履修不可	可
今出川	10522345	001	経営史	1	山内 雄気	2	春2	2～	2024年度生は【クラス指定】 1クラス：学生ID 477～終、2001～終 2クラス：学生ID 1～476	可
今出川	10522345	002	経営史	2	山内 雄気	2	秋2	2～		可
〔簿記・会計学系〕										
今出川	10522352	001	簿記学Ⅲ	1	廣瀬 喜貴	2	春2	2～	2024年度生は【クラス指定】 1クラス：学生ID 1～316 2クラス：学生ID 317～634 3クラス：学生ID 635～終、2001～終	可
今出川	10522352	002	簿記学Ⅲ	2	伊藤 正隆	2	春2	2～		可
今出川	10522352	003	簿記学Ⅲ	3	石光 裕	2	春2	2～		可
今出川	10522353	001	工業簿記Ⅰ	1	伊藤 正隆	2	春2	2～	2024年度生は【クラス指定】 1クラス：学生ID 1～476 2クラス：学生ID 477～終、2001～終	可
今出川	10522353	002	工業簿記Ⅰ	2	伊藤 正隆	2	春2	2～		可
今出川	10522354	001	財務会計論	1	土田 俊也	2	秋2	2	【クラス指定】2024年度生のみ履修可 1クラス：学生ID 477～終、2001～終 2クラス：学生ID 1～476	否
今出川	10522354	002	財務会計論	2	稲見 亨	2	秋2	2		否
今出川	10522354	003	財務会計論	3	土田 俊也	2	秋2	2～	再履修クラス 商学部の2024年度生は履修不可	可
今出川	10522355	001	監査論	1	廣瀬 喜貴	2	秋2	2～	2024年度生は【クラス指定】 1クラス：学生ID 477～終、2001～終 2クラス：学生ID 1～476	可
今出川	10522355	002	監査論	2	廣瀬 喜貴	2	秋2	2～		可



◆4類 学系展開科目

【2024年度生対象】4類 学系展開科目の別クラスの履修について

4類 学系展開科目の科目は一部クラス指定科目であるが、下記理由の場合のみ、別クラスの履修を認める。

- ・指定クラスが7類 演習科目（演習Ⅰ）と時間割重複する場合

別クラスへの変更を希望する場合は、下記の期間中に商学部・商学研究科事務室の窓口で申請をすること。（DUETでは申請できない）

春学期：4月8日（火）～9日（水）、秋学期：9月25日（木）、26日（金）

事務室開室時間：9:00～11:30、12:30～17:00

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当年次		備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード						商学 総合	フレックス 複合		
【経済・歴史学系】											
今出川	10522401		経済変動論		溝淵 英之	2	春2	3～	2～		可
今出川	10522411		市場と人間		小島 秀信	2	春2	3～	2～		可
今出川	10522471		経済統計分析		牧 大樹	2	秋2	3～	2～	【先行登録】	可
今出川	10522431		戦略の経済学		内藤 徹	2	春2	3～	2～		可
今出川	10522441		日本商業史		山下 麻衣	2	秋2	3～	2～		可
今出川	10522451		現代商業史		山下 麻衣	2	春2	3～	2～		可
今出川	10522461		オペレーションズ・リサーチ		辻村 元男	2	春2	3～	2～	【先行登録】	可
【経済・歴史学系 特講科目】											
今出川	10522402		多変量解析		上田 雅弘	2	春2	3～		【先行登録】	可
今出川	10522403		数量分析の基礎		辻村 元男	2	秋2	3～		【先行登録】	可
今出川	10522415		ポリティカル・エコノミー		小島 秀信	2	秋2	3～			可
今出川	10522432		産業組織論		上田 雅弘	2	秋2	3～			可
今出川	10522442		西洋商業史		鳩澤 歩	2	秋2	3～			可
今出川	10522452		企業者史		山下 麻衣	2	春2	3～			可

【商業・金融学系】											
今出川	10522601	001	商品学	1	大原 悟務	2	春2	3～	2～		可
今出川	10522601	002	商品学	2	大原 悟務	2	秋2	3～	2～		可
今出川	10522611	001	観光論	1	西村 幸子	2	春2	3～	2～		可
今出川	10522611	002	観光論	2	西村 幸子	2	春2	3～	2～		可
今出川	10522621		交通論		青木 真美	2	春2	3～	2～	【先行登録】	可
今出川	10522631		物流システム論		石田 信博	2	秋2	3～	2～	【先行登録】	可
今出川	10522641		消費者行動論		高橋 広行	2	春2	3～	2～		可
今出川	10522651		マーケティング・リサーチ		高橋 広行	2	春2	3～	2～	【先行登録】	可
今出川	10522661		貨幣論		五百旗頭 真吾	2	春2	3～	2～		可
今出川	10522671		銀行論		丸茂 俊彦	2	秋2	3～	2～		可
今出川	10522681		金融政策論		植田 宏文	2	春2	3～	2～		可
今出川	10522691		ファイナンス論		久納 誠矢	2	春2	3～	2～		可
今出川	10522702		企業金融論		久納 誠矢	2	秋2	3～	2～		可
今出川	10522711		保険論		佐々木 一郎	2	春2	3～	2～		可
今出川	10522721		リスクマネジメント		佐々木 一郎	2	春2	3～	2～		可
今出川	10522741		金融システム論		丸茂 俊彦	2	春2	3～	2～	【2013、2014年度生】科目名：商業・金融のための統計数理 科目コード：10522731	可
【商業・金融学系 特講科目】											
今出川	10522612		旅行産業論		西村 幸子	2	秋2	3～			可
今出川	10522632		海運論		石田 信博	2	春2	3～		【先行登録】	可
	10522633		ロジスティクス		(本年度休講)	2		3～			
	10522642		商業地理		(本年度休講)	2		3～			
	10522643		商店立地論		(本年度休講)	2		3～			
	10522644		広告論		(本年度休講)	2		3～			
	10522654		サービス・マーケティング論		(本年度休講)	2		3～			
今出川	10522712		損害保険論		佐々木 一郎	2	春2	3～			可
今出川	10522713		年金論		佐々木 一郎	2	秋2	3～			可
今出川	10522714		海上保険論		田中 隆	2	秋2	3～			可

Ⅲ 商学部での履修のすすめ方について

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当年次		備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード						商学 総合	7/8/9 履修 可		
〔貿易・国際学系〕											
今出川	10522801		世界経済論		田淵 太一	2	春2	3~	2~		可
今出川	10522811		現代国際金融		服部 茂幸	2	春2	3~	2~		可
今出川	10522821		経済統合論		山本 いづみ	2	秋2	3~	2~		可
今出川	10522831		欧米経済論		山本 いづみ	2	秋2	3~	2~		可
今出川	10522841		発展途上国経済論		遠藤 敏幸	2	春2	3~	2~		可
今出川	10522851		アジア経済論		西川 純平	2	秋2	3~	2~		可
今出川	10522861		国際ビジネス・コミュニケーション論		佐藤 研一	2	秋2	3~	2~		可
今出川	10522871		国際電子商取引論		長沼 健	2	秋2	3~	2~		可
今出川	10522881		貿易契約論		吉川 英一郎	2	春2	3~	2~		可
今出川	10522911		貿易外国語（英語）		佐藤 研一	2	春2	3~	2~	【先行登録】 【2021年度以前生】科目名：貿易外国語（英） 科目コード：10522891	可
今出川	10522921		貿易外国語（中国語）		福山 龍	2	秋2	3~	2~	【2021年度以前生】科目名：貿易外国語（中） 科目コード：10522901	可
〔貿易・国際学系 特講科目〕											
今出川	10522802		貿易政策論		久松 太郎	2	春2	3~			可
今出川	10522842		国際開発論		西川 純平	2	春2	3~			可
今出川	10522843		A S E A N経済論		林田 秀樹	2	春2	3~			可
今出川	10522852		韓国経済論		遠藤 敏幸	2	秋2	3~			可
今出川	10522853		中国経済論		鳥谷 一生	2	春2	3~			可
今出川	10522872		国際商務ルール論		EVGENY KISELEV	2	秋2	3~			可
今出川	10522882		貿易代金決済論		花木 正孝	2	春2	3~			可
今出川	10522883		国際ビジネス規制論		松井 章浩	2	春2	3~			可
今出川	10522904		中国ビジネス投資論		福山 龍	2	秋2	3~			可
今出川	10522803		国際環境経済論		岡 敏弘	2	春2	3~			可
今出川	10522804		国際環境政策		岡 敏弘	2	秋2	3~			可

〔企業・経営学系〕											
今出川	10523001		労務管理論		谷本 啓	2	春2	3~	2~		可
今出川	10523021		生産管理論		太田原 準	2	秋2	3~	2~		可
今出川	10523041		現代企業論		山崎 敏夫	2	秋2	3~	2~		可
今出川	10523141		ソーシャル・マネジメント論		瓜生原 葉子	2	秋2	3~	2~	【先行登録】 【2021年度以前生】科目名：公企業論 科目コード：10523051	可
今出川	10523061	001	中小企業論	1	関 智宏	2	春2	3~	2~		可
今出川	10523061	002	中小企業論	2	関 智宏	2	秋2	3~	2~		可
今出川	10523071		経営分析論		麻生 潤	2	秋2	3~	2~		可
今出川	10523081		経営統計論		富田 健司	2	秋2	3~	2~		可
今出川	10523131		ビジネス・リサーチ		山内 雄気	2	春2	3~	2~		可
今出川	10523091		国際経営論		石井 真一	2	春2	3~	2~		可
今出川	10523101		技術経営論		太田原 準	2	春2	3~	2~		可
今出川	10523121		事業システム論		中道 一心	2	秋2	3~	2~		可
今出川	10523111		コーポレート・ガバナンス論		今西 宏次	2	春2	3~	2~		可
〔企業・経営学系 特講科目〕											
今出川	10523002		人的資源管理論		福本 俊樹	2	春2	3~			可
今出川	10523004		賃金論		篠原 健一	2	春2	3~			可
今出川	10523010		ダイバーシティ・マネジメント論		中村 艶子	2	秋2	3~		「企業と女性」を履修済みの場合は登録できない。	可
	10523011		財務管理論		(本年度休講)	2		3~			
今出川	10523042		ビッグビジネス論		西村 成弘	2	春2	3~		【先行登録】	可
今出川	10523072		産業分析論		麻生 潤	2	春2	3~			可
今出川	10523073		商業経営論		田中 彰	2	秋2	3~			可
今出川	10523092		多国籍企業論		石井 真一	2	秋2	3~			可
今出川	10523102		工業経営論		大原 盛樹	2	秋2	3~			可

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当年次		備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード						商学 総合	フレックス 複合		
【簿記・会計学系】											
今出川	10523201	001	簿記学Ⅳ	1	廣瀬 喜貴	2	秋2	2～	2024年度生は【クラス指定】 1クラス：学生ID 1～316 2クラス：学生ID 317～634 3クラス：学生ID 635～終、2001～終		可
今出川	10523201	002	簿記学Ⅳ	2	伊藤 正隆	2	秋2	2～			可
今出川	10523201	003	簿記学Ⅳ	3	石光 裕	2	秋2	2～			可
今出川	10523211	001	工業簿記Ⅱ	1	伊藤 正隆	2	秋2	2～	2024年度生は【クラス指定】 1クラス：学生ID 1～476 2クラス：学生ID 477～終、2001～終		可
今出川	10523211	002	工業簿記Ⅱ	2	伊藤 正隆	2	秋2	2～			可
今出川	10523221	000	財務諸表論		山本 達司	2	春2	3～ 2～		可	
今出川	10523231		制度会計論		田口 聡志	2	春2	3～ 2～		可	
	10523241		情報会計論		(本年度休講)	2		3～ 2～			
今出川	10523251		管理会計論		中川 優	2	春2	3～ 2～		可	
今出川	10523261		原価計算論		河合 隆治	2	春2	3～ 2～		可	
今出川	10523271		税務会計論		古田 美保	2	秋2	3～ 2～		可	
今出川	10523281		国際会計論		稲見 亨	2	春2	3～ 2～		可	
今出川	10523291		財務諸表監査		廣瀬 喜貴	2	春2	3～ 2～		可	
今出川	10523301		財務諸表分析		山本 達司	2	春2	3～ 2～		可	
【簿記・会計学系 特講科目】											
今出川	10523223		現代会計論		志賀 理	2	春2	3～		可	
	10523232		連結会計		(本年度休講)	2		3～			
今出川	10523242		行動会计学		田口 聡志	2	秋2	3～		可	
今出川	10523252		国際管理会計		中川 優	2	秋2	3～		可	
今出川	10523253		戦略管理会計		河合 隆治	2	秋2	3～		可	
今出川	10523262		コストマネジメント		安酸 建二	2	秋2	3～		可	
今出川	10523302		分析会計論		山本 達司	2	秋2	3～		可	
今出川	10523245		非財務情報開示		梨岡 英理子	2	春2	3～	「環境会計」を履修済みの場合は登録できない。	可	
今出川	10523246		非財務情報監査		梨岡 英理子	2	秋2	3～	「環境監査」を履修済みの場合は登録できない。	可	

Ⅲ 商学部での  
履修のすすめ  
方について

◆5類 実践科目											
校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否	
	科目 コード	クラス コード									
今出川	I0523501	001	商業簿記「日商1級」	1	岸 裕也	2	春2	1~	【先行登録】	否	
今出川	I0523501	002	商業簿記「日商1級」	2	岸 裕也	2	秋2	1~		否	
今出川	I0523502	001	工業簿記「日商1級」	1	辰巳 大樹	2	春2	1~		否	
今出川	I0523502	002	工業簿記「日商1級」	2	辰巳 大樹	2	秋2	1~		否	
今出川	I0523503	001	会计学「日商1級」	1	岸 裕也	2	春2	1~		否	
今出川	I0523503	002	会计学「日商1級」	2	岸 裕也	2	秋2	1~		否	
今出川	I0523504	001	原価計算「日商1級」	1	辰巳 大樹	2	春2	1~		否	
今出川	I0523504	002	原価計算「日商1級」	2	辰巳 大樹	2	秋2	1~		否	
今出川	I0523505		中小企業診断Ⅰ		前田 正夫 井手坂 一男	2	春2	1~		【先行登録】 中小企業診断Ⅰが合格していなければ中小企業診断Ⅱを登録履修 することができない。	否
今出川	I0523506		中小企業診断Ⅱ		前田 正夫 井手坂 一男	2	秋2	1~			否
今出川	I0523521	001	ファイナンシャル・プランナー基礎	1	嶋 敬介	2	春2	1~	【先行登録】 ・「基礎」「応用1」「応用2」「実践」を完修し、「実践」での提案書作 成に合格することにより、2級FP技能士検定試験(兼AFP資 格審査試験)の受験資格を得ることができる。 ・各科目はグレード制を採用しているので、実践まで完修するた めには3セメスター(1年6カ月)が必要になる。	可	
今出川	I0523521	002	ファイナンシャル・プランナー基礎	2	嶋 敬介	2	秋2	1~		可	
今出川	I0523522	001	ファイナンシャル・プランナー応用1	1	名村 淳史	2	春2	2~		可	
今出川	I0523522	002	ファイナンシャル・プランナー応用1	2	名村 淳史	2	秋2	2~		可	
今出川	I0523523	001	ファイナンシャル・プランナー応用2	1	名村 淳史	2	春2	2~		可	
今出川	I0523523	002	ファイナンシャル・プランナー応用2	2	名村 淳史	2	秋2	2~		可	
今出川	I0523524	001	ファイナンシャル・プランナー実践	1	嶋 敬介	2	春2	2~		可	
今出川	I0523524	002	ファイナンシャル・プランナー実践	2	嶋 敬介	2	秋2	2~		可	
京田辺	I0523531	001	インターンシップ・プログラム	1	浦坂 純子 三吉 勉 今村 大樹 松川 晴美 植田 香代子 山崎 圭美	2	春集中	2~3	・詳細は登録要領「インターンシップ・プログラムの登録につ いて」を参照のこと。 ・「キャリア形成とインターンシップ」を履修済の場合は登録で きない。	否	
今出川	I0523531	051	インターンシップ・プログラム	51	浦坂 純子 三吉 勉 今村 大樹 松川 晴美 植田 香代子 山崎 圭美	2	春集中	2~3		否	
キャンパス クラブ寮	I0523531	201	インターンシップ・プログラム	201	多田 実 関 智宏 中道 一心	2	通年集中	1~	・詳細は登録要領「インターンシップ・プログラムの登録につ いて」を参照のこと。 ・大学コンソーシアム京都のHPIに掲載される情報も併せて参 照のこと。 ・「キャリア形成とインターンシップ」を履修済の場合は登録で きない。	否	
今出川	I0523533	001	海外ビジネスⅡ	1	内藤 徹 牧 大樹	4	春集中	2~4	【先行登録】再修生は履修できない。[アメリカ]	否	
今出川	I0523533	002	海外ビジネスⅡ	2	関 智宏 山内 雄気	4	春集中	2~4	【先行登録】再修生は履修できない。[タイ]	否	
	I0523534		Business Presentations in English		(本年度休講)	2		2~			
今出川	I0523541	001	ワークショップ [ビジネスコンサル ティング]	1	大田原 準 君塚 真己 小高 一慶 大前 一樹 富田 泰紀 小河 正之 奥村 真之 森川 大輔	2	春2	3~	【先行登録】 ・事前に「志望理由書」を商学部・商学研究科事務室で受け取 り、定められた先行登録期間に提出すること。 ・商学研究科との合同講義である。 ・同一年度に複数クラスを登録することはできないが、別の年度 に履修済みクラス以外のクラスを登録することはできる。 ・過年度に履修済の分野を再度登録することはできない。例え ば、過去に「グローバル時代の会計業務と役割」や「会計」を履 修済みの場合は、「ワークショップ[グローバル化時代の会 計]」は履修不可。	否	
今出川	I0523541	002	ワークショップ [グローバル化時代 の会計]	2	稲見 亨 山田 浩史	2	秋2	3~		否	
今出川	I0523541	003	ワークショップ [ビジネスと制作の 現場におけるデータ サイエンス]	3	服部 茂幸 岡 敏弘 川原 悠 林 英生 渋谷 武 山本 英治 岡田 みずほ 高畑 道子	2	春2	3~		否	
今出川	I0523561		証券ビジネス		五百旗頭 真吾	2	秋2	2~	【先行登録】 「資本市場の役割と証券投資」を履修済みの場合は登録できない	否	
今出川	I0523568		メディア環境変化と広告		柳 貴男	2	秋2	1~	「メディア環境変化と企業コミュニケーション」を履修済みの場 合は登録できない。	可	
今出川	I0523564	001	消費者問題	1	中道 一心	2	春2	1~	【先行登録】 「消費者問題と現代社会」を履修済みの場合は登録できない。	可	
今出川	I0523564	002	消費者問題	2	中道 一心	2	秋2	1~	【先行登録】 「消費者問題と現代社会」を履修済みの場合は登録できない。	可	
今出川	I0523565		新時代のリスクと保険事業		大原 悟務	2	秋2	2~	【先行登録】	可	
今出川	I0523566		証券アナリスト入門		脇野 信太	2	春2	1~	【先行登録】	可	
今出川	I0523571		国際ビジネス		長沼 健 植村 浩康 麻野 良二 中西 功 板倉 直人	2	秋2	2~	【先行登録】	否	
今出川	I0523593		現代の経営課題と労務監査		谷本 啓	2	秋2	2~	「現代の経営課題と労務監査」を履修済みの場合は履修できな い。	可	
今出川	I0523594		営業学入門		柿沼 英樹	2	秋2	2~	【先行登録】	可	
今出川	I0523595		メディア・スタートアップ		山内 雄気	2	秋2	1~	【先行登録】	可	
今出川	I0523596		アントレプレナーシップ実践		関 智宏 寺本 大修 田中 翔	2	春2	1~	【先行登録】	可	
今出川	I0523584		現代における会計の役割		志賀 理	2	秋2	1~	【先行登録】 「会計と現代社会」または「会計情報による多様な判断」を履修 済みの場合は履修できない。	可	
今出川	I0523582		国際会計の実務		山田 浩史	2	春2	2~	【先行登録】	可	

◆6類 専門外国語科目

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
今出川	10523631	001	外国書講読(英語)	1	西川 純平	2	春2	3~	【先行登録】初級クラス	否
今出川	10523631	002	外国書講読(英語)	2	朱 浩良	2	春2	3~	【先行登録】初級クラス	否
今出川	10523631	003	外国書講読(英語)	3	藤田 和孝	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	004	外国書講読(英語)	4	藤田 和孝	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	005	外国書講読(英語)	5	西村 成弘	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	006	外国書講読(英語)	6	林田 秀樹	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	007	外国書講読(英語)	7	石田 信博	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	008	外国書講読(英語)	8	鳥谷 一生	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	009	外国書講読(英語)	9	太田原 準	2	秋2	3~	【先行登録】初級クラス	否
今出川	10523631	010	外国書講読(英語)	10	朱 浩良	2	秋2	3~	【先行登録】初級クラス	否
今出川	10523631	011	外国書講読(英語)	11	林田 秀樹	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	012	外国書講読(英語)	12	伊藤 正隆	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	013	外国書講読(英語)	13	鳩澤 歩	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	014	外国書講読(英語)	14	濱崎 佳子	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	015	外国書講読(英語)	15	柿沼 英樹	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	016	外国書講読(英語)	16	中村 嘉孝	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	017	外国書講読(英語)	17	朱 浩良	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	018	外国書講読(英語)	18	横山 斉理	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	019	外国書講読(英語)	19	鳥谷 一生	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	020	外国書講読(英語)	20	安酸 建二	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	021	外国書講読(英語)	21	近藤 隆史	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523631	022	外国書講読(英語)	22	文能 照之	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523632		外国書講読(ドイツ語)		青木 真美	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523633		外国書講読(フランス語)		折井 穂積	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523634		外国書講読(中国語)		陶 静	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523635		外国書講読(スペイン語)		鈴木 真由美	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523636		外国書講読(ロシア語)		山下 大吾	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523637		外国書講読(ロシア語)		洪 性奉	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	001	Business English	1	中岡 孝剛	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	002	Business English	2	田中 彰	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	003	Business English	3	近藤 隆史	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	004	Business English	4	濱崎 佳子	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	005	Business English	5	濱崎 佳子	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	006	Business English	6	中村 嘉孝	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	007	Business English	7	中村 嘉孝	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	008	Business English	8	横山 斉理	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	009	Business English	9	横山 斉理	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	010	Business English	10	松田 陽一	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	011	Business English	11	新豊 直輝	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	012	Business English	12	濱崎 佳子	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	013	Business English	13	松田 陽一	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	014	Business English	14	松田 陽一	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	015	Business English	15	中岡 孝剛	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	016	Business English	16	藤田 和孝	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	017	Business English	17	藤田 和孝	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	018	Business English	18	志馬 康紀	2	秋2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	019	Business English	19	志馬 康紀	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	020	Business English	20	竹田 宗継	2	春2	3~	【先行登録】	否
今出川	10523610	021	Business English	21	竹田 宗継	2	春2	3~	【先行登録】	否

【2021年度以前生】  
科目名：外国書講読(英)  
科目コード：10523601

【2021年度以前生】  
科目名：外国書講読(独)  
科目コード：10523602

【2021年度以前生】  
科目名：外国書講読(仏)  
科目コード：10523603

【2021年度以前生】  
科目名：外国書講読(中)  
科目コード：10523604

【2021年度以前生】  
科目名：外国書講読(西)  
科目コード：10523605

【2021年度以前生】  
科目名：外国書講読(露)  
科目コード：10523606

【2021年度以前生】  
科目名：外国書講読(ハンブル)  
科目コード：10523607

Ⅲ 商学部での  
履修のすすめ  
方について

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
今出川	10523620	001	専門外国語特講 －Language and Culture in International Business－	1	佐藤 研一	2	春2	3～	【先行登録】	否
今出川	10523620	002	専門外国語特講 －Analysis of Japanese Companies－	2	小林 一雅	2	秋2	3～	【先行登録】	否
今出川	10523620	003	専門外国語特講 －Analysis of Japanese Companies－	3	小林 一雅	2	秋2	3～	【先行登録】	否

◆7類 演習科目

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
今出川	10523701		演 習 I			2	秋2	2～		否
今出川	10523702		演 習 II			2	春2	3～		否
今出川	10523703		演 習 III			2	秋2	3～		否
今出川	10523711		卒業研究演習 I			2	春2	4～		否
今出川	10523712		卒業研究演習 II			2	秋2	4～		否
今出川	10523713		卒業研究演習 III			2	秋2	4～		否

◆ 8類 隣接科目										
校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
京田辺	10912003	001	社会学概論	1	平尾 一朗	4	秋4	1～		—
今出川	10912003	053	社会学概論	53	西岡 暁廣	4	春4	1～		—
今出川	10912003	101	社会学概論	101	武田 祐佳	4	秋4	1～		—
インター ネット	10407054	001	統計	1	山鹿 久木	4	春4	2～	【先行登録】 2019年度以前生のみ履修可	—
インター ネット	10407054	002	統計	2	山鹿 久木	4	秋4	2～	【先行登録】 2019年度以前生のみ履修可	—
今出川	10403057	001	統計Ⅰ	1	八木 匡	2	秋2	1～	【先行登録】 2020年度以降生のみ履修可	—
今出川	10403057	002	統計Ⅰ	2	新関 三希代	2	秋2	1～	【先行登録】 2020年度以降生のみ履修可	—
今出川	10403057	003	統計Ⅰ	3	角井 正幸	2	秋2	1～	【先行登録】 2020年度以降生のみ履修可	—
今出川	10403058	001	統計Ⅱ	1	八木 匡	2	春2	2～	【先行登録】 2020年度以降生のみ履修可	—
今出川	10403058	002	統計Ⅱ	2	新関 三希代	2	春2	2～	【先行登録】 2020年度以降生のみ履修可	—
今出川	10403058	003	統計Ⅱ	3	角井 正幸	2	春2	2～	【先行登録】 2020年度以降生のみ履修可	—
今出川	10523801		経済政策Ⅰ		迫田 さやか	2	春2	3～		—
今出川	10523802		経済政策Ⅱ		迫田 さやか	2	秋2	3～		—
今出川	10523803		財政学Ⅰ		宮澤 和俊	2	春2	3～		—
今出川	10523804		財政学Ⅱ		宮澤 和俊	2	秋2	3～		—
今出川	10308203		民法Ⅱ（物権）		川和 功子	2	秋2	1		—
今出川	10308204		民法Ⅲa（債権総論①）		上田 誠一郎	2	春2	2～		—
今出川	10308206		民法Ⅳa（担保物権）		上田 誠一郎	2	秋2	2～		—
今出川	10308207		民法Ⅳb（債権総論②）		野々村 和喜	2	秋2	2～		—
今出川	10308261	001	会社法Ⅰ	1	釜田 薫子	2	春2	2～		—
今出川	10308261	002	会社法Ⅰ	2	中筋 智規	2	春2	2～		—
今出川	10308262	001	会社法Ⅱ	1	伊藤 靖史	2	秋2	2～		—
今出川	10308262	002	会社法Ⅱ	2	船津 浩司	2	春2	3～		—
今出川	10308263		会社法Ⅲ		川口 恭弘	2	秋2	3～		—
今出川	10308268		手形法・小切手法		船津 浩司	2	秋2	3～		—
今出川	10307325		比較憲法		檜垣 伸次 沼本 祐太 田中 謙太	2	秋2	3～		—
今出川	10308381		国際法総論Ⅰ		浅田 正彦	2	秋2	2～		—
今出川	10307388		領域の国際法		西片 聡哉	2	秋2	2～		—
今出川	10307951		国際関係理論		大矢根 聡	2	秋2	1～	【先行登録】	—
今出川	10307952		国際政治経済論		大矢根 聡	2	春2	2～	【先行登録】	—

◆ 9類 教養科目  
[ 全学共通教養教育科目 ]

※全学共通教養教育科目のうち【同志社科目】【キャリア形成支援科目\*1】【ライフデザイン科目\*2】【国際教養科目】【クリエイティブ・ジャパン科目】【人文科学系科目】【社会科学系科目】【自然・人間科学系科目\*1】【自然科学系科目\*2】【人間科学系科目\*2】【複合領域科目\*1】【プロジェクト科目\*1】【保健体育科目】が対象（\*1:2024年度以前生が対象、\*2:2025年度以降生が対象）  
※開講科目一覧は別冊「全学共通教養教育科目履修要項」を参照のこと

※先行登録を実施する科目がある。  
日程等の詳細は別冊「商学部登録要領」を参照のこと

◆ I O 類外国語科目

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否	
	科目 コード	クラス コード									
〔全学共通教養教育科目外国語教育科目〕											
登録日程は別冊の「商学部登録要領」を参照のこと											
<b>2022年度以降生</b>											
	I6501101		Intensive Advanced English 1			3		1~	【先行登録】 2025年度生は【クラス指定】	-	
	I6501102		Intensive Advanced English 2			3		1~		-	
	I6501111		Core English(LS)-Intermediate 1			2		1~		-	
	I6501112		Core English(LS)-Intermediate 2			2		1~		-	
	I6501113		Core English(RW)-Intermediate 1			1		1~		-	
	I6501114		Core English(RW)-Intermediate 2			1		1~		-	
	I6501121		Core English(LS)-Pre-Intermediate 1			2		1~		-	
	I6501122		Core English(LS)-Pre-Intermediate 2			2		1~		-	
	I6501123		Core English(RW)-Pre-Intermediate 1			1		1~		-	
	I6501124		Core English(RW)-Pre-Intermediate 2			1		1~		-	
	I6501131		Basic English(LS) 1			2		1~		-	
	I6501132		Basic English(LS) 2			2		1~		-	
	I6501133		Basic English(RW) 1			1		1~		-	
	I6501134		Basic English(RW) 2			1		1~		-	
	I6501141		General Academic English(LS)-Intermediate			1		2~	【先行登録】	-	
	I6501142		General Academic English(RW)-Intermediate			1		2~	【先行登録】	-	
	I6501151		General Academic English(LS)-Pre-Intermediate			1		2~	【先行登録】	-	
	I6501152		General Academic English(RW)-Pre-Intermediate			1		2~	【先行登録】	-	
	I6501161		English for Professional Purposes 1			1		2~	【先行登録】	-	
	I6501162		English for Professional Purposes 2			1		2~	【先行登録】	-	
	I6501171		English for Academic Purposes 1			2		2~	【先行登録】	-	
	I6501172		English for Academic Purposes 2			2		2~	【先行登録】	-	
	I6501173		English for Academic Purposes 3			2		3~	【先行登録】	-	
<b>2021年度以前生</b>											
	I6501013		コミュニカティブ・イングリッシュ 1			1		1~	【先行登録】 1科目以上履修することが望ましい。	-	
	I6501014		コミュニカティブ・イングリッシュ 2			1		1~		-	
	I6501023		アナリティカル・リーディング 1			1		1~		-	
	I6501024		アナリティカル・リーディング 2			1		1~		-	
	I6501031		イングリッシュ・セミナー 1			1		2~		-	
	I6501032		イングリッシュ・セミナー 2			1		2~		-	
	I6501033		イングリッシュ・セミナー 3	(本年度休講)		2		2~		-	
	I6501041		イングリッシュ・ワークショップ 1			1		2~		-	
	I6501042		イングリッシュ・ワークショップ 2			1		2~		-	
	I6501043		イングリッシュ・ワークショップ 3	(本年度休講)		2		2~		-	
	I6501061		アカデミック・イングリッシュ A	(本年度休講)		2		2~		-	
	I6501062		アカデミック・イングリッシュ B	(本年度休講)		2		2~		-	
	I6501065		プロフェッショナル・イングリッシュ A	(本年度休講)		2		2~		-	
	I6501066		プロフェッショナル・イングリッシュ B	(本年度休講)		2		2~		-	
	I6501075		プレ・イングリッシュ・プラクティクム	(本年度休講)		4		1・2		【先行登録】	-
	I6501071		イングリッシュ・プラクティクム 1	(本年度休講)		4		1・2		【先行登録】	-
	I6501072		イングリッシュ・プラクティクム 2	(本年度休講)		4		1・2		【先行登録】	-
	I6501081		言語文化研究 1			2		3~		【先行登録】	-
	I6501082		言語文化研究 2			2		3~		【先行登録】	-
	I6501051		現代地域事情・上級講読(英語圏) 1			2		3~			-
	I6501052		現代地域事情・上級講読(英語圏) 2			2		3~		-	
	I6501701		Intensive Courses for TOEFL(Practice)	(本年度休講)		1		1~	【先行登録】	-	
	I6501702		Intensive Courses for TOEFL(Tutorial)	(本年度休講)		1		1~	【先行登録】	-	



校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
<b>全年度生共通</b>										
	16509001		サマープログラム・英語A			4		1～	【先行登録】	－
	16509002		サマープログラム・英語B			3		1～	【先行登録】	－
	16509003		サマープログラム・英語C		(本年度休講)	2		1～	【先行登録】	－
	16509011		スプリングプログラム・英語A			4		1～	【先行登録】	－
	16509012		スプリングプログラム・英語B			3		1～	【先行登録】	－
	16509013		スプリングプログラム・英語C			2		1～	【先行登録】	－
	16509014		スプリングプログラム・英語D		(本年度休講)	1		1～	【先行登録】	－
	16509081		セメスタープログラム・英語I			4		2～	【先行登録】	－
	16509082		セメスタープログラム・英語II			4		2～	【先行登録】	－
	16501181		Study Abroad Preparation(TOEFL TEST)1			2		1～	【先行登録】	－
	16501182		Study Abroad Preparation(TOEFL TEST)2			2		1～	【先行登録】	－
	16501191		Study Abroad Preparation(IELTS)1			2		1～	【先行登録】	－
	16501192		Study Abroad Preparation(IELTS)2			2		1～	【先行登録】	－
	16502011		ドイツ語入門I			2		1～	【先行登録】	－
	16502012		ドイツ語入門II			2		1～	【先行登録】	－
	16502031		ドイツ語応用1			1		2～	【先行登録】	－
	16502032		ドイツ語応用2			1		2～	【先行登録】	－
	16502033		ドイツ語応用3			1		2～	【先行登録】	－
	16502034		ドイツ語応用4			1		2～	【先行登録】	－
	16502021		ドイツ語インテンシヴI			3		1～	【先行登録】	－
	16502022		ドイツ語インテンシヴII			3		1～	【先行登録】	－
	16502023		ドイツ語インテンシヴIII			3		2～	【先行登録】	－
	16502024		ドイツ語インテンシヴIV			3		2～	【先行登録】	－
	16502025		ドイツ語インテンシヴV			2		3～		－
	16502026		ドイツ語インテンシヴVI			2		3～		－
	16503011		フランス語入門I			2		1～	【先行登録】	－
	16503012		フランス語入門II			2		1～	【先行登録】	－
	16503031		フランス語応用1			1		2～	【先行登録】	－
	16503032		フランス語応用2			1		2～	【先行登録】	－
	16503033		フランス語応用3			1		2～	【先行登録】	－
	16503034		フランス語応用4			1		2～	【先行登録】	－
	16503021		フランス語インテンシヴI			3		1～	【先行登録】	－
	16503022		フランス語インテンシヴII			3		1～	【先行登録】	－
	16503023		フランス語インテンシヴIII			3		2～	【先行登録】	－
	16503024		フランス語インテンシヴIV			3		2～	【先行登録】	－
	16503025		フランス語インテンシヴV			2		3～		－
	16503026		フランス語インテンシヴVI			2		3～		－
	16503027		フランス語インテンシヴVII			2		4～		－
	16503028		フランス語インテンシヴVIII			2		4～		－
	16504011		中国語入門I			2		1～	【先行登録】	－
	16504012		中国語入門II			2		1～	【先行登録】	－
	16504031		中国語応用1			1		2～	【先行登録】	－
	16504032		中国語応用2			1		2～	【先行登録】	－
	16504033		中国語応用3			1		2～	【先行登録】	－
	16504034		中国語応用4			1		2～	【先行登録】	－
	16504021		中国語インテンシヴI			3		1～	【先行登録】	－
	16504022		中国語インテンシヴII			3		1～	【先行登録】	－
	16504023		中国語インテンシヴIII			3		2～	【先行登録】	－
	16504024		中国語インテンシヴIV			3		2～	【先行登録】	－
	16504025		中国語インテンシヴV			2		3～		－
	16504026		中国語インテンシヴVI			2		3～		－
	16504027		中国語インテンシヴVII			2		4～		－
	16504028		中国語インテンシヴVIII			2		4～		－

Ⅲ 商学部での履修の目安方について

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
	16505011		スペイン語入門Ⅰ			2		1～	【先行登録】	—
	16505012		スペイン語入門Ⅱ			2		1～	【先行登録】	—
	16505031		スペイン語応用Ⅰ			1		2～	【先行登録】	—
	16505032		スペイン語応用Ⅱ			1		2～	【先行登録】	—
	16505033		スペイン語応用Ⅲ			1		2～	【先行登録】	—
	16505034		スペイン語応用Ⅳ			1		2～	【先行登録】	—
	16505021		スペイン語インテンシヴⅠ			3		1～	【先行登録】	—
	16505022		スペイン語インテンシヴⅡ			3		1～	【先行登録】	—
	16505023		スペイン語インテンシヴⅢ			3		2～	【先行登録】	—
	16505024		スペイン語インテンシヴⅣ			3		2～	【先行登録】	—
	16505025		スペイン語インテンシヴⅤ			2		3～		—
	16505026		スペイン語インテンシヴⅥ			2		3～		—
	16506011		ロシア語入門Ⅰ			2		1～	【先行登録】	—
	16506012		ロシア語入門Ⅱ			2		1～	【先行登録】	—
	16506031		ロシア語応用Ⅰ			1		2～	【先行登録】	—
	16506032		ロシア語応用Ⅱ			1		2～	【先行登録】	—
	16506033		ロシア語応用Ⅲ			1		2～	【先行登録】	—
	16506034		ロシア語応用Ⅳ			1		2～	【先行登録】	—
	16506021		ロシア語インテンシヴⅠ			3		1～	【先行登録】	—
	16506022		ロシア語インテンシヴⅡ			3		1～	【先行登録】	—
	16506023		ロシア語インテンシヴⅢ			3		2～	【先行登録】	—
	16506024		ロシア語インテンシヴⅣ			3		2～	【先行登録】	—
	16507011		コリア語入門Ⅰ			2		1～	【先行登録】	—
	16507012		コリア語入門Ⅱ			2		1～	【先行登録】	—
	16507031		コリア語応用Ⅰ			1		2～	【先行登録】	—
	16507032		コリア語応用Ⅱ			1		2～	【先行登録】	—
	16507033		コリア語応用Ⅲ			1		2～	【先行登録】	—
	16507034		コリア語応用Ⅳ			1		2～	【先行登録】	—
	16507021		コリア語インテンシヴⅠ			3		1～	【先行登録】	—
	16507022		コリア語インテンシヴⅡ			3		1～	【先行登録】	—
	16507023		コリア語インテンシヴⅢ			3		2～	【先行登録】	—
	16507024		コリア語インテンシヴⅣ			3		2～	【先行登録】	—
	16507025		コリア語インテンシヴⅤ			2		3～		—
	16507026		コリア語インテンシヴⅥ			2		3～		—
			実践英語Ⅰ			2		1～		否
			実践英語Ⅱ			4		1～		否
			実践英語A			2		1～		否
			実践英語B			2		1～		否
			実践英語C			2		1～		否

◆ I Ⅰ 類 自主選択科目

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
京田辺	10240107	001	哲学概論(1)	1	新 茂之	2	春2	3~		
今出川	10240107	051	哲学概論(1)	51	新 茂之	2	春2	3~		
京田辺	10240108	001	哲学概論(2)	1	新 茂之	2	秋2	3~		
今出川	10240108	051	哲学概論(2)	51	新 茂之	2	秋2	3~		
	10240109	001	倫理学概論(1)	1	(本年度休講)	2		3~		
今出川	10240109	051	倫理学概論(1)	51	中村 拓也	2	春2	3~		
	10240110	001	倫理学概論(2)	1	(本年度休講)	2		3~		
今出川	10240110	051	倫理学概論(2)	51	中村 拓也	2	秋2	3~		
	10240103	001	宗教学概論(1)	1	(本年度休講)	2		3~		
	10240103	051	宗教学概論(1)	51	(本年度休講)	2		3~		
	10240104	001	宗教学概論(2)	1	(本年度休講)	2		3~		
	10240104	051	宗教学概論(2)	51	(本年度休講)	2		3~		
京田辺	11700001	002	心理学概論(1)	2	余語 真夫	2	春2	2~		
今出川	11700001	051	心理学概論(1)	51	井上 毅	2	春2	2~		
今出川	11700001	052	心理学概論(1)	52	敦賀 麻理子	2	春2	2~		
今出川	11700001	053	心理学概論(1)	53	谷口 康祐	2	春2	2~		
京田辺	11700002	002	心理学概論(2)	2	余語 真夫	2	秋2	2~		
今出川	11700002	051	心理学概論(2)	51	井上 毅	2	秋2	2~		
今出川	11700002	052	心理学概論(2)	52	敦賀 麻理子	2	秋2	2~		
今出川	11700002	053	心理学概論(2)	53	谷口 康祐	2	秋2	2~		
今出川	10270093		日本思想史(1)		鍛冶 宏介	2	春2	2~		
今出川	10270094		日本思想史(2)		鍛冶 宏介	2	秋2	2~		
京田辺	10270127	001	人文地理学(1)	1	川口 洋	2	春2	2~		
今出川	10270127	051	人文地理学(1)	51	本岡 拓哉	2	春2	2~		
今出川	10270127	101	人文地理学(1)	101	佐野 静代	2	春2	2~		
京田辺	10270128	001	人文地理学(2)	1	川口 洋	2	秋2	2~		
今出川	10270128	051	人文地理学(2)	51	本岡 拓哉	2	秋2	2~		
今出川	10270128	101	人文地理学(2)	101	佐野 静代	2	秋2	2~		
京田辺	10270420	001	地理学総論(1)	1	津村 宏臣	2	春2	2~		
今出川	10270420	051	地理学総論(1)	51	津村 宏臣	2	春2	2~	【先行登録】 文学部生のみ履修可。ただし、免許資格取得のために履修する場合のみ、商学部生も履修可。免許資格課程センターに事前に相談のこと。	
今出川	10270420	101	地理学総論(1)	101	古関 大樹	2	春2	2~		
京田辺	10270421	001	地理学総論(2)	1	津村 宏臣	2	秋2	2~		
今出川	10270421	051	地理学総論(2)	51	津村 宏臣	2	秋2	2~	【先行登録】 文学部生のみ履修可。ただし、免許資格取得のために履修する場合のみ、商学部生も履修可。免許資格課程センターに事前に相談のこと。	
今出川	10270421	101	地理学総論(2)	101	稲田 七海	2	秋2	2~		
京田辺	10270078	001	地誌学	1	古関 大樹	2	春2	2~		
今出川	10270078	051	地誌学	51	古関 大樹	2	春2	2~		
今出川	10270078	052	地誌学	52	佐野 静代	2	秋2	2~		
今出川	10270078	101	地誌学	101	佐野 静代	2	春2	2~		
京田辺	10270316	001	日本文化史概説(1)	1	矢内 一磨	2	春2	2~		
今出川	10270316	051	日本文化史概説(1)	51	北 康宏	2	春2	2~		
今出川	10270316	101	日本文化史概説(1)	101	北 康宏	2	春2	2~		
京田辺	10270317	001	日本文化史概説(2)	1	矢内 一磨	2	秋2	2~		
今出川	10270317	051	日本文化史概説(2)	51	北 康宏	2	秋2	2~		
今出川	10270317	101	日本文化史概説(2)	101	北 康宏	2	秋2	2~		
京田辺	10270117	001	東洋文化史概説(1)	1	山崎 岳	2	春2	2~		
インタ	10270117	051	東洋文化史概説(1)	51	城地 孝	2	春2	2~		
インタ	10270117	101	東洋文化史概説(1)	101	城地 孝	2	秋2	2~		
京田辺	10270118	001	東洋文化史概説(2)	1	山崎 岳	2	秋2	2~		
今出川	10270118	051	東洋文化史概説(2)	51	荻 恵里子	2	秋2	2~		
今出川	10270118	101	東洋文化史概説(2)	101	荻 恵里子	2	春2	2~		

【2015年度以前生】  
科目名：日本文化史概説(春秋2)  
科目コード：10270031

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
京田辺	10270101	001	西洋文化史概説(1)	1	坂井 聡	2	春2	2~		
今出川	10270101	051	西洋文化史概説(1)	51	波部 雄一郎	2	春2	2~		
今出川	10270101	052	西洋文化史概説(1)	52	井福 剛	2	春2	2~		
今出川	10270101	053	西洋文化史概説(1)	53	波部 雄一郎	2	秋2	2~		
今出川	10270101	101	西洋文化史概説(1)	101	井福 剛	2	秋2	2~		
京田辺	10270102	001	西洋文化史概説(2)	1	中村 年延	2	秋2	2~		
今出川	10270102	051	西洋文化史概説(2)	51	吉門 昌宏	2	秋2	2~		
今出川	10270102	052	西洋文化史概説(2)	52	大谷 誠	2	秋2	2~		
今出川	10270102	053	西洋文化史概説(2)	53	大谷 誠	2	春2	2~		
今出川	10270102	101	西洋文化史概説(2)	101	中村 年延	2	春2	2~		
今出川	10270095		日本社会史(1)		小林 丈広	2	春2	2~		
今出川	10270096		日本社会史(2)		小林 丈広	2	秋2	2~		
今出川	10270303	001	日本地域史研究(1)	1	合同	2	春2	2~		
今出川	10270303	011	日本地域史研究(1)	11	鍛冶 宏介	2	春2	2~		
今出川	10270303	012	日本地域史研究(1)	12	生嶋 輝美	2	春2	2~		
今出川	10270304	001	日本地域史研究(2)	1	合同	2	秋2	2~		
今出川	10270304	011	日本地域史研究(2)	11	鍛冶 宏介	2	秋2	2~		
今出川	10270304	012	日本地域史研究(2)	12	生嶋 輝美	2	秋2	2~		
今出川	10270103		西洋思想史(1)		森田 猛	2	春2	2~		
今出川	10270104		西洋思想史(2)		森田 猛	2	秋2	2~		
今出川	10270105		西洋社会史(1)		藤原 辰史	2	春2	2~		
今出川	10270106		西洋社会史(2)		服部 伸	2	秋2	2~		
今出川	10307663		近代ヨーロッパ政治史		カ久 昌幸	2	春2	2~		
今出川	10307664		現代ヨーロッパ政治史		カ久 昌幸	2	秋2	2~		
今出川	10307661		近代日本政治史		森 靖夫	2	春2	2~		
今出川	10307662		現代日本政治史		森 靖夫	2	秋2	2~		
今出川	10307602		アメリカ政治外交論		村田 晃嗣	2	秋2	2~		
今出川	10307521		日本外交論		村田 晃嗣	2	春2	2~		
今出川	10523911	051	商業科教育法A	51	山下 幸作	2	春2	2~		
今出川	10523911	052	商業科教育法A	52	西嶋 達人	2	春2	2~		
今出川	10523912	051	商業科教育法B	51	山下 幸作	2	秋2	2~		
今出川	10523912	052	商業科教育法B	52	西嶋 達人	2	秋2	2~		
今出川	10523913		教職実践演習(中・高)		内藤 徹 河合 隆治 田中 希穂 本多 千明 内山 伊知郎 中瀬 浩一	2	秋2	4	・卒業予定の年度に「教育実習」「教育実習指導」「教職実践演習(中・高)」の3科目をセットで登録すること。 ・中一種免及び中高両方の場合には「教育実習C」を、高一種免のみの場合は「教育実習B」を履修すること。 ・「教育実習A」は基本的には履修できない。履修を希望する場合は事前に免許資格課程センター事務室まで相談すること。 ・教育実習A,教育実習B,教育実習Cは集中講義であるため時間割表には表示されない。 ・教育実習指導および教育実習A,教育実習B,教育実習Cの成績は秋学期末に一括して発表する。	
今出川	10523914		教育実習指導		内藤 徹 河合 隆治 田中 希穂	1	春秋2	4		
今出川	10523915		教育実習A		内藤 徹 河合 隆治 田中 希穂	2	集中制	3~		
今出川	10523916		教育実習B		内藤 徹 河合 隆治 田中 希穂	2	集中制	4		
今出川	10523917		教育実習C		内藤 徹 河合 隆治 田中 希穂	4	集中制	4		
今出川	10523918	051	職業指導I	51	山下 幸作	2	春2	2~		否
今出川	10523918	052	職業指導I	52	西嶋 達人	2	春2	2~		否
今出川	10523919	051	職業指導II	51	山下 幸作	2	秋2	2~		否
今出川	10523919	052	職業指導II	52	西嶋 達人	2	秋2	2~		否
今出川	10523920	051	教職情報処理実習	51	西嶋 達人	2	秋2	2~	【先行登録】	否
今出川	10523920	052	教職情報処理実習	52	西嶋 達人	2	春2	2~	【先行登録】	否
京田辺	10270407	001	博物館概論	1	堀川 亜由美	2	春2	1~		
今出川	10270407	051	博物館概論	51	國賀 由美子	2	春2	1~		
京田辺	10270408	001	博物館経営論	1	藤田 三郎	2	秋2	2~		
今出川	10270408	051	博物館経営論	51	國賀 由美子	2	秋2	2~		
京田辺	10270409	001	博物館資料論	1	清水 真澄	2	秋2	2~		
今出川	10270409	051	博物館資料論	51	寺前 公基	2	春2	2~		

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
京田辺	10270410	001	博物館情報メディア論	1	清水 真澄 鋤柄 俊夫 並木 晴香	2	秋2	2～		
今出川	10270410	051	博物館情報メディア論	51	清水 真澄 鋤柄 俊夫 並木 晴香	2	春2	2～		
京田辺	10270412	001	博物館資料保存論	1	鳥越 俊行	2	春2	2～		
今出川	10270412	051	博物館資料保存論	51	降幡 順子	2	秋2	2～		
京田辺	10270413	001	博物館展示論	1	中谷 至宏	2	秋2	2～		
今出川	10270413	051	博物館展示論	51	越前 俊也 奥村 泰彦 松原 龍一	2	春2	2～	2016年度以降生は、前学期までに博物館概論を履修済みのこと。	
京田辺	10270411	001	博物館教育論	1	鳥賀陽 梨沙	2	秋2	1～		
今出川	10270411	051	博物館教育論	51	五月女 賢司	2	春2	1～		
京田辺	10270414	001	博物館実習Ⅰ	1	鋤柄 俊夫 清水 真澄 並木 晴香 新見 康子 越前 俊也	2	春4	3～		
今出川	10270414	051	博物館実習Ⅰ	51	井上 一稔 越前 俊也 寺前 公基 新見 康子 土田 真紀 清水 真澄 並木 晴香	2	春4	3～	【先行登録】 前年度までに「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館情報メディア論」を履修し、かつ課程登録を済ませていること。 なお、博物館実習ⅠおよびⅡはセットで登録すること。 (詳細については、『免許・資格関係履修要項』を参照のこと。)	
今出川	10270414	052	博物館実習Ⅰ	52	井上 一稔 國賀 由美子 土田 真紀 新見 康子 清水 真澄 並木 晴香 越前 俊也	2	春4	3～		
京田辺	10270415	001	博物館実習Ⅱ	1	鋤柄 俊夫 清水 真澄 越前 俊也 井上 一稔 水ノ江 和同 寺前 公基	1	秋2	3～		
今出川	10270415	051	博物館実習Ⅱ	51	井上 一稔 越前 俊也 寺前 公基 新見 康子 水ノ江 和同 鋤柄 俊夫	1	秋2	3～	【先行登録】 前年度までに「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館情報メディア論」を履修し、かつ課程登録を済ませていること。 なお、博物館実習ⅠおよびⅡはセットで登録すること。 (詳細については、『免許・資格関係履修要項』を参照のこと。)	
今出川	10270415	052	博物館実習Ⅱ	52	井上 一稔 水ノ江 和同 土田 真紀 國賀 由美子 越前 俊也 鋤柄 俊夫 寺前 公基	1	秋2	3～		
京田辺	15010010	001	教職概論	1	中瀬 浩一	2	秋2	1～		
京田辺	15010010	002	教職概論	2	井上 浩史	2	春2	1～		
京田辺	15010010	003	教職概論	3	沖田 悟傳	2	春2	1～		
京田辺	15010010	004	教職概論	4	沖田 悟傳	2	春2	1～		
京田辺	15010010	005	教職概論	5	井上 浩史	2	秋2	1～		
今出川	15010010	051	教職概論	51	井上 浩史	2	秋2	1～	【2017年度以前生】科目コード：10952201	
今出川	15010010	052	教職概論	52	井上 浩史	2	秋2	1～		
今出川	15010010	053	教職概論	53	沖田 悟傳	2	春2	1～		
今出川	15010010	054	教職概論	54	中瀬 浩一	2	秋2	1～		
今出川	15010010	055	教職概論	55	井上 浩史	2	春2	1～		
今出川	15010010	056	教職概論	56	中瀬 浩一	2	春2	1～		

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否	
	科目 コード	クラス コード									
京田辺	15010020	001	教育原理	1	佐藤 光友	2	春2	1～	【2017年度以前生】科目コード：10952202		
京田辺	15010020	002	教育原理	2	佐藤 光友	2	秋2	1～			
京田辺	15010020	003	教育原理	3	佐藤 光友	2	秋2	1～			
今出川	15010020	051	教育原理	51	榎本 恵理	2	春2	1～			
今出川	15010020	052	教育原理	52	榎本 恵理	2	秋2	1～			
今出川	15010020	053	教育原理	53	和田 充弘	2	春2	1～			
今出川	15010020	054	教育原理	54	森口 洋一	2	秋2	1～			
今出川	15010020	055	教育原理	55	長谷川 精一	2	秋2	1～			
今出川	15010020	056	教育原理	56	長谷川 精一	2	春2	1～			
京田辺	15010030	001	発達と学習の心理学	1	内山 伊知郎	2	秋2	1～		【2017年度以前生】科目コード：11700405	
京田辺	15010030	002	発達と学習の心理学	2	田中 希穂	2	春2	1～			
京田辺	15010030	003	発達と学習の心理学	3	田中 希穂	2	秋2	1～			
京田辺	15010030	004	発達と学習の心理学	4	山口 洋介	2	春2	1～			
京田辺	15010030	005	発達と学習の心理学	5	石井 僚	2	秋2	1～			
今出川	15010030	051	発達と学習の心理学	51	内山 伊知郎	2	春2	1～			
今出川	15010030	052	発達と学習の心理学	52	田中 希穂	2	春2	1～			
今出川	15010030	053	発達と学習の心理学	53	山口 洋介	2	秋2	1～			
今出川	15010030	054	発達と学習の心理学	54	羽野 ゆつ子	2	秋2	1～			
今出川	15010030	055	発達と学習の心理学	55	山口 洋介	2	春2	1～			
京田辺	15010041	001	教育制度と学校経営	1	柳澤 彰紀	2	春2	2～	【2017年度以前生】科目名：学校経営と法規 科目コード：10952203 【2018年度生】科目名：学校経営と法規 科目コード：15010040		
京田辺	15010041	002	教育制度と学校経営	2	沖田 悟傳	2	秋2	2～			
今出川	15010041	051	教育制度と学校経営	51	柳澤 彰紀	2	春2	2～			
今出川	15010041	052	教育制度と学校経営	52	柳澤 彰紀	2	春2	2～			
今出川	15010041	053	教育制度と学校経営	53	沖田 悟傳	2	秋2	2～			
京田辺	15010050	001	学校教育社会学	1	野村 洋平	2	秋2	2～	【2014年度以前生】科目名：教育社会学（2） 科目コード：10912107 【2015～2017年度生】科目名：学校教育社会学 科目コード：10912117		
今出川	15010050	051	学校教育社会学	51	高山 育子	2	春2	2～			
今出川	15010050	052	学校教育社会学	52	高山 育子	2	秋2	2～			
京田辺	15010070	001	教育課程論	1	佐藤 光友	2	春2	2～	【2017年度以前生】科目コード：10952229		
京田辺	15010070	002	教育課程論	2	田中 曜次	2	春2	2～			
京田辺	15010070	003	教育課程論	3	佐藤 光友	2	秋2	2～			
今出川	15010070	051	教育課程論	51	佐藤 光友	2	春2	2～			
今出川	15010070	052	教育課程論	52	児玉 祥一	2	春2	2～			
今出川	15010070	053	教育課程論	53	奥野 浩之 佐藤 光友	2	春2	2～			
今出川	15010070	054	教育課程論	54	奥野 浩之	2	秋2	2～			
今出川	15010070	055	教育課程論	55	佐藤 光友	2	秋2	2～			
京田辺	15010111	001	教育方法とICT活用の理論と実践	1	岡本 真彦	2	秋2	2～		【先行登録】1・3・4・5・53クラス 【2018～2021年度生】科目名：教育方法論 科目コード：15010110 【2017年度以前生】科目名：教育方法論 科目コード：10952235	
京田辺	15010111	002	教育方法とICT活用の理論と実践	2	田中 希穂	2	春2	2～			
京田辺	15010111	003	教育方法とICT活用の理論と実践	3	岡本 真彦	2	春2	2～			
京田辺	15010111	004	教育方法とICT活用の理論と実践	4	岡本 真彦	2	春2	2～			
京田辺	15010111	005	教育方法とICT活用の理論と実践	5	岡本 真彦	2	秋2	2～			
今出川	15010111	051	教育方法とICT活用の理論と実践	51	平野 哲司	2	春2	2～			
今出川	15010111	052	教育方法とICT活用の理論と実践	52	田中 希穂	2	春2	2～			
今出川	15010111	053	教育方法とICT活用の理論と実践	53	沼田 潤	2	秋2	2～			
今出川	15010111	054	教育方法とICT活用の理論と実践	54	池田 恭浩	2	秋2	2～			
今出川	15010111	055	教育方法とICT活用の理論と実践	55	平野 哲司	2	春2	2～			
京田辺	15010210	001	社会科教育法Ⅰ	1	中澤 静男	2	春2	2～	【2013～2017年度生】科目コード：10952240		
今出川	15010210	051	社会科教育法Ⅰ	51	本多 千明 奥野 浩之 菊井 雅志	2	春2	2～			
今出川	15010210	052	社会科教育法Ⅰ	52	奥野 浩之 菊井 雅志	2	春2	2～			
今出川	15010210	053	社会科教育法Ⅰ	53	本多 千明	2	秋2	2～			
京田辺	15010220	001	社会科教育法Ⅱ	1	佐藤 光友	2	秋2	2～	【2013～2017年度生】科目コード：10952241 2019年度以降生は「社会科教育法Ⅰ」を過学期に履修済であること。		
今出川	15010220	051	社会科教育法Ⅱ	51	奥野 浩之 菊井 雅志	2	秋2	2～			
今出川	15010220	052	社会科教育法Ⅱ	52	児玉 祥一	2	秋2	2～			
今出川	15010220	053	社会科教育法Ⅱ	53	本多 千明	2	春2	2～			

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
京田辺	15010230	001	社会科・地理歴史科教育法	1	本多 千明	2	春2	2～	【2013～2017年度生】科目コード：10952238	
今出川	15010230	051	社会科・地理歴史科教育法	51	須原 洋次	2	秋2	2～		
今出川	15010230	052	社会科・地理歴史科教育法	52	森口 洋一	2	秋2	2～		
今出川	15010230	053	社会科・地理歴史科教育法	53	角田 将士	2	春2	2～		
今出川	15010230	054	社会科・地理歴史科教育法	54	須原 洋次	2	春2	2～		
京田辺	15010240	001	社会科・公民科教育法	1	中澤 静男	2	春2	2～	【2013～2017年度生】科目コード：10952239	
今出川	15010240	051	社会科・公民科教育法	51	奥野 浩之	2	秋2	2～		
今出川	15010240	052	社会科・公民科教育法	52	佐藤 光友	2	春2	2～		
今出川	15010240	053	社会科・公民科教育法	53	本多 千明	2	春2	2～		
京田辺	15010250	001	地理歴史科教育法	1	本多 千明	2	秋2	2～	【2017年度以前生】科目コード：10952208	
今出川	15010250	051	地理歴史科教育法	51	児玉 祥一	2	春2	2～		
今出川	15010250	052	地理歴史科教育法	52	児玉 祥一	2	春2	2～		
今出川	15010250	053	地理歴史科教育法	53	角田 将士	2	秋2	2～		
京田辺	15010260	001	公民科教育法	1	田中 曜次	2	秋2	2～	【2017年度以前生】科目コード：10952209	
今出川	15010260	051	公民科教育法	51	本多 千明	2	春2	2～		
今出川	15010260	052	公民科教育法	52	本多 千明	2	秋2	2～		
今出川	15010260	053	公民科教育法	53	森口 洋一	2	春2	2～		
京田辺	15010091	001	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	1	稲田 雅巳	2	春2	2～	「特別活動論」を未履修かつ未登録であること。 ただし、「特別活動論」を履修済みで、卒業後に大学院生あるいは科目等履修生として一種免を取得する予定の者は、免許資格関係科目（M登録科目）としてのみ登録できる。履修希望者は事前に免許資格課程センターに申し出ること。	
京田辺	15010091	002	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	2	井上 浩史	2	秋2	2～		
京田辺	15010091	003	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	3	柳澤 彰紀	2	秋2	2～		
今出川	15010091	051	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	51	柳澤 彰紀	2	春2	2～		
今出川	15010091	052	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	52	稲田 雅巳	2	春2	2～		
今出川	15010091	053	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	53	稲田 雅巳	2	秋2	2～		
今出川	15010091	054	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	54	柳澤 彰紀	2	秋2	2～		
今出川	15010091	055	特別活動と総合的な学習の時間の指導法	55	長谷川 豊	2	秋2	2～		
			特別活動論			2		2～		
京田辺	15010080	001	道徳教育の理論と実践	1	倉本 香	2	秋2	2～		【2017年度以前生】科目コード：10952227
京田辺	15010080	002	道徳教育の理論と実践	2	山口 洋介	2	春2	2～		
京田辺	15010080	003	道徳教育の理論と実践	3	山口 洋介	2	秋2	2～		
今出川	15010080	051	道徳教育の理論と実践	51	和田 充弘	2	春2	2～		
今出川	15010080	052	道徳教育の理論と実践	52	倉本 香	2	春2	2～		
今出川	15010080	053	道徳教育の理論と実践	53	山口 洋介	2	春2	2～		
今出川	15010080	054	道徳教育の理論と実践	54	山口 洋介	2	秋2	2～		
今出川	15010080	055	道徳教育の理論と実践	55	和田 充弘	2	秋2	2～		
京田辺	15010120	001	生徒・進路指導の理論と方法	1	神山 貴弥	2	秋2	2～	【2013～2017年度生】科目コード：11700412	
京田辺	15010120	002	生徒・進路指導の理論と方法	2	稲田 雅巳	2	秋2	2～		
京田辺	15010120	003	生徒・進路指導の理論と方法	3	山本 桂子	2	春2	2～		
京田辺	15010120	004	生徒・進路指導の理論と方法	4	井上 浩史	2	春2	2～		
今出川	15010120	051	生徒・進路指導の理論と方法	51	稲田 雅巳	2	春2	2～		
今出川	15010120	052	生徒・進路指導の理論と方法	52	井上 浩史	2	春2	2～		
今出川	15010120	053	生徒・進路指導の理論と方法	53	稲田 雅巳	2	秋2	2～		
今出川	15010120	054	生徒・進路指導の理論と方法	54	井上 浩史	2	春2	2～		
京田辺	15010141	001	教育相談の理論と方法	1	石川 信一	2	春2	3～	【2017年度以前生】科目名：学校カウンセリング 科目コード：11700411 【2018年度生】科目名：学校カウンセリング 科目コード：15010140	
京田辺	15010141	002	教育相談の理論と方法	2	市来 百合子	2	春2	3～		
京田辺	15010141	003	教育相談の理論と方法	3	牧 郁子	2	秋2	3～		
今出川	15010141	051	教育相談の理論と方法	51	藤井 恭子	2	秋2	3～		
今出川	15010141	052	教育相談の理論と方法	52	河崎 俊博	2	秋2	3～		
今出川	15010141	053	教育相談の理論と方法	53	河崎 俊博	2	春2	3～		
今出川	15010141	054	教育相談の理論と方法	54	松原 耕平	2	春2	3～		

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
今出川	15010060	053	人権教育論	53	大原 悟務 田中 希穂 遠藤 徹 中瀬 浩一 望月 詩史 MATTIAS VAN OMMEN 長澤 勢理香 柳澤 彰紀 李 元重	2	秋2	1～	【2017年度以前生】科目コード：10952237	
京田辺	15010160	001	スクールインターンシップ	1	柳澤 彰紀	2	通年 集中	2～	【先行登録】 「教職概論」を前年度までに修得済みの者。募集校種の免許状 の教職課程登録を行っている者。 2016年度以降生のみ登録可。 ※登録にあたっては免許資格課程センターHPの募集説明を確認 すること。	
今出川	15010160	051	スクールインターンシップ	51	稲田 雅巳	2	通年 集中	2～		
京田辺	15010151	001	特別ニーズ教育論	1	廣中 嘉隆	2	秋2	1～	2018年度以前生は「特別支援と福祉の教育」 (自由科目)として履修すること。	
京田辺	15010151	002	特別ニーズ教育論	2	中瀬 浩一	2	春2	1～		
京田辺	15010151	003	特別ニーズ教育論	3	中瀬 浩一	2	秋2	1～		
京田辺	15010151	004	特別ニーズ教育論	4	廣中 嘉隆	2	春2	1～		
今出川	15010151	051	特別ニーズ教育論	51	中瀬 浩一	2	春2	1～		
今出川	15010151	052	特別ニーズ教育論	52	中瀬 浩一	2	秋2	1～		
今出川	15010151	053	特別ニーズ教育論	53	中瀬 浩一	2	春2	1～		
今出川	15010151	054	特別ニーズ教育論	54	中瀬 浩一	2	秋2	1～		
今出川	15010151	055	特別ニーズ教育論	55	中瀬 浩一	2	春2	1～		
今出川	15010151	056	特別ニーズ教育論	56	中瀬 浩一	2	秋2	1～		
京田辺	15020010	001	学校教育図書館論	1	西浦 富美子	2	春2	2～	【2017年度以前生】科目コード：10952167	
今出川	15020010	051	学校教育図書館論	51	坂下 直子	2	春2	2～		
今出川	15020010	101	学校教育図書館論	101	佐藤 毅彦	2	春2	2～		
京田辺	15020020	001	学校図書館メディアの構成	1	枝元 益祐	2	春2	2～	【2017年度以前生】科目コード：10952809	
今出川	15020020	051	学校図書館メディアの構成	51	坂下 直子	2	春2	2～		
今出川	15020020	101	学校図書館メディアの構成	101	坂下 直子	2	春2	2～		
京田辺	15020030	001	学習指導と学校図書館	1	西浦 富美子	2	秋2	2～	【2017年度以前生】科目コード：10952810	
今出川	15020030	051	学習指導と学校図書館	51	大平 睦美	2	春2	2～		
今出川	15020030	101	学習指導と学校図書館	101	大平 睦美	2	春2	2～		
京田辺	15020040	001	読書と豊かな人間性	1	米谷 優子	2	春2	2～	【2017年度以前生】科目コード：10952222	
今出川	15020040	051	読書と豊かな人間性	51	岩崎 れい	2	春2	2～		
今出川	15020040	052	読書と豊かな人間性	52	井上 靖代	2	秋2	2～		
京田辺	15020050	001	情報メディアの活用	1	枝元 益祐	2	春2	2～	【先行登録】51・101クラス 【2017年度以前生】科目コード：10952811	
今出川	15020050	051	情報メディアの活用	51	笠井 詠子	2	秋2	2～		
今出川	15020050	101	情報メディアの活用	101	笠井 詠子	2	春2	2～		
京田辺	15030010	001	生涯学習概論	1	佐藤 聡子	2	秋2	1～	【2017年度以前生】科目コード：10952223	
今出川	15030010	051	生涯学習概論	51	神部 純一	2	春2	1～		
今出川	15030010	052	生涯学習概論	52	神部 純一	2	秋2	1～		
京田辺	15030020	001	図書館情報学概論	1	西浦 ミナ子	2	春2	1～	【2017年度以前生】 科目名：図書館・情報学概論 科目コード：10952224	
今出川	15030020	051	図書館情報学概論	51	西浦 ミナ子	2	春2	1～		
今出川	15030020	101	図書館情報学概論	101	西浦 ミナ子	2	秋2	1～		
京田辺	15030030	001	図書館制度・経営論	1	瀬戸口 誠	2	秋2	2～	【2017年度以前生】科目コード：10952815	
今出川	15030030	051	図書館制度・経営論	51	嶋田 学	2	秋2	2～		
今出川	15030030	101	図書館制度・経営論	101	嶋田 学	2	春2	2～		
京田辺	15030040	001	図書館情報技術論	1	原田 隆史	2	春2	2～	【2017年度以前生】科目コード：10952233	
今出川	15030040	051	図書館情報技術論	51	原田 隆史	2	春2	2～		
今出川	15030040	101	図書館情報技術論	101	原田 隆史	2	秋2	2～		
京田辺	15030050	001	図書館情報サービス論Ⅰ	1	西浦 ミナ子	2	春2	1～	【先行登録】Ⅱ-51クラスのみ 【2017年度以前生】 科目名：図書館情報サービス論（春秋2） 科目コード：10952812 【2018年度以降生】 「図書館情報サービス論Ⅰ」（以下、Ⅰ）と「図書館情報サー ビス論Ⅱ」（以下、Ⅱ）はセット登録科目とはしないが、 「Ⅱ」を履修するには「Ⅰ」を修得済みであること。	
今出川	15030050	051	図書館情報サービス論Ⅰ	51	嶋田 学	2	春2	1～		
今出川	15030050	101	図書館情報サービス論Ⅰ	101	瀬戸口 誠	2	春2	1～		
京田辺	15030060	001	図書館情報サービス論Ⅱ	1	瀬戸口 誠	2	秋2	1～		
今出川	15030060	051	図書館情報サービス論Ⅱ	51	松田 泰代	2	秋2	1～		
今出川	15030060	101	図書館情報サービス論Ⅱ	101	嶋田 学	2	秋2	1～		



校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
京田辺	15030070	001	児童サービス論	I	米谷 優子	2	春2	2~	【2017年度以前生】科目コード：10952805	
今出川	15030070	051	児童サービス論	51	井上 靖代	2	秋2	2~		
今出川	15030070	052	児童サービス論	52	井上 靖代	2	春2	2~		
京田辺	15030080	001	情報サービス演習 I	I	佐藤 聡子	2	秋2	2~	【先行登録】51・52・53・101クラス 【2017年度以前生】科目コード：10952817 「図書館情報学概論」(2017年度以前生：「図書館・情報学概論」)を修得済みであること。	
今出川	15030080	051	情報サービス演習 I	51	小松 泰信	2	春2	2~		
今出川	15030080	052	情報サービス演習 I	52	小松 泰信	2	春2	2~		
今出川	15030080	053	情報サービス演習 I	53	瀬戸口 誠	2	春2	2~		
今出川	15030080	101	情報サービス演習 I	101	逸村 裕	2	秋2	2~		
京田辺	15030090	001	情報サービス演習 II	I	米谷 優子	2	春2	2~		
今出川	15030090	051	情報サービス演習 II	51	西浦 ミナ子	2	春2	2~		
今出川	15030090	052	情報サービス演習 II	52	西浦 ミナ子	2	秋2	2~	【先行登録】51・52・53・101クラス 【2017年度以前生】科目コード：10952818 「図書館情報学概論」(2017年度以前生：「図書館・情報学概論」)を修得済みであること。	
今出川	15030090	053	情報サービス演習 II	53	西浦 ミナ子	2	秋2	2~		
今出川	15030090	101	情報サービス演習 II	101	西浦 ミナ子	2	春2	2~		
京田辺	15030100	001	図書館情報資源概論	I	谷合 佳代子	2	春2	2~	【2017年度以前生】科目コード：10952813	
今出川	15030100	051	図書館情報資源概論	51	逸村 裕	2	秋2	2~		
今出川	15030100	101	図書館情報資源概論	101	江上 敏哲	2	春2	2~		
京田辺	15030110	001	情報資源組織論 I	I	松田 泰代	2	春2	2~	【先行登録】51・101クラス 【2017年度以前生】 科目名：情報資源組織論(春秋2)※一般登録 科目コード：10952232 【2018年度以降生】 「情報資源組織論 I」(以下、I)と「情報資源組織論 II」 (以下、II)はセット登録科目とはしないが、「II」を履修する には「I」を修得済みであること。	
今出川	15030110	051	情報資源組織論 I	51	松田 泰代	2	春2	2~		
今出川	15030110	101	情報資源組織論 I	101	松田 泰代	2	春2	2~		
京田辺	15030120	001	情報資源組織論 II	I	松田 泰代	2	秋2	2~		
今出川	15030120	051	情報資源組織論 II	51	松田 泰代	2	秋2	2~		
今出川	15030120	101	情報資源組織論 II	101	松田 泰代	2	秋2	2~		
京田辺	15030130	001	情報資源組織演習 I	I	逸村 裕	2	春2	3~	【先行登録】51・52・101クラス 【2017年度以前生】科目コード：10952819 「情報資源組織論」を修得済みまたは同時に登録すること。 【2018年度以降生】 「情報資源組織論 I」を修得済みまたは同時に登録すること。	
今出川	15030130	051	情報資源組織演習 I	51	松田 泰代	2	春2	3~		
今出川	15030130	052	情報資源組織演習 I	52	松田 泰代	2	春2	3~		
今出川	15030130	101	情報資源組織演習 I	101	松田 泰代	2	春2	3~		
京田辺	15030140	001	情報資源組織演習 II	I	佐藤 翔	2	秋2	3~	【先行登録】51・52・101クラス 【2017年度以前生】科目コード：10952820 「情報資源組織論」を修得済みまたは同時に登録すること。 【2018年度以降生】 「情報資源組織論 II」を修得済みまたは同時に登録すること。	
今出川	15030140	051	情報資源組織演習 II	51	佐藤 翔	2	秋2	3~		
今出川	15030140	052	情報資源組織演習 II	52	佐藤 翔	2	秋2	3~		
今出川	15030140	101	情報資源組織演習 II	101	佐藤 翔	2	秋2	3~		
今出川	15030150		図書館情報学特論		原田 隆史	2	春2	2~	【2017年度以前生】科目名：図書館基礎特論 科目コード：10952816	
今出川	15030160		学術情報利用教育論		井上 真琴	2	秋2	2~	【2017年度以前生】科目コード：10952165	
京田辺	15030170	001	図書館情報資源特論	I	谷合 佳代子	2	春2	2~	【2017年度以前生】科目コード：10952814	
今出川	15030170	051	図書館情報資源特論	51	江上 敏哲	2	春2	2~		
今出川	15030180		図書・図書館史		佐藤 翔	2	春2	2~		【2017年度以前生】科目コード：10952231
京田辺	15030190	001	図書館演習	I	原田 隆史 佐藤 翔 逸村 裕	4	春秋2	3~	【先行登録】51・52・101クラス 【2017年度以前生】科目コード：10952821 前年度までに、「図書館・情報学概論」、「図書館制度・経営論」 「図書館情報サービス論」の3科目を修得済みであること。 【2018年度以降生】 前年度までに「図書館情報学概論」、「図書館制度・経営論」、 「図書館情報サービス論 I・II」の4科目を修得済みであること。	
今出川	15030190	051	図書館演習	51	原田 隆史 佐藤 翔 西浦 ミナ子	4	春秋2	3~		
今出川	15030190	052	図書館演習	52	原田 隆史 佐藤 翔 西浦 ミナ子	4	春秋2	3~		
今出川	15030190	101	図書館演習	101	原田 隆史 逸村 裕 西浦 ミナ子	4	春秋2	3~		
今出川	15040010		学校図書館サービス論		井上 靖代	2	春2	2~		
〔他学部設置科目:免許関連科目〕										
京田辺	10402643	001	日本の憲法	I	二宮 貴美	2	春2	2~	【2016年度以降生対象】 M登録の場合、1年次から履修可。 1年次に履修する場合、一般登録期間中にDUETから免許・資格課程の 仮登録を行った上で、次の期間中に商学部・商学研究科事務室の窓口で 申請をすること。(DUETでは申請できない) 春学期：4月8日(火)~9日(水)、秋学期：9月25日(木)、26日 (金) 事務室開室時間：9:00~11:30、12:30~17:00。 【2015年度以前生】科目名：憲法 I 科目コード：10402601	
京田辺	10402643	002	日本の憲法	2	二宮 貴美	2	春2	2~		
京田辺	10402643	003	日本の憲法	3	二宮 貴美	2	秋2	2~		
インター ネット	10402643	051	日本の憲法	51	田中 謙太	2	春2	2~		
今出川	10402643	052	日本の憲法	52	二宮 貴美	2	秋2	2~		
今出川	10402643	053	日本の憲法	53	松岡 千紘	2	秋2	2~		
今出川	10952175		学校教育文化論(1)		田中 希穂	2	春2	2~		
今出川	10952176		学校教育文化論(2)		吉田 敦彦	2	秋2	2~		
今出川	10952160		生涯教育計画論		中川 吉晴	2	春2	2~		
今出川	10952181		多文化共生社会と生涯学習		蒲生 諒太	2	春2	2~	【2017年度以前生】科目名：比較生涯学習論 科目コード：10952161	

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
〔全学共通教養教育科目〕 ※全学共通教養教育科目履修要項参照										
	16502051		ドイツ語文化事情Ⅰ			2		3~		
	16502052		ドイツ語文化事情Ⅱ			2		3~		
	16502061		ドイツ語表現法Ⅰ			2		3~		
	16502062		ドイツ語表現法Ⅱ			2		3~		
	16502071		言語文化原典演習（ドイツ語）Ⅰ			2		3~		
	16502072		言語文化原典演習（ドイツ語）Ⅱ			2		3~		
	16502081		現代地域事情・上級講読（ドイツ語圏）Ⅰ			2		3~		
	16502082		現代地域事情・上級講読（ドイツ語圏）Ⅱ			2		3~		
	16502092		サマープログラム・ドイツ語A		(本年度休講)	4		2~	【先行登録】	
	16502093		サマープログラム・ドイツ語B			3		2~	【先行登録】	
	16502095		スプリングプログラム・ドイツ語			3		1~	【先行登録】	
	16502101		セメスタープログラム・ドイツ語Ⅰ			4		2~	【先行登録】	
	16502102		セメスタープログラム・ドイツ語Ⅱ			4		2~	【先行登録】	
	16502041		ドイツ語会話初級Ⅰ			1		1~	【先行登録】	
	16502042		ドイツ語会話初級Ⅱ			1		1~	【先行登録】	
	16502043		ドイツ語会話中級Ⅰ			1		1~		
	16502044		ドイツ語会話中級Ⅱ			1		1~		
	16502045		ドイツ語会話上級Ⅰ			1		1~		
	16502046		ドイツ語会話上級Ⅱ			1		1~		
	16503051		フランス語文化事情Ⅰ			2		3~		
	16503052		フランス語文化事情Ⅱ			2		3~		
	16503061		フランス語表現法Ⅰ			2		3~		
	16503062		フランス語表現法Ⅱ			2		3~		
	16503071		言語文化原典演習（フランス語）Ⅰ			2		3~		
	16503072		言語文化原典演習（フランス語）Ⅱ			2		3~		
	16503081		現代地域事情・上級講読（フランス語圏）Ⅰ			2		3~		
	16503082		現代地域事情・上級講読（フランス語圏）Ⅱ			2		3~		
	16503091		サマープログラム・フランス語			4		2~	【先行登録】	
	16503095		スプリングプログラム・フランス語			3		1~	【先行登録】	
	16503041		フランス語会話初級Ⅰ			1		1~	【先行登録】	
	16503042		フランス語会話初級Ⅱ			1		1~	【先行登録】	
	16503043		フランス語会話中級Ⅰ			1		1~		
	16503044		フランス語会話中級Ⅱ			1		1~		
	16503045		フランス語会話上級Ⅰ			1		1~		
	16503046		フランス語会話上級Ⅱ			1		1~		
	16504051		中国語文化事情Ⅰ			2		3~		
	16504052		中国語文化事情Ⅱ			2		3~		
	16504061		中国語表現法Ⅰ			2		3~		
	16504062		中国語表現法Ⅱ			2		3~		
	16504071		言語文化原典演習（中国語）Ⅰ			2		3~		
	16504072		言語文化原典演習（中国語）Ⅱ			2		3~		
	16504081		現代地域事情・上級講読（中国語圏）Ⅰ			2		3~		
	16504082		現代地域事情・上級講読（中国語圏）Ⅱ			2		3~		
	16504092		サマープログラム・中国語B			3		2~	【先行登録】	
	16504095		スプリングプログラム・中国語			1		1~	【先行登録】	
	16504041		中国語会話初級Ⅰ			1		2~	【先行登録】	
	16504042		中国語会話初級Ⅱ			1		2~	【先行登録】	
	16504043		中国語会話中級Ⅰ			1		2~		
	16504044		中国語会話中級Ⅱ			1		2~		
	16504045		中国語会話上級Ⅰ			1		2~		
	16504046		中国語会話上級Ⅱ			1		2~		

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	他学部生 履修可否
	科目 コード	クラス コード								
	16505051		スペイン語文化事情Ⅰ			2		3～		
	16505052		スペイン語文化事情Ⅱ			2		3～		
	16505061		スペイン語表現法Ⅰ			2		3～		
	16505062		スペイン語表現法Ⅱ			2		3～		
	16505071		言語文化原典演習(スペイン語)Ⅰ			2		3～		
	16505072		言語文化原典演習(スペイン語)Ⅱ			2		3～		
	16505081		現代地域事情・上級講読(スペイン語圏)Ⅰ			2		3～		
	16505082		現代地域事情・上級講読(スペイン語圏)Ⅱ			2		3～		
	16505091		サマープログラム・スペイン語			4		2～	【先行登録】	
	16505097		スプリングプログラム・スペイン語B			3		1～	【先行登録】	
	16505041		スペイン語会話初級Ⅰ			1		1～	【先行登録】	
	16505042		スペイン語会話初級Ⅱ			1		1～	【先行登録】	
	16505043		スペイン語会話中級Ⅰ			1		1～		
	16505044		スペイン語会話中級Ⅱ			1		1～		
	16505045		スペイン語会話上級Ⅰ			1		1～		
	16505046		スペイン語会話上級Ⅱ			1		1～		
	16506051		ロシア語文化事情Ⅰ			2		3～		
	16506052		ロシア語文化事情Ⅱ			2		3～		
	16506061		ロシア語表現法Ⅰ			2		3～		
	16506062		ロシア語表現法Ⅱ			2		3～		
	16506071		言語文化原典演習(ロシア語)Ⅰ			2		3～		
	16506072		言語文化原典演習(ロシア語)Ⅱ			2		3～		
	16506081		現代地域事情・上級講読(ロシア語圏)Ⅰ			2		3～		
	16506082		現代地域事情・上級講読(ロシア語圏)Ⅱ			2		3～		
	16506091		サマープログラム・ロシア語		(本年度休講)	4		2～	【先行登録】	
	16506041		ロシア語会話初級Ⅰ			1		1～	【先行登録】	
	16506042		ロシア語会話初級Ⅱ			1		1～	【先行登録】	
	16506043		ロシア語会話中級Ⅰ			1		1～		
	16506044		ロシア語会話中級Ⅱ			1		1～		
	16506045		ロシア語会話上級Ⅰ			1		1～		
	16506046		ロシア語会話上級Ⅱ			1		1～		
	16507051		コリア語文化事情Ⅰ			2		3～		
	16507052		コリア語文化事情Ⅱ			2		3～		
	16507061		コリア語表現法Ⅰ			2		3～		
	16507062		コリア語表現法Ⅱ			2		3～		
	16507071		言語文化原典演習(コリア語)Ⅰ			2		3～		
	16507072		言語文化原典演習(コリア語)Ⅱ			2		3～		
	16507081		現代地域事情・上級講読(コリア語圏)Ⅰ			2		3～		
	16507082		現代地域事情・上級講読(コリア語圏)Ⅱ			2		3～		
	16507091		サマープログラム・コリア語			3		2～	【先行登録】	
	16507095		スプリングプログラム・コリア語			3		1～	【先行登録】	
	16507041		コリア語会話初級Ⅰ			1		1～	【先行登録】	
	16507042		コリア語会話初級Ⅱ			1		1～	【先行登録】	
	16507043		コリア語会話中級Ⅰ			1		1～		
	16507044		コリア語会話中級Ⅱ			1		1～		
	16507045		コリア語会話上級Ⅰ			1		1～		
	16507046		コリア語会話上級Ⅱ			1		1～		
	16508001		基礎イタリア語Ⅰ			1		2～	【先行登録】	
	16508002		基礎イタリア語Ⅱ			1		2～	【先行登録】	
	16508003		基礎イタリア語Ⅲ			1		3～	【先行登録】	
	16508004		基礎イタリア語Ⅳ			1		3～	【先行登録】	
[他学部設置科目] ※商学部時間割参照										
								2～		
[大学コンソーシアム京都単位互換科目] ※大学コンソーシアム京都パンフレット参照										
								2～		
[同志社女子大学単位互換科目] ※同志社女子大学単位互換科目履修ガイド参照										
								2～		

◆ I | 類自主選択科目：副専攻パッケージ

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考	
	科目 コード	クラス コード								
【教職基礎】										
今出川	15010060	053	人権教育論	53	大原 悟務 田中 希穂 遠藤 徹一 中瀬 浩一 望月 詩史 MATTIAS VAN OMMEN 長澤 勢理香 柳澤 彰紀 李 元重	2	秋2	1～	【2017年度以前生】科目コード：10952237	
京田辺	15010010	001	教職概論	1	中瀬 浩一	2	秋2	1～	【2017年度以前生】科目コード：10952201	
京田辺	15010010	002	教職概論	2	井上 浩史	2	春2	1～		
京田辺	15010010	003	教職概論	3	沖田 悟博	2	春2	1～		
京田辺	15010010	004	教職概論	4	沖田 悟博	2	春2	1～		
京田辺	15010010	005	教職概論	5	井上 浩史	2	秋2	1～		
今出川	15010010	051	教職概論	51	井上 浩史	2	秋2	1～		
今出川	15010010	052	教職概論	52	井上 浩史	2	秋2	1～		
今出川	15010010	053	教職概論	53	沖田 悟博	2	春2	1～		
今出川	15010010	054	教職概論	54	中瀬 浩一	2	秋2	1～		
今出川	15010010	055	教職概論	55	井上 浩史	2	春2	1～		
今出川	15010010	056	教職概論	56	中瀬 浩一	2	春2	1～		
京田辺	15010020	001	教育原理	1	佐藤 光友	2	春2	1～		【2017年度以前生】科目コード：10952202
京田辺	15010020	002	教育原理	2	佐藤 光友	2	秋2	1～		
京田辺	15010020	003	教育原理	3	佐藤 光友	2	秋2	1～		
今出川	15010020	051	教育原理	51	榎本 恵理	2	春2	1～		
今出川	15010020	052	教育原理	52	榎本 恵理	2	秋2	1～		
今出川	15010020	053	教育原理	53	和田 充弘	2	春2	1～		
今出川	15010020	054	教育原理	54	森口 洋一	2	秋2	1～		
今出川	15010020	055	教育原理	55	長谷川 精一	2	秋2	1～		
今出川	15010020	056	教育原理	56	長谷川 精一	2	春2	1～		
京田辺	10270127	001	人文地理学（1）	1	川口 洋	2	春2	2～		
今出川	10270127	051	人文地理学（1）	51	本岡 拓哉	2	春2	2～		
今出川	10270127	101	人文地理学（1）	101	佐野 静代	2	春2	2～		
京田辺	10270128	001	人文地理学（2）	1	川口 洋	2	秋2	2～		
今出川	10270128	051	人文地理学（2）	51	本岡 拓哉	2	秋2	2～		
今出川	10270128	101	人文地理学（2）	101	佐野 静代	2	秋2	2～		
京田辺	10270420	001	地理学総論（1）	1	津村 宏臣	2	春2	2～		
今出川	10270420	051	地理学総論（1）	51	津村 宏臣	2	春2	2～	【先行登録】 文学部生のみ履修可。ただし、免許資格取得のために履修する場合のみ、商学部生も履修可。 免許資格課程センターに事前に相談のこと。	
今出川	10270420	101	地理学総論（1）	101	古関 大樹	2	春2	2～		
京田辺	10270421	001	地理学総論（2）	1	津村 宏臣	2	秋2	2～		
今出川	10270421	051	地理学総論（2）	51	津村 宏臣	2	秋2	2～	【先行登録】 文学部生のみ履修可。ただし、免許資格取得のために履修する場合のみ、商学部生も履修可。 免許資格課程センターに事前に相談のこと。	
今出川	10270421	101	地理学総論（2）	101	稲田 七海	2	秋2	2～		
京田辺	10270078	001	地誌学	1	古関 大樹	2	春2	2～		
今出川	10270078	051	地誌学	51	古関 大樹	2	春2	2～		
今出川	10270078	052	地誌学	52	佐野 静代	2	秋2	2～		
今出川	10270078	101	地誌学	101	佐野 静代	2	春2	2～		
京田辺	15010230	001	社会科・地理歴史科教育法	1	本多 千明	2	春2	2～	【2013～2017年度生】科目コード：10952238	
今出川	15010230	051	社会科・地理歴史科教育法	51	須原 洋次	2	秋2	2～		
今出川	15010230	052	社会科・地理歴史科教育法	52	森口 洋一	2	秋2	2～		
今出川	15010230	053	社会科・地理歴史科教育法	53	角田 将士	2	春2	2～		
今出川	15010230	054	社会科・地理歴史科教育法	54	須原 洋次	2	春2	2～		
京田辺	15010240	001	社会科・公民科教育法	1	中澤 静男	2	春2	2～		【2013～2017年度生】科目コード：10952239
今出川	15010240	051	社会科・公民科教育法	51	奥野 浩之	2	秋2	2～		
今出川	15010240	052	社会科・公民科教育法	52	佐藤 光友	2	春2	2～		
今出川	15010240	053	社会科・公民科教育法	53	本多 千明	2	春2	2～		

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考
	科目 コード	クラス コード							
京田辺	15010210	001	社会科教育法Ⅰ	Ⅰ	中澤 静男	2	春2	2～	【2013～2017年度生】科目コード：10952240
今出川	15010210	051	社会科教育法Ⅰ	51	本多 千明	2	春2	2～	
今出川	15010210	052	社会科教育法Ⅰ	52	奥野 浩之 菊井 雅志	2	春2	2～	
今出川	15010210	053	社会科教育法Ⅰ	53	本多 千明	2	秋2	2～	
京田辺	15010220	001	社会科教育法Ⅱ	Ⅰ	佐藤 光友	2	秋2	2～	【2013～2017年度生】科目コード：10952241 2019年度以降生は「社会科教育法Ⅰ」を過学期に履修済であること。
今出川	15010220	051	社会科教育法Ⅱ	51	奥野 浩之 菊井 雅志	2	秋2	2～	
今出川	15010220	052	社会科教育法Ⅱ	52	児玉 祥一	2	秋2	2～	
今出川	15010220	053	社会科教育法Ⅱ	53	本多 千明	2	春2	2～	
京田辺	15010250	001	地理歴史科教育法	Ⅰ	本多 千明	2	秋2	2～	【2017年度以前生】科目コード：10952208
今出川	15010250	051	地理歴史科教育法	51	児玉 祥一	2	春2	2～	
今出川	15010250	052	地理歴史科教育法	52	児玉 祥一	2	春2	2～	
今出川	15010250	053	地理歴史科教育法	53	角田 将士	2	秋2	2～	
京田辺	15010260	001	公民科教育法	Ⅰ	田中 曜次	2	秋2	2～	【2017年度以前生】科目コード：10952209
今出川	15010260	051	公民科教育法	51	本多 千明	2	春2	2～	
今出川	15010260	052	公民科教育法	52	本多 千明	2	秋2	2～	
今出川	15010260	053	公民科教育法	53	森口 洋一	2	春2	2～	
今出川	10523911	051	商業科教育法A	51	山下 幸作	2	春2	2～	
今出川	10523911	052	商業科教育法A	52	西嶋 達人	2	春2	2～	
今出川	10523912	051	商業科教育法B	51	山下 幸作	2	秋2	2～	
今出川	10523912	052	商業科教育法B	52	西嶋 達人	2	秋2	2～	
今出川	10523918	051	職業指導Ⅰ	51	山下 幸作	2	春2	2～	
今出川	10523918	052	職業指導Ⅰ	52	西嶋 達人	2	春2	2～	
今出川	10523919	051	職業指導Ⅱ	51	山下 幸作	2	秋2	2～	
今出川	10523919	052	職業指導Ⅱ	52	西嶋 達人	2	秋2	2～	
今出川	10523920	051	教職情報処理実習	51	西嶋 達人	2	秋2	2～	【先行登録】
今出川	10523920	052	教職情報処理実習	52	西嶋 達人	2	春2	2～	【先行登録】
京田辺	10402643	001	日本の憲法	Ⅰ	二宮 貴美	2	春2	2～	【2016年度以降生対象】 M登録の場合、1年次から履修可。 1年次に履修する場合、一般登録期間中にDUETから免許・資格課程の仮登録を行った上で、次の期間中に商学部・商学研究科事務室の窓口で申請をすること。 (DUETでは申請できない) 春学期：4月8日(火)～9日(水)、秋学期：9月25日(木)、26日(金) 事務室開室時間：9:00～11:30、12:30～17:00。 【2015年度以前生】科目名：憲法Ⅰ 科目コード：10402601
京田辺	10402643	002	日本の憲法	2	二宮 貴美	2	春2	2～	
京田辺	10402643	003	日本の憲法	3	二宮 貴美	2	秋2	2～	
インター ネット	10402643	051	日本の憲法	51	田中 謙太	2	春2	2～	
今出川	10402643	052	日本の憲法	52	二宮 貴美	2	秋2	2～	
今出川	10402643	053	日本の憲法	53	松岡 千紘	2	秋2	2～	
			日本国憲法			2		1～	
京田辺	15010070	001	教育課程論	Ⅰ	佐藤 光友	2	春2	2～	【2017年度以前生】科目コード：10952229
京田辺	15010070	002	教育課程論	2	田中 曜次	2	春2	2～	
京田辺	15010070	003	教育課程論	3	佐藤 光友	2	秋2	2～	
今出川	15010070	051	教育課程論	51	佐藤 光友	2	春2	2～	
今出川	15010070	052	教育課程論	52	児玉 祥一	2	春2	2～	
今出川	15010070	053	教育課程論	53	奥野 浩之 佐藤 光友	2	春2	2～	
今出川	15010070	054	教育課程論	54	奥野 浩之	2	秋2	2～	
今出川	15010070	055	教育課程論	55	佐藤 光友	2	秋2	2～	

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考
	科目 コード	クラス コード							
【社会調査】2017～2023年度生									
京田辺	10807314		社会調査入門		眞田 英毅	2	秋2	2～	
京田辺	10807411		データサイエンス入門		狩野 裕	2	春2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
京田辺	10807413		データサイエンス基礎		柴崎 祥太	2	秋2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
京田辺	10807511		数学入門		広田 高輝	2	春2	2～	
京田辺	10807513		線形代数		広田 高輝	2	秋2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
京田辺	10807323		社会調査法		鄭 躍軍	2	春2	2～	
京田辺	10807328		社会調査演習		宿久 洋 鄭 躍軍 藤田 成隆 淵上 ゆかり 森本 栄一	2	秋4	2～	【先行登録】 「社会調査法」を単位修得済のこと。
京田辺	10807421		定量的データ分析		井本 桂右	2	春2	2～	【先行登録】 副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
	10807423		定性的データ分析		(本年度休講)	2		2～	【先行登録】 副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
京田辺	10807515		微分積分		中西 義典	2	春2	2～	
京田辺	10807621		情報理論		蒲原 智也	2	秋2	3～	【先行登録】
【スポーツマネジメント】									
京田辺	11500012		スポーツ生理学		竹田 正樹	2	秋2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
京田辺	11501005		スポーツ社会学		二宮 浩彰	2	春2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
京田辺	11501006		スポーツ政策論		川井 圭司	2	秋2	2～	
京田辺	11502006		栄養学		木村 祐子	2	春2	2～	
京田辺	11502008		健康運動論		石井 好二郎	2	秋2	2～	
京田辺	11502010		スポーツ機能解剖学		中村 康雄	2	秋2	2～	
京田辺	11501007		スポーツ運動学		田附 俊一	2	春2	2～	
京田辺	11501008		トレーニング論		新井 彩	2	春2	2～	
京田辺	11502007		スポーツ栄養学		海老根 直之	2	秋2	2～	
京田辺	11502009		健康教育学		柳田 昌彦	2	秋2	3～	
京田辺	11502014		スポーツ心理学		石倉 忠夫	2	春2	2～	
京田辺	11502021		障がい者スポーツ論		河西 正博	2	春2	2～	
京田辺	11502035		コーチング論		松倉 啓太	2	春2	2～	
京田辺	11502037		スポーツ教育学		岩田 昌太郎	2	春2	2～	
インタ	11502039		スポーツ行政論		齋藤 健司	2	秋2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
京田辺	11502040		スポーツ経済学		有吉 忠一	2	秋2	3～	
京田辺	11502041		スポーツビジネス論		庄子 博人	2	秋2	3～	
京田辺	11502043		スポーツ・メディア論		国貞 仁志	2	春2	3～	
京田辺	11502044		高齢者スポーツ論		渡邊 裕也	2	秋2	3～	
京田辺	11502050		スポーツ組織文化論		有吉 忠一	2	春2	2～	
京田辺	11502053		スポーツ・マーケティング論		二宮 浩彰	2	秋2	2～	
京田辺	11502056		障がい者スポーツ指導論		河西 正博	2	春2	3～	【先行登録】
【現代メディア】									
インタ	10932101		ジャーナリズム史		河崎 吉紀	2	春2	2～	【先行登録】 副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
インタ	10932102		メディア史		河崎 吉紀	2	秋2	2～	【先行登録】 副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
今出川	10932103		メディア・リテラシー概論		松村 菜摘子	2	秋2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
今出川	10932106		比較メディア論		勝野 宏史	2	秋2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
	10932107		現代メディア・ジャーナリズム論		(本年度休講)	2		2～	
今出川	10932121	001	ジェンダーとメディア	1	俣野 裕美	2	春2	2～	
今出川	10932121	002	ジェンダーとメディア	2	佐伯 順子	2	秋2	2～	
今出川	10932122		情報行動論		勝野 宏史	2	春2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
今出川	10932123		環境情報学		水出 幸輝	2	秋2	2～	
今出川	10932125		メディア社会論		水出 幸輝	2	春2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
今出川	10932127		世論と社会		松尾 理也	2	春2	2～	
今出川	10932128		メディア産業論		伊藤 高史	2	秋2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
今出川	10932129		メディア法制倫理		伊藤 高史 矢内 真理子	2	秋2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
今出川	10932141		コミュニケーション論		阿部 康人	2	秋2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
今出川	10932153		デジタルメディア論		阿部 一晴	2	春2	2～	【2021年度以前生】科目名：マルチメディア論 科目コード：10932147
今出川	10932149		放送論		立岩 陽一郎	2	秋2	2～	【先行登録】 副専攻パッケージ履修者のみ履修可能

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考
	科目 コード	クラス コード							
〔行政〕									
今出川	I0307541		政治参加と選挙		西澤 由隆	2	春2	2～	
今出川	I0307542		政党政治論		森 裕城	2	秋2	2～	
今出川	I0308081	001	基本的人権概論	1	檜垣 伸次 勝山 教子 田中 謙太	2	春2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
今出川	I0308081	002	基本的人権概論	2	檜垣 伸次 勝山 教子 田中 謙太	2	春2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
今出川	I0308091		行政法概論		佐伯 彰洋 倉見 智亮	2	春2	2～	副専攻パッケージ履修者のみ履修可能
今出川	I0307343		地方自治法		小川 一茂	2	秋2	3～	
今出川	I0307347		環境法		小谷 真理	2	秋2	3～	
今出川	I0307631		官僚制と政治		市川 喜崇	2	秋2	2～	
今出川	I0307632		議会政治論		西澤 由隆	2	秋2	3～	
今出川	I0307634		福祉国家と政治		加藤 雅俊	2	春2	3～	
今出川	I0307635		利益集団論		森 裕城	2	秋2	3～	
今出川	I0307638		政治行動論		飯田 健	2	秋2	3～	
今出川	I0307643		行政学		市川 喜崇	2	春2	3～	
今出川	I0307645		政策過程論		池田 峻	2	秋2	3～	
今出川	I0307646		地方政府論		市川 喜崇	2	春2	3～	
今出川	I0308303		社会保障法Ⅰ		坂井 岳夫	2	秋2	2～	
今出川	I0308304		社会保障法Ⅱ		坂井 岳夫	2	春2	3～	
今出川	I0308321	002	統治の原理Ⅰ	2	勝山 教子 田中 謙太 渡辺 暁彦	2	秋2	2～	
今出川	I0308322		統治の原理Ⅱ		沼本 祐太	2	春2	2～	
今出川	I0308341		行政法総論Ⅰ		佐伯 彰洋	2	春2	3～	
今出川	I0308342		行政法総論Ⅱ		佐伯 彰洋	2	秋2	3～	
今出川	I0308345		税法Ⅰ		倉見 智亮	2	春2	3～	
今出川	I0308346		税法Ⅱ		倉見 智亮	2	秋2	3～	
〔国際専修〕 2015年度以降生									
今出川	I2051301		CONTEMP ECON & BIZ		Marcelo FUKUSHIMA	2	秋2	2～	Introduction to Contemporary Economics and Business
今出川	I2051302		INTRO JPN ECONOMY		I-Chun CHEN	2	秋2	2～	Introduction to the Japanese Economy
今出川	I2051303		Macroeconomics		Colin DAVIS	2	春2	2～	Macroeconomics
今出川	I2051304		Microeconomics		Colin DAVIS	2	秋2	2～	Microeconomics
今出川	I2051305		INTRO TO FINANCE		Yukihiko NISHIMURA	2	春2	2～	Introduction to Finance
今出川	I2051306		INTRO BUSINESS ADMIN		Marc BREMER	2	秋2	2～	Introduction to Business Administration
今出川	I2051307		INTRO TO ACCOUNTING		Gustavo TANAKA	2	春2	2～	Introduction to Accounting
今出川	I2051308		SOC & ECON IN KYOTO		David ADEBAHR	2	春2	2～	Society and Economy in Kyoto
今出川	I2051309		CONSUMERS MARKET JPN		Tadashi YAGI	2	秋2	2～	Consumers and the Market in Japan
今出川	I2051310		ECOLOGY & ECONOMY		Yoshihiko WADA	2	秋2	2～	Ecology and Economy in Japan
今出川	I2051311		INDUSTRY & LABOR JPN		Diane HARING	2	秋2	2～	Industry and Labor in Japan
今出川	I2051312		CREATIVE INDUSTRIES		Nobuko KAWASHIMA	2	春2	2～	The Creative Industries in Contemporary Japan
今出川	I2051313		FINANCIAL SYSTEM JPN		Yukihiko NISHIMURA	2	秋2	2～	The Financial System in Japan
今出川	I2051314		FINANCIAL ACCOUNTING		Gustavo TANAKA	2	春2	2～	Financial Accounting in Japan
今出川	I2051315		INTRO TO MARKETING		Binh NGHIEM-PHU	2	秋2	2～	Introduction to Marketing
今出川	I2051316		JPN CORPORATIONS		Gustavo TANAKA	2	春2	2～	Japanese Corporations
今出川	I2051317		Economic Growth		Colin DAVIS	2	秋2	3～	Economic Growth
今出川	I2051318		INT' L ECONOMICS		Colin DAVIS	2	春2	3～	International Economics
今出川	I2051319		CORPORATE STRATEGY		Marc BREMER	2	秋2	3～	Corporate Strategy and Organization
今出川	I2051320		MNGMT ACCOUNTING JPN		Gustavo TANAKA	2	秋2	3～	Management Accounting in Japan
今出川	I2051321		INT' L MARKETING		Tsutomu HARADA	2	春2	3～	International Marketing
今出川	I2051322		INT' L BIZ COMMUNIC		Alex PINAR	2	春2	3～	International Business Communication
今出川	I2051323		INDUSTRY IN KYOTO		Hadas KUSHELEVICH	2	秋2	3～	Industry and Corporation in Kyoto
今出川	I2051324		ISSUES IN BIZ & ECON		Gustavo TANAKA	2	秋2	3～	Contemporary Issues in Business and Economics
今出川	I2051802	098	SPCL LECTURE SERIES	98	Hiroaki ISHII	2	春集中	2～	Special Lecture Series (A Field Course on Natural Resources and the Environment)

◆ I 2類 外国人留学生科目

日本語・日本文化教育科目 <日本語>

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考
	科目 コード	クラス コード							
	19205006		日本語 I (アカデミック・リーディング A VI)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (読解 A VI) 科目コード：19005006
	19205007		日本語 I (アカデミック・リーディング A VII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (読解 A VII) 科目コード：19005007
	19205008		日本語 I (アカデミック・リーディング A VIII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (読解 A VIII) 科目コード：19005008
	19205009		日本語 I (アカデミック・リーディング A IX)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (読解 A IX) 科目コード：19005009
	19205056		日本語 2 (アカデミック・リーディング A VI)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (読解 A VI) 科目コード：19005056
	19205057		日本語 2 (アカデミック・リーディング A VII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (読解 A VII) 科目コード：19005057
	19205058		日本語 2 (アカデミック・リーディング A VIII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (読解 A VIII) 科目コード：19005058
	19205059		日本語 2 (アカデミック・リーディング A IX)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (読解 A IX) 科目コード：19005059
	19205106		日本語 I (アカデミック・リーディング B VI)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (読解 B VI) 科目コード：19005106
	19205107		日本語 I (アカデミック・リーディング B VII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (読解 B VII) 科目コード：19005107
	19205108		日本語 I (アカデミック・リーディング B VIII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (読解 B VIII) 科目コード：19005108
	19205109		日本語 I (アカデミック・リーディング B IX)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (読解 B IX) 科目コード：19005109
	19205156		日本語 2 (アカデミック・リーディング B VI)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (読解 B VI) 科目コード：19005156
	19205157		日本語 2 (アカデミック・リーディング B VII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (読解 B VII) 科目コード：19005157
	19205158		日本語 2 (アカデミック・リーディング B VIII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (読解 B VIII) 科目コード：19005158
	19205159		日本語 2 (アカデミック・リーディング B IX)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (読解 B IX) 科目コード：19005159
	19205206		日本語 I (語彙 VI)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (語彙 VI) 科目コード：19005206
	19205207		日本語 I (語彙 VII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (語彙 VII) 科目コード：19005207
	19205208		日本語 I (語彙 VIII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (語彙 VIII) 科目コード：19005208
	19205209		日本語 I (語彙 IX)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (語彙 IX) 科目コード：19005209
	19205256		日本語 2 (語彙 VI)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (語彙 VI) 科目コード：19005256
	19205257		日本語 2 (語彙 VII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (語彙 VII) 科目コード：19005257
	19205258		日本語 2 (語彙 VIII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (語彙 VIII) 科目コード：19005258
	19205259		日本語 2 (語彙 IX)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (語彙 IX) 科目コード：19005259
	19205306		日本語 I (アカデミック・ライティング VI)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (文章表現 VI) 科目コード：19005306
	19205307		日本語 I (アカデミック・ライティング VII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (文章表現 VII) 科目コード：19005307
	19205308		日本語 I (アカデミック・ライティング VIII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (文章表現 VIII) 科目コード：19005308
	19205309		日本語 I (アカデミック・ライティング IX)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (文章表現 IX) 科目コード：19005309
	19205356		日本語 2 (アカデミック・ライティング VI)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (文章表現 VI) 科目コード：19005356
	19205357		日本語 2 (アカデミック・ライティング VII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (文章表現 VII) 科目コード：19005357
	19205358		日本語 2 (アカデミック・ライティング VIII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (文章表現 VIII) 科目コード：19005358
	19205359		日本語 2 (アカデミック・ライティング IX)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 2 (文章表現 IX) 科目コード：19005359
	19205406		日本語 I (オーラル・コミュニケーション A VI)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (口頭表現 A VI) 科目コード：19005406
	19205407		日本語 I (オーラル・コミュニケーション A VII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (口頭表現 A VII) 科目コード：19005407
	19205408		日本語 I (オーラル・コミュニケーション A VIII)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (口頭表現 A VIII) 科目コード：19005408
	19205409		日本語 I (オーラル・コミュニケーション A IX)			1		1~	【2023年度以前生】科目名：日本語 I (口頭表現 A IX) 科目コード：19005409



校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考
	科目 コード	クラス コード							
	19205456		日本語2 (オーラル・コミュニケーションAⅥ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語2 (口頭表現AⅥ) 科目コード：19005456
	19205457		日本語2 (オーラル・コミュニケーションAⅦ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語2 (口頭表現AⅦ) 科目コード：19005457
	19205458		日本語2 (オーラル・コミュニケーションAⅧ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語2 (口頭表現AⅧ) 科目コード：19005458
	19205459		日本語2 (オーラル・コミュニケーションAⅨ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語2 (口頭表現AⅨ) 科目コード：19005459
	19205506		日本語1 (オーラル・コミュニケーションBⅥ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語1 (口頭表現BⅥ) 科目コード：19005506
	19205507		日本語1 (オーラル・コミュニケーションBⅦ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語1 (口頭表現BⅦ) 科目コード：19005507
	19205508		日本語1 (オーラル・コミュニケーションBⅧ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語1 (口頭表現BⅧ) 科目コード：19005508
	19205509		日本語1 (オーラル・コミュニケーションBⅨ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語1 (口頭表現BⅨ) 科目コード：19005509
	19205556		日本語2 (オーラル・コミュニケーションBⅥ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語2 (口頭表現BⅥ) 科目コード：19005556
	19205557		日本語2 (オーラル・コミュニケーションBⅦ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語2 (口頭表現BⅦ) 科目コード：19005557
	19205558		日本語2 (オーラル・コミュニケーションBⅧ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語2 (口頭表現BⅧ) 科目コード：19005558
	19205559		日本語2 (オーラル・コミュニケーションBⅨ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語2 (口頭表現BⅨ) 科目コード：19005559
	19205606		日本語1 (文法Ⅵ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語1 (文法Ⅵ) 科目コード：19005606
	19205607		日本語1 (文法Ⅶ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語1 (文法Ⅶ) 科目コード：19005607
	19205608		日本語1 (文法Ⅷ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語1 (文法Ⅷ) 科目コード：19005608
	19205609		日本語1 (文法Ⅸ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語1 (文法Ⅸ) 科目コード：19005609
	19205656		日本語2 (文法Ⅵ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語2 (文法Ⅵ) 科目コード：19005656
	19205657		日本語2 (文法Ⅶ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語2 (文法Ⅶ) 科目コード：19005657
	19205658		日本語2 (文法Ⅷ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語2 (文法Ⅷ) 科目コード：19005658
	19205659		日本語2 (文法Ⅸ)			1		1～	【2023年度以前生】科目名：日本語2 (文法Ⅸ) 科目コード：19005659
	19205703		ビジネス日本語C			1		1～	【2023年度以前生】科目名：ビジネス日本語C 科目コード：19005703
	19205704		ビジネス日本語D			1		1～	【2023年度以前生】科目名：ビジネス日本語D 科目コード：19005704

※開講情報、登録方法については別冊「日本語・日本文化教育科目履修の手引き」を参照すること。

※日本語1、日本語2、ビジネス日本語C、ビジネス日本語Dから8単位を修得した場合は【10類外国語科目】の一つの外国語8単位に代えることができる。

### ◆ 12類 外国人留学生科目

日本語・日本文化教育科目 <日本事情><国際事情>

※日本語・日本文化教育科目のうち<日本事情><国際事情>科目は【9類教養科目】の単位に代えることができる。

※開講情報、登録方法については別冊「日本語・日本文化教育科目 履修の手引き」を参照すること。

### ◆ 自由科目

校地	登録コード		科目名	クラス	担当者	単位	期間 週時間	配当 年次	備考
	科目 コード	クラス コード							
京田辺	15010150	001~004	特別支援と福祉の教育	1~4		2		1～	2018年度以前生のみ履修可
今出川	15010150	051~056	特別支援と福祉の教育	51~56		2		1～	【2017年度以前生】科目コード：10952242

注：免許科目として有効である。自由科目のため、卒業単位に含まれないが、最高登録単位数には含まれる。GPAは算入されない。

## 第1章 総 則

第1条 本学は、教育基本法にのっとり、学校教育法の定める大学として、学術を教授研究し、あわせてキリスト教的教育の特色を発揮し、国家社会に有用な人物を養成することを目的とする。

第1条の2 本学は、教育研究水準の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、文部科学大臣の定めるところにより、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

- 2 点検及び評価に関する規程は、別に定める。
- 3 本学は、第1項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。
- 4 本学は、第1項及び前項に規定する点検及び評価の結果並びに認証評価の結果を公表するとともに、教育研究活動等について不断の見直しを行う。

第1条の3 本学は、教育研究活動等の状況について、適切な体制を整えた上で、刊行物への掲載、インターネットの利用その他広く周知を図ることができる方法によって、公表するものとする。

第2条 本学に、学部、大学院その他の教育研究組織を置く。

- 2 大学院に関する学則は、別にこれを定める。
- 第2条の2 本学は、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を各学部において学科毎に定め、別表Ⅱに記載する。

## 第2章 学 部

## 第1節 修業年限、学年、学期及び休業日

- 第3条 学部の修業年限は、4年とする。
- 2 在学年限は、8年を超えることができない。
- 第4条 削除
- 第5条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。
- 2 学年を次の2学期に分ける。

春学期 4月1日から9月20日まで

秋学期 9月21日から翌年3月31日まで

- 第6条 休業日は、次のとおりとする。
- (1) 日曜日
  - (2) 「国民の祝日に関する法律」に定める休日
  - (3) 創立記念日 11月29日
  - (4) キリスト降誕日 12月25日
  - (5) 夏期、冬期及び春期休業に関しては、別に定める。
- 2 前項に規定する休業日において、必要ある場合は授業を行うことがある。また休業日は、臨時に定めることができる。

## 第2節 学部学科等の組織

第7条 本学に、次の学部学科を置く。

神学部  
神学科  
文学部  
英文学科  
哲学科  
美学芸術学科  
文化史学科

国文学科  
社会学部  
社会学科  
社会福祉学科  
メディア学科  
産業関係学科  
教育文化学科  
法学部  
法律学科  
政治学科  
経済学部  
経済学科  
商学部  
商学科  
政策学部  
政策学科  
文化情報学部  
文化情報学科  
理工学部  
インテリジェント情報工学科  
情報システムデザイン学科  
電気工学科  
電子工学科  
機械システム工学科  
機械理工学科  
機能分子・生命化学科  
化学システム創成工学科  
環境システム学科  
数理システム学科  
生命医科学部  
医工学科  
医情報学科  
医生命システム学科  
スポーツ健康科学部  
スポーツ健康科学科  
心理学部  
心理学科  
グローバル・コミュニケーション学部  
グローバル・コミュニケーション学科  
グローバル地域文化学部  
グローバル地域文化学科

- 第7条の2 削除
- 第7条の3 本学にキリスト教文化センターを置く。
- 2 キリスト教文化センターに関する規程は、別に定める。
- 第7条の4 本学にハリス理化学研究所を置く。
- 2 ハリス理化学研究所に関する規程は、別に定める。
- 第7条の5 削除
- 第7条の6 本学に歴史資料館を置く。
- 2 歴史資料館に関する規程は、別に定める。
- 第7条の7 削除
- 第7条の8 本学に全学共通教養教育センターを置く。
- 2 全学共通教養教育センターに関する規程は、別に定める。

- 第7条の9 本学に国際教育インスティテュートを置く。
- 2 国際教育インスティテュートに関する規程は、別に定める。
- 第7条の10 本学に免許資格課程センターを置く。
- 2 免許資格課程センターに関する規程は、別に定める。
- 第7条の11 本学に学習支援・教育開発センターを置く。
- 2 学習支援・教育開発センターに関する規程は、別に定める。
- 第7条の12 削除
- 第7条の13 削除
- 第7条の14 本学に国際教養教育院を置く。
- 2 国際教養教育院に関する規程は、別に定める。

### 第3節 教育課程及び履修方法

- 第8条 各学部学科の教育課程は、各学部学科が学校教育法施行規則第165条の2第1項第1号及び第2号により定める方針に基づき編成し、履修方法とともに別表Ⅱにこれを定める。
- 第8条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
- 2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
- 3 本学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 第8条の3 本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。
- 第9条 学生は、所属学部学科の規定に従って、一定単位数の授業科目を履修しなければならない。
- 2 教育職員免許状を得るための資格及び司書、司書教諭、学芸員の資格を得たい者は、特に指定された授業科目を履修しなければならない。
- 3 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、次の基準による。
- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習、実技等については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 第1号に規定する授業の方法と前号に規定する授業の方法を併用する場合の単位数の基準は、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める。
- 4 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。
- 第9条の2 本学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が学部の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で認定することができる。
- 2 第27条の2により留学した大学において単位を修得した者には、前項により認定した単位と合わせて60単位を超えない範囲で認定することができる。

- 3 外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し修得した単位及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修し修得した単位を、前2項により認定した単位と合わせて60単位を超えない範囲で認定することができる。
- 第9条の3 本学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、学部教授会の定めるところにより単位を与えることができる。
- 2 前項の単位数は、前条第1項、第2項及び第3項と合わせて60単位を超えないものとする。
- 第9条の4 本学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が入学前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本学において修得したものとして認定することができる。
- 2 本学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が入学前に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、学部の定めるところにより単位を与えることができる。
- 3 前2項の単位数は、転入学及び編入学の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第9条の2第1項、第2項及び第3項並びに前条第1項により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 第9条の5 第8条の2第2項の授業の方法により修得する単位は、各学部における卒業に必要な単位数から64単位を除いた単位数を上限として、卒業に必要な単位とすることができる。
- 第9条の6 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示する。
- 2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行う。
- 第10条 削除

### 第4節 単位の授与及び成績評価

- 第11条 一の授業科目を履修した学生に対しては、試験その他の本学が定める適切な方法により学修の成果を評価して単位を与えるものとする。
- 第12条 削除
- 第13条 学修の成果に係る評価は、A、B、C、D及びFで評価し、D以上の成績を合格とする。ただし、学部の定めるところにより、特定の授業科目については学修の成果に係る評価を、合格又は不合格で評価することができる。
- 第14条 疾病その他やむを得ない事由により受験できなかった場合は、その授業科目の試験日の翌日から起算して3日以内に願い出れば、追試験を行うことがある。

## 第5節 卒業及び学位の授与

第15条 学部学科所定の教育課程に従って授業科目を履修し、所定の単位を修得した者に卒業の認定を行い、卒業した学部学科の種類により次の学士の学位を授与する。在学期間に関しては、学部の定めるところにより、所定の単位を優れた成績で修得したと認められる者については、3年以上在学すれば足りるものとする。

学士（神学、英文学、哲学、美学芸術学、文化史学、国文学、社会学、社会福祉学、メディア学、産業関係学、教育文化学、法学、政治学、経済学、商学、政策学、文化情報学、工学、理学、スポーツ健康科学、心理学、グローバル・コミュニケーション学、グローバル地域文化学、国際教養）

2 前項に規定する学位には、「学士（神学）（同志社大学）」のように明記することを必要とする。

## 第6節 収容定員及び教育研究実施組織

第16条 各学部の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部学科別	入学定員	編入学定員	収容定員
神学部	63名		252名
神学科	63名		252名
文学部	705名		2,820名
英文学科	315名		1,260名
哲学科	70名		280名
美学芸術学科	70名		280名
文化史学科	125名		500名
国文学科	125名		500名
社会学部	442名		1,768名
社会学科	90名		360名
社会福祉学科	98名		392名
メディア学科	88名		352名
産業関係学科	87名		348名
教育文化学科	79名		316名
法学部	893名		3,572名
法律学科	683名		2,732名
政治学科	210名		840名
経済学部	893名		3,572名
経済学科	893名		3,572名
商学部	893名		3,572名
商学科	893名		3,572名
政策学部	420名		1,680名
政策学科	420名		1,680名
文化情報学部	294名		1,176名
文化情報学科	294名		1,176名
理工学部	756名	20名	3,064名
インテリジェント情報工学科	83名	2名	336名
情報システムデザイン学科	83名	2名	336名
電気工学科	80名	2名	324名
電子工学科	86名	2名	348名
機械システム工学科	96名	2名	388名
エネルギー機械工学科	70名	2名	284名
機能分子・生命化学科	83名	2名	336名
化学システム創成工学科	83名	2名	336名
環境システム学科	51名	2名	208名
数理システム学科	41名	2名	168名
生命医科学部	265名		1,060名
医工学科	100名		400名
医情報学科	100名		400名
医生命システム学科	65名		260名
スポーツ健康科学部	221名		884名
スポーツ健康科学科	221名		884名
心理学部	158名		632名
心理学科	158名		632名
グローバル・コミュニケーション学部	158名		632名
グローバル・コミュニケーション学科	158名		632名
（うち、英語コース	85名		340名）
グローバル地域文化学部	190名		760名
グローバル地域文化学科	190名		760名
計	6,351名	20名	25,444名

第17条 本学に、教授、准教授、助教及び助手を置く。

2 本学に、特別任用教授、特別任用助教（有期研究員）及び特別任用助手（有期研究員）を置くことができる。

3 本学に、客員教授、客員准教授及び客員助教を置くことができる。

第17条の2 削除

第18条 本学に、学長を置く。

2 学長は、本学を代表するとともに、校務をつかさどり、教職員を統括する。

3 学長は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修等を実施する。

4 学長に関し必要な事項は、別に定める。

第18条の2 本学に、副学長を置く。

2 副学長に関し必要な事項は、別に定める。

第18条の3 本学に、学部長を置く。

2 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。

第18条の4 本学に、機構長、部長、所長、館長、室長、別科長等を置く。

第18条の5 本学に、学長補佐を置くことができる。

2 学長補佐に関し必要な事項は、別に定める。

第18条の6 本学に、その事務を遂行するため、職員を置く。

2 事務組織に関する規程は、別に定める。

第19条 本学の各学部にて教授会を置く。

2 教授会は、学部に関する次の事項を審議する。

(1) 学生の入学、退学、休学、卒業等に関する事項及び学位の授与に関する事項

(2) 教育課程に関する事項

(3) 教員の人事に関する事項

(4) 学則、学部諸規程に関する事項

(5) その他、学部長がつかさどる教育研究に関する事項

3 教授会は、学長から諮問された事項について審議する。

4 教授会は、学生の入学、卒業及び学位の授与、その他教育研究に関する重要な事項で教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるものについて、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

5 教授会の組織及び運営に関する事項は、各学部教授会において定める。

第19条の2 本学に部長会を置く。

2 大学及び各学部に通ずる重要事項は、部長会で審議する。

3 部長会に関する規定は、別に定める。

第19条の3 本学に大学評議会を置く。

2 大学評議会は、本学の中長期的方針に関わる事項を審議し、その達成状況を検証する。

3 大学評議会に関する規則は、別に定める。

第19条の4 本学に大学教授会を置く。

2 大学教授会は、大学の重要な事項に関し学長の諮問に応じる。

## 第7節 入学、転入学、編入学、休学、留学、退学、除籍及び再入学

第20条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、学部が必要とする時には、入学の時期を学期の始めとすることができる。

第21条 学部第1年次に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当しなければならない。

(1) 高等学校卒業生

(2) 中等教育学校卒業生

(3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）

(4) 高等学校に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本学の定める分野において特に優れた資質を有すると認められたもの

(5) 大学への入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として、学校教育法施行規則第150条に規定された者

第22条 前条の資格を有する入学志願者について、各学部が学校教育法施行規則第165条の2第1項第3号により定める方針に基づき、高等学校卒業程度の入学試験を行い、入学を許可する。

第23条 学部第2年次及び第3年次では、第2項又は第3項の各号のいずれかに該当する入学志願者について選考を行い、転入学又は編入学を許可することがある。

2 第3年次に転入学又は第2年次若しくは第3年次に編入学することができる者は、次のとおりとする。

(1) 大学第2年次修了者

(2) 短期大学卒業生

(3) 高等専門学校卒業生

(4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）

(5) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として、学校教育法施行規則第155条第2項又は同第177条に規定された者並びに文部省令第1号により大学への編入学を認められた者

(6) 高等学校の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）

3 第2年次に転入学することができる者は、次のとおりとする。

(1) 大学第1年次修了者

(2) 外国の大学において前号に準じる課程を修了した者

4 第3年次に転入学又は編入学することを許可された転入学学生及び編入学学生の修業年限は2年とし、在学年限は6年を超えることができない。

5 第2年次に転入学又は編入学することを許可された転入学学生及び編入学学生の修業年限は3年とし、在学年限は7年を超えることができない。

第24条 入学志願者は、指定期日までに所定の書類を提出し、別表Ⅰの5に定める入学検定料を納入しなければならない。

2 災害等の特別な事情により入学検定料の納入が困難であると認められる入学志願者には、申請に基づき、入学検定料を免除することがある。

3 前項の入学検定料の免除の詳細は、別に定める。

第25条 入学許可を得た者は、指定期日までに所定の書類を提出し、定められた学費を納入しなければならない。

2 本学の複数の学部・学科・コース（以下「学部等」という。）の入学許可を得て、一方の学部等の学費を納入した者が、もう一方の学部等へ入学を希望する場合は、申請に基づき、既に納入した学費を、もう一方の学部等の学費に振替を認めることがある。

3 前項の振替の詳細は、別に定める。

第26条 連帯保証人は1名とし、父又は母（父母のいない者は、これにかわる親戚等）とする。

2 連帯保証人は、その学生の在籍中、本学学費及び本学に損害を与えた場合の損害賠償等の債務につき、極度額の範囲において連帯保証しなければならない。極度額は別表Ⅰに定める学費1年分とする。

3 連帯保証人が転籍、転居等をしたときは、その旨直ちに届け出なければならない。

4 連帯保証人が死亡したとき、又はその資格を失ったときは、あらたに連帯保証人を定めて、届け出なければならない。

第27条 学生が疾病その他やむを得ない事由により、休学しようとするときは、連帯保証人連署のうえ、春学期又は秋学期授業開始日までにその旨願ひ出て、許可を得なければならない。

2 休学期間は、1年又は半年とする。

3 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。

4 休学期間は、第3条並びに第23条第4項及び第5項に定める修業年限、在学年限には算入しない。

第27条の2 学生は、在学中当該学部教授会が本人の教育上有益と認め、学長が承認した場合に限り、本学の認定する外国の大学に留学することができる。

2 留学の期間は、第3条並びに第23条第4項及び第5項に定める修業年限及び在学年限に算入できる。

3 留学の取扱いについては、別にこれを定める。

第28条 学生が、疾病その他やむを得ない事由により、退学しようとするときは、連帯保証人連署のうえ、その旨願ひ出なければならない。

第29条 学長は学力劣等にして成業見込みなしと認める者、又は出席常でない者を、当該学部教授会の審議を経て、論旨退学させることがある。

第30条 学長は品行不良の者、学業怠慢の者、学校の秩序を乱した者、その他学生としての本分に反した者で、当該学部教授会において懲戒の対象となりうると認められたときには、けん責、停学又は退学に処することができる。

2 前項の懲戒に関する規程は、別に定める。

第30条の2 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。ただし、第1号については、春学期末卒業予定者は春学期末、それ以外の者は該当学年末（秋学期入学者は春学期末）、また第2号並びに第3号については、該当学期末に除籍する。

(1) 学費の納入を怠り、督促を受けても納入しない者

(2) 在学期間が第3条第2項並びに第23条第4項及び第5項に規定する在学年限を超える者

(3) 学費未納で履修科目の登録をしていない者

第30条の3 退学者及び前条第1項第1号又は第3号により除籍

された者が、連帯保証人連署のうえ、再入学を願ひ出た場合は、それを許可することがある。

なお、除籍された者が再入学を願ひ出る場合は、事前に未納学費を完納しなければならない。

第30条の4 再入学許可を得た者は、指定期日までに所定の書類を提出し、定められた学費を納入しなければならない。

## 第8節 科目等履修生、聴講生及び外国人留学生

第31条 各学部等に設置する一又は複数の授業科目を履修し単位を修得しようとする者があるときは、相当の資格があると認められた者につき、科目等履修生とすることができる。

2 科目等履修生のうち、他の大学の学生で、協定に基づき本学の授業科目を履修する者については、交流学生又は単位互換履修生として受け入れることができる。

第32条 科目等履修生が履修した授業科目について試験その他の本学が定める適切な方法により学修の成果に係る評価を受け合格したときは、所定の単位を与える。

2 前項に定めるもののほか、科目等履修生に関する内規は、別に定める。

第33条 削除

第34条 削除

第35条 各学部等に設置する一又は複数の授業科目を聴講しようとする者があるときは、相当の資格があると認められた者につき、聴講生とすることができる。

第36条 聴講生に関する内規は、別に定める。

第36条の2 外国人留学生に関する内規は、別に定める。

## 第9節 学 費

第37条 在学生の学費は、春学期及び秋学期の学年暦に定める日までに納入しなければならない。ただし、春学期の学費を納入するときに、当該年度の秋学期の学費も納入することができる。

2 外国人留学生（特別学生）研修料は、春学期及び秋学期の学年暦に定める日までに納入しなければならない。

3 履修料及び聴講料は、所定の期間内に納入しなければならない。

第38条 学費は、入学金、授業料（履修料、聴講料、研修料を含む。）、教育充実費、特別在籍料及び休学在籍料とし、その額は、別表Ⅰから別表Ⅰの4にこれを定める。

2 協定に基づくダブルディグリープログラムにより、本学から1学期間以上留学する者は、特別在籍料を納入するものとし、入学金を除く他の学費の納入を要しない。

3 休学を許可された者は、休学在籍料を納入するものとし、入学金を除く他の学費の納入を要しない。

4 第31条第2項に定める、協定に基づき本学の授業科目を履修するため、他の大学から受け入れた交流学生及び単位互換履修生の学費については、当該大学との協定に基づき設定する。

5 いったん納入した学費は、返還しない。ただし、入学許可を得た者で、入学日の前日までに入学手続の取消しを願ひ出たものについては、入学金又はこれに相当する金額を除く学費を返還することがある。

6 履修科目の登録に際して実験実習料を要する科目及びその実験実習料については、別に定める。

7 退学者又は除籍された者については、別に定める場合を除き、

当該学期の学費を徴収する。

- 8 第30条第1項に基づく停学処に処せられた者については、その期間中も学費を徴収する。

第39条 やむを得ない事情があると認められる場合は、申請に基づき、学費（特別在籍料及び休学在籍料を除く。）を延納又は分納することができる。

- 2 前項の学費の延納又は分納の詳細は、別に定める。

第39条の2 本学は、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、授業料及び入学金の減免を行う。

- 2 前項の授業料及び入学金の減免の詳細は、別に定める。

第39条の3 災害等の特別な事情により学費の納入が困難であると認められる者には、申請に基づき、学費の一部を免除することができる。

- 2 前項の学費の一部免除の詳細は、別に定める。

### 第3章 附属施設

第40条 図書館を設け、図書、学術雑誌、電磁的方法により提供される学術情報等を系統的に整備し、教育研究を促進する。

- 2 大学には学部研究室、実験室、研究所等を設ける。

第41条 寄宿舎を設け、一部学生を入舎させる。

第42条 学生支援機構保健センターを設け、教職員及び学生の保健医療に当る。

#### 附 則

- 1 この学則は、2005年4月1日から施行する。

- 2 第27条第3項の規定は、1989年度入学生から適用する。

- 3 第9条に規定する教育職員免許状を得るための資格（高等学校地理歴史・公民科）については、1990年度入学生から適用する。

- 4 第7条、第16条は、知識工学科設置、機械工学科、機械工学第二学科の機械システム工学科、エネルギー機械工学科への名称変更及び工業化学科、化学工学科の機能分子工学科、物質化学工学科への改組転換により1994年4月1日から改正施行する。

- 5 第7条は、学部第2部を1997年度入学生から学生募集停止及び文学部第1部、法学部第1部、経済学部第1部、商学部第1部の文学部、法学部、経済学部、商学部への名称変更により1997年4月1日から改正施行する。

第16条は、文学部英文学科、文化学科国文学専攻、法学部法律学科、政治学科、経済学部、商学部へ昼間主コース、夜間主コースを設置。これにともなう学部、学科の収容定員増加変更により1997年4月1日から改正施行する。

なお、各学部の第2部は、当該学部の第2部に在学する者がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。（1997年4月1日改正）

- 6 第7条、第16条は、神学部に神学科、経済学部へ経済学科、商学部へ商学科の学科名明示により、1999年4月1日から改正施行する。（1999年4月1日改正）

- 7 第7条、第16条は、文学部社会学科新聞学専攻のメディア学専攻への名称変更、政策学部政策学科、工学部情報システムデザイン学科及び環境システム学科の設置により2004年4月1日から改正施行する。（2004年4月1日改正）

- 8 第7条は、文学部の改組・再編による文化学科、社会学科及び各学科内の専攻の廃止、それに伴う文学部哲学科、心理学科、

美学芸術学科、文化史学科、国文学科及び社会学部社会学科、社会福祉学科、メディア学科、産業関係学科、教育文化学科の設置並びに文化情報学部文化情報学科の設置により2005年4月1日から改正施行する。

第16条は、文学部の改組・再編に伴う学部・学科の設置及び文化情報学部の設置並びに法学部及び経済学部の昼間主コース、夜間主コースの廃止により2005年4月1日から改正施行する。

なお、廃止する文化学科及び社会学科の各専攻並びに法学部及び経済学部の昼間主コース及び夜間主コースは、2005年度より学生募集を停止する。ただし、各学科・専攻及びコースは、当該学科・専攻及びコースに在学する者がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。（2005年4月1日改正）

- 9 第13条に規定する試験の成績評価は、2004年度第1年次入学生から適用し、2003年度以前の入学生については、従前の規程による。

- 10 第15条に規定する学位は、2005年度第1年次入学生から適用し、2004年度以前の入学生については、従前の規程による。

- 11 第30条の3に規定する再入学は、2004年度第1年次入学生から適用する。

- 12 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2005年度第1年次入学生から適用し、2004年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。

- 13 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2005年度入学生に適用する。2004年度以前の入学生については、従前の学費による。

- 14 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、休学在籍料については、2003年度以降在学の学生に適用する。ただし、2002年度以前の入学生のうち、従前の学費による休学中の学費が休学在籍料を下回る場合は、その額とする。

#### 附 則

- 1 この学則は、2006年4月1日から施行する。

- 2 第7条及び第16条は、工学部知識工学科の名称変更により、改正・施行する。なお、知識工学科は、2006年度より学生募集を停止する。ただし、当該学科は、当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規定は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2006年度第1年次入学生から適用し、2005年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。

- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2006年度入学生に適用する。2005年度以前の入学生については、従前の学費による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2007年4月1日から施行する。

- 2 第16条は、文学部英文学科及び国文学科の昼間主コース、夜間主コースの廃止により、改正・施行する。なお、文学部英文学科及び国文学科の昼間主コース及び夜間主コースは、2007年度より学生募集を停止する。ただし、当該コースは、当該コースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2007年度第1年次

入学生から適用し、2006年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。

- 4 第38条第1項の別表Iに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2007年度入学生に適用する。2006年度以前の入学生については、従前の学費による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2008年4月1日から施行する。
- 2 第7条は、理工学部数理システム学科、生命医科学部医工学科、医情報学科、医生命システム学科及びスポーツ健康科学部スポーツ健康科学科の設置並びに工学部、機能分子工学科及び物質化学工学科の理工学部、機能分子・生命化学科及び化学システム創成工学科への名称変更により、改正・施行する。

第16条は、政策学部政策学科の昼間主コース及び夜間主コースの廃止、理工学部数理システム学科、生命医科学部及びスポーツ健康科学部の設置並びにこれにともなう学部・学科の収容定員変更及び工学部、機能分子工学科及び物質化学工学科の理工学部、機能分子・生命化学科及び化学システム創成工学科への名称変更により改正・施行する。

なお、政策学部政策学科の昼間主コース及び夜間主コース並びに工学部は、2008年度より学生募集を停止する。ただし、各学部・学科及びコースは、当該学部・学科及びコースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表IIの各学部教育課程表は、2008年度第1年次入学生から適用し、2007年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。
- 4 第38条第1項の別表Iに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2008年度入学生に適用する。2007年度以前の入学生については、従前の学費による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2009年4月1日から施行する。
- 2 第7条は、心理学部心理学科の設置及びそれにとりなう文学部心理学科の廃止により、改正・施行する。

第16条は、心理学部心理学科の設置及びそれにとりなう文学部心理学科の廃止並びに学部・学科の収容定員変更により改正・施行する。

なお、文学部心理学科は、2009年度より学生募集を停止する。ただし、文学部心理学科は、当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表IIの各学部教育課程表は、2009年度第1年次入学生から適用し、2008年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。
- 4 第38条第1項の別表Iに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2009年度入学生に適用する。2008年度以前の入学生については、従前の学費による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2010年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表IIの各学部教育課程表は、2010年度第1年次入学生から適用し、2009年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。

- 3 第38条第1項の別表Iに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2010年度入学生に適用する。2009年度以前の入学生については、従前の学費による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2011年4月1日から施行する。
- 2 第7条及び第16条は、グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科の設置により、改正・施行する。
- 3 第8条の別表IIの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2011年度第1年次入学生から適用し、2010年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2012年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表IIの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2012年度第1年次入学生から適用し、2011年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2013年4月1日から施行する。
- 2 第7条は、グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科の設置により、改正・施行する。

第16条は、学部・学科の収容定員変更、商学部商学科の昼間主コース及び夜間主コースの廃止並びにグローバル地域文化学部グローバル地域文化学科の設置により、改正・施行する。

なお、商学部商学科の昼間主コース及び夜間主コースは、2013年度より学生募集を停止する。ただし、当該コースは、当該コースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表IIの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2013年度第1年次入学生から適用し、2012年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表IIの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2014年度第1年次入学生から適用し、2013年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2015年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表IIの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2015年度第1年次入学生から適用し、2014年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Iに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2015年度入学生に適用する。2014年度以前の入学生については、従前の学費による。



#### 附 則

- 1 この学則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 留学生別科は、2016年度より学生募集を停止する。ただし、当該組織に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。
- 3 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2016年度第1年次入学生から適用し、2015年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課定表による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2016年度入学生に適用する。2015年度以前の入学生については、従前の学費による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2017年度第1年次入学生から適用し、2016年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2017年度入学生に適用する。2016年度以前の入学生については、従前の学費による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2018年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2018年度第1年次入学生から適用し、2017年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2018年度入学生に適用する。2017年度以前の入学生については、従前の学費による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2019年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2019年度第1年次入学生から適用し、2018年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2019年度入学生に適用する。2018年度以前の入学生については、従前の学費による。  
なお、再入学生の入学金に関する規定のただし書きについては、2020年4月1日以降に再入学する学生に適用する。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、特別在籍料については、2019年4月1日以降に派遣を決定する学生に適用する。

#### 附 則

- 1 この学則は、2020年4月1日から施行する。
- 2 第7条及び第16条は、理工学部エネルギー機械工学科の名称変更により改正・施行する。  
なお、理工学部エネルギー機械工学科は、2020年度より学生募集を停止する。ただし、当該学科は、当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する

規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2020年度第1年次入学生から適用し、2019年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2020年度入学生に適用する。2019年度以前の入学生については、従前の学費による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2021年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2021年度第1年次入学生から適用し、2020年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2022年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2022年度第1年次入学生から適用し、2021年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第26条に規定する連帯保証人は、2022年度第1年次入学生から適用し、2021年度以前の入学生については、従前の規程による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2023年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2023年度第1年次入学生から適用し、2022年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第26条第2項に規定する極度額は、2023年度第1年次入学生から適用する。2022年度の入学生については、従前の規定による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料及び教育充実費については、2023年度入学生に適用する。2022年度以前の入学生については、従前の学費による。

#### 附 則

- 1 この学則は、2024年4月1日から施行する。
- 2 第7条の14は、国際教養教育院の設置並びにこれに伴う第7条の7に定める日本語・日本文化教育センター及び第7条の12に定めるグローバル教育センターの廃止により、改正・施行する。なお、日本語・日本文化教育センター及びグローバル教育センターは、2024年度より学生の新規受入れを停止する。ただし、日本語・日本文化教育センター及びグローバル教育センターは、当該センターに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。
- 3 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2024年度第1年次入学生から適用し、2023年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料及び教育充実費については、2024年度入学生に適用する。2023年度以前の入学生については、従前の学費による。

## 附 則

- この学則は、2025年4月1日から施行する。
- 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2025年度第1年次入学生から適用し、2024年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

- 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料及び教育充実費については、2025年度入学生に適用する。2024年度以前の入学生については、従前の学費による。

## 別表Ⅰ 学 費

### 入学金、授業料及び教育充実費

(年額)

		入 学 金	授 業 料	教 育 充 実 費
神 学 部 文 学 部 社 会 学 部 法 学 部 経 済 学 部 商 学 部 政 策 学 部 グローバル地域文化学部	第1年次	200,000円	783,000円	165,000円
	第2年次		983,000円	165,000円
	第3年次		983,000円	165,000円
	第4年次		983,000円	165,000円
文化情報学部	第1年次	200,000円	895,000円	178,000円
	第2年次		1,095,000円	178,000円
	第3年次		1,095,000円	178,000円
	第4年次		1,095,000円	178,000円
理 工 学 部 (数理システム 学科を除く) 生命医科学部	第1年次	200,000円	1,292,000円	249,000円
	第2年次		1,492,000円	249,000円
	第3年次		1,492,000円	249,000円
	第4年次		1,492,000円	249,000円
理 工 学 部 (数理システム 学科)	第1年次	200,000円	1,215,000円	249,000円
	第2年次		1,415,000円	249,000円
	第3年次		1,415,000円	249,000円
	第4年次		1,415,000円	249,000円
ス ポ ー ツ 健 康 科 学 部	第1年次	200,000円	928,000円	178,000円
	第2年次		1,128,000円	178,000円
	第3年次		1,128,000円	178,000円
	第4年次		1,128,000円	178,000円
心 理 学 部	第1年次	200,000円	946,000円	186,000円
	第2年次		1,146,000円	186,000円
	第3年次		1,146,000円	186,000円
	第4年次		1,146,000円	186,000円
グ ローバル・ コ ミュニケー シ ョ ン 学 部	第1年次	200,000円	896,000円	186,000円
	第2年次		1,096,000円	186,000円
	第3年次		1,096,000円	186,000円
	第4年次		1,096,000円	186,000円

- 授業料及び教育充実費については、各々2分の1を春学期学費及び秋学期学費とする。
- 4年を超えて在籍した場合(再修生)の学費は、第4年次の学費を適用する。
- 転入学生及び編入学生の入学金は、200,000円とし、授業料及び教育充実費は、転入学又は編入学を許可された年次に在籍する学生と同額とする。ただし、本学卒業生に限り、入学金は2分の1とする。
- 再入学生の入学金は、100,000円とし、授業料及び教育充実費は、再入学を許可された年次に在籍する学生と同額とする。ただし、学費未納により学年末をもって除籍された者が翌年度4月30日までに再入学手続をする場合及び春学期末をもって除籍された者が次の秋学期10月31日までに再入学手続をする場合の入学金は、50,000円とする。

ダブルディグリープログラム による留学期間	特別在籍料
1年	300,000円
1学期	150,000円

### 休学在籍料

休学期間	休学在籍料
1年	120,000円
半年	60,000円

- 母国における兵役義務による休学が認められた者は、休学在籍料の納入を要しない。

## 別表 I の 2 履修料

履修登録料	全 学 部	25,000円
履 修 料 (1単位につき)	神、文、社会、法、経済、商、 政策、グローバル地域文化学部	22,000円
	文化情報、スポーツ健康科学部	23,000円
	理工、生命医科学部	31,000円
	心理、グローバル・コミュニケーション学部	25,000円

- (1) 履修料の総額が当該年度の第1年次の「授業料及び教育充実費の合計額」を超える場合は、その額にとどめる。
- (2) 本学出身者及び前年度から継続の履修生の履修登録料は、2分の1とする。
- (3) 学期をまたがって履修する場合、履修登録料は、重複して徴収しない。
- (4) 複数の学部併願する場合、履修登録料は、重複して徴収しない。

## 別表 I の 3 聴講料

聴講登録料	全 学 部	25,000円
聴 講 料 (1単位につき)	神、文、社会、法、経済、商、 政策、グローバル地域文化学部	15,000円
	文化情報、スポーツ健康科学部	15,000円
	理工、生命医科学部	21,000円
	心理、グローバル・コミュニケーション学部	17,000円

- (1) 聴講料の総額が当該年度の第1年次の「授業料及び教育充実費の合計額」を超える場合は、その額にとどめる。
- (2) 本学出身者及び前年度から継続の聴講生の聴講登録料は、2分の1とする。
- (3) 学期をまたがって聴講する場合、聴講登録料は、重複して徴収しない。
- (4) 複数の学部併願する場合、聴講登録料は、重複して徴収しない。

## 別表 I の 4 外国人留学生（特別学生）入学金及び研修料

	入 学 金	研 修 料 (年額)	研 修 料 (年度内の在学期間が 7月以内の場合)
神学部 文学部 社会学部 法学部 経済学部 商学部 政策学部 グローバル地域文化学部	25,000円	440,000円	220,000円
文化情報学部 スポーツ健康科学部	25,000円	460,000円	230,000円
理工学部 生命医科学部	25,000円	620,000円	310,000円
心理学部 グローバル・コミュニケーション学部	25,000円	500,000円	250,000円
国際教養教育院	25,000円	666,000円	333,500円

- (1) 研修料については、2分の1を春学期学費及び秋学期学費とする。
- (2) 特別学生が正規課程に進学した場合、正規課程の入学金は特別学生時の入学金相当額を差し引いた額とする。
- (3) 期間延長者（同志社大学外国人留学生内規第4条第2項該当者）については、重複して入学金を徴収しない。また、研修料は入学年度の額を適用する。
- (4) 秋学期入学者の学費については、入学年度の春学期入学者の学費を適用する。
- (5) 特別学生が、年度内に20単位（国際教養教育院は、30単位）を超えて学科目登録をする場合は、超過する分1単位につき上記入学金及び研修料のほかに、学部授業科目を登録するときは学則別表Iの2に定める履修料相当額を、ビジネス研究科ビジネス専攻を除く大学院授業科目を登録するときは大学院学則別表Iの2に定める履修料相当額を、ビジネス研究科ビジネス専攻授業科目を登録するときは専門職大学院学則別表Iの2に定める履修料相当額を、国際教養教育院科目を登録するときは学則別表Iの2に定める神、文、社会、法、経済、商、政策、グローバル地域文化学部の履修料相当額を研修料として納入すること。
- (6) 研修料の総額が当該年度の第1年次の授業料を超える場合は、その額にとどめる。

(7) 外国の大学の教育計画で在学する特別学生又は本学と特定の外国の大学との協定により在学する特別学生その他特別の事情のある場合は、部長会の審議を経てこの学費を適用しないときがある。

### 別表Ⅰの５ 入学検定料

区 分		金 額	
一般選抜入学試験 推薦入学試験 転入学試験 編入学試験		35,000円	
大学入学共通テストを利用する 入学試験	個別学力検査を課す場合	25,000円	
	個別学力検査を課さない場合	15,000円	
アドミッションズオフィスによる入学者選抜		第1次審査	25,000円
		第2次審査	10,000円
推薦選抜入学試験 自己推薦入学試験 その他特別入学試験		35,000円	
推薦選抜入学試験における二段階選考 自己推薦入学試験における二段階選考 その他特別入学試験における二段階選考		第1次選考	10,000円
		第2次選考	25,000円
外国人留学生入学試験 その他外国人留学生特別入学試験 外国人留学生転入学試験 外国人留学生編入学試験		書類選考および学部独自試験を課す場合	15,000円
		書類選考のみの場合	10,000円
グローバル・コミュニケーション学部 (日本語コース) 入学試験		書類選考および学部独自試験を課す場合	15,000円
		書類選考のみの場合	10,000円
国際教育インスティテュート（国際教養コース）入学試験		15,000円	

### 別表Ⅱ 各学部人材養成目的及び教育課程表（省略）

# 学 部 一 般 内 規

(2024 年 4 月 1 日改正)

## 学 年 暦

別に定める「学年暦」は、年間の行事を示し特別の通知・掲示がない限り、このとおり行われる。行事の詳細については、その都度指示する。

## 学 籍 番 号

- 1 学生には、入学と同時に学籍番号が付与され、在学する期間を通じて変わらない。
- 2 第2年次転入学生及び編入学生には、第2年次生の入学年度を冠した学籍番号が付与される。
- 3 第3年次転入学生及び編入学生には、第3年次生の入学年度を冠した学籍番号が付与される。
- 4 再入学生には、再入学を許可された年次に該当する入学年度を冠した学籍番号が付与される。

## 学 生 証

- 1 学生証は、本学の学生であることを証明するもので、常に携帯しなければならない。
- 2 学生証は、卒業、退学及び除籍の場合は、直ちに返納しなければならない。
- 3 学生証を紛失したときは、直ちに届け出て再交付を受けなければならない。ただし、別に定める手数料を納入することを要する。
- 4 学生証は、他人に貸与又は譲渡してはならない。

## 履 修 科 目 の 登 録

- 1 履修する科目は、学年暦に定められた期間に登録しなければならない。ただし、在学留学が認められた場合は、これによらないことがある。
- 2 合格となった科目は、再度登録履修することはできない。
- 3 各年次で登録履修できる単位数は、春学期及び秋学期合計50単位に満たない範囲において学部の定めるところによる。
- 4 前項の規定にかかわらず、転入学生及び編入学生の登録履修できる最高単位数は、学部の定めるところによる。

## 成 績 評 価

- 1 成績評価は、学年暦に定められた期間に実施される期末試験、期末試験以外の評価に基づき、多面的に行われる。
- 2 成績は、成績原簿に記録される。
- 3 不合格となった科目を再履修し、合格となった場合は、直近の不合格の評価のみ変更される。

## 期 末 試 験

- 1 受験上の注意
  - (1) 学費未納のままでは受験できない。
  - (2) 未登録の授業科目は、受験できない。
  - (3) 授業日数の3分の2以上の出席がない場合は、科目担当者の判断によって、受験資格を取り消すことがある。
  - (4) 試験には、必ず学生証を持参しなければならない。
  - (5) 試験に15分以上遅刻した者は、受験を許さない。また、試験開始後30分経過するまでは退室できない。
  - (6) 試験にかかる不正行為があつて、当該学部教授会がそれを認定した場合は、その試験が実施された学期中の全科目を不合格とし、これを公表する。ただし、当該学部が定める科目については除く。
  - (7) その他試験に関する注意事項等は別に定める。
  - (8) 上記(1)から(7)の注意事項は期末試験以外の評価に適用することがある。

## 2 追 試 験

- (1) 病気又はやむを得ない事由のために、期末試験又は学部教授会が認める期末試験以外の評価を受けることができなかった者に追試験を行うことがある。やむを得ない事由は別に定める。
- (2) 受験希望者は、追試験願を、当該科目試験日の翌日から起算して3日以内に提出しなければならない。ただし、課外活動のため受験できない場合、追試験願は事前に提出し承認を受けなければならない。
- (3) 追試験願には、当該試験を受験できなかった事由を証明する書類を添付しなければならない。必要な証明書類は別に定める。
- (4) 追試験ごとに1,000円の追試験料を納入しなければならない。

## 届 書 ・ 願 書

届書及び願書には、次のようなものがある。

### 1 届 書

- (1) 欠 席 届 授業科目担当者名明記、理由書（診断書等）添付のこと。
- (2) 改 姓(名)届 戸籍抄本添付のこと。
- (3) 性 別 変 更 届 戸籍抄本添付のこと。
- (4) 住 所 変 更 届
- (5) 連 帯 保 証 人 変 更 届 新旧連帯保証人併記のこと。

### 2 願 書

- (1) 休 学 願 理由記載、適宜証明書類添付のこと。
- (2) 退 学 願 理由記載のこと。
- (3) 再 入 学 願 理由記載のこと。
- (4) 通称名使用願 診断書添付のこと。

- (5) 旧姓名使用願 戸籍抄本等、旧姓名を確認できる証明書類添付のこと。
- (6) 在学留学願 留学する大学の入学許可書添付のこと。
- (7) 転学部・転学科願 理由記載のこと。
- (8) 追試験願 理由及び受験科目名記載のこと。

以上の各種届書及び願書は、所定様式により提出する。必要によっては、当該学部教授会の審議を経て処理される。

教室使用願、物品使用願等は、願い出責任者を明記のうえ、教育支援機構教務部に提出すること。

## 再入学

- 1 退学日又は除籍日から5年以内は、当該学部教授会の審議を経て、再入学を許可する。5年を経過したときは、試験のうえ、教授会の判定によって再入学を許可する。
- 2 再入学の時期は、学期の始めとする。
- 3 再入学を許可する学部・学科等は、退学又は除籍時の学部・学科等とする。ただし、退学又は除籍時の学部・学科等が存在しない場合及び学生募集が停止されている場合は、当該学生の再入学願を審議する学部教授会は、学長が指定する。
- 4 再入学を許可する年次、修業年限及び在学年限は、再入学前に在籍していた期間により定める。
- 5 再入学生の教育課程は、再入学を許可された年次に在籍する学生と同様とする。

## 転学部・転学科

- 1 転学部及び転学科は、やむを得ない事情の生じた場合に限り、第2年次から第3年次に進むとき、関係学部教授会の審議を経て許可することがある。なお、学部教授会が特に必要と認めた場合は、第1年次から第2年次に進むときも当該学部内において転学科を許可することがある。
- 2 いったん転学部・転学科を許可した学生の再転学部・転学科は認めない。
- 3 転学部・転学科願書の受付期限は秋学期講義最終日とし、許可決定の時期は、当該年度の終わりとする。

## 学士入学

学士入学は、転入学・編入学試験を受けなければならない。ただし、本学卒業生は、同一学部学科への学士入学は認められない。

## 免許資格課程登録料

免許資格課程に登録する者は、次の各号の免許資格課程登録料を納入しなければならない。

- (1) 教職課程 30,000円
- (2) 博物館学芸員課程 10,000円
- (3) 図書館司書課程 10,000円

- 2 免許資格課程登録料の詳細は、別に定める。

## 教育実習費

教育実習に登録する者は、登録と同時に実習費を納めなければならない。

## 諸会費

本学が代理徴収を行う学会、父母会及び卒業生団体の諸会費は、所定の期日までに納入しなければならない。

## 定期健康診断

学生は、毎年、学期始めに行う定期健康診断を必ず受けなければならない。疾病その他やむを得ない理由によって定期健康診断を受けることができなかった者は、その理由のなくなった後、速やかに受けなければならない。

## 附則

この内規は、2024年4月1日から施行する。

## 外国留学に関する諸規程

### 外国の大学に留学する学生の取扱いに関する内規

#### (設置)

第1条 本学の学部又は大学院の学生が、本学の教育課程の一環として学則第27条の2、大学院学則第20条の2、専門職大学院学則第29条又は法科大学院学則第15条により留学する場合は、この内規の定めるところによる。

#### (教育機関の定義)

第2条 この内規にいう外国の大学とは、外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、又はこれに相当する教育機関をいう。

2 外国の大学の調査認定は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が行う。

#### (留学の定義)

第3条 この内規にいう留学とは、本学の許可を受けて外国の大学に在学し、科目を履修し、又は研究指導を受けることをいう。

#### (条件)

第4条 この内規の適用を受けて留学する学生は、次の要件を満たさなければならない。ただし、大学院学生には適用しない。

- (1) 本学に1年以上在学していること。
  - (2) 30単位以上修得していること。
- 2 前項第2号は、当該学部教授会の認める特別の事情がある場合には、適用しない。

#### (学籍)

第5条 この内規の適用を受けて留学する学生の本学学籍上の取扱いは、在学留学とし、休学としない。ただし、学生が休学を認められ、外国の大学で学修する場合は、この内規は適用しない。

#### (期間)

第6条 在学中に留学できる期間は、1年以内とする。在学留学期間の算定は、留学先大学の別にかかわらず、当該教育課程における在学留学期間の通算にて行う。

2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、1年間を限度として、在学留学期間の延長を許可する。

#### (履修)

第7条 留学する大学での履修については、留学前に留学する大学の授業科目を検討した上、当該学部又は研究科の指導を受けなければならない。

#### (学生納付金)

第8条 この内規の適用を受けて留学する学生は、留学中所定の学生納付金を納入しなければならない。

#### (手続)

第9条 外国の大学に留学する学生で、この内規の適用を希望する場合は、在学留学願を当該学部長又は研究科長を通じて学長に提出するものとする。

2 出発・帰国に際しては、留学出発・帰国届を当該学部長又は研究科長を経て、学長に提出しなければならない。

3 在学留学期間の延長を願う場合は、在学留学延長願を当該学部長又は研究科長を通じて、学長に提出するものとする。

#### (単位認定)

第10条 単位認定を受けようとする者は、帰国後速やかに、次に掲げる必要書類（留学した大学の発行するもの）を添付した取得単位認定願を、当該学部長又は研究科長に提出するものとする。

- (1) 成績証明書（時間数、単位数、科目名を明記したもの）
- (2) 指導教員又はこれに準ずる教員の所見を記したもの
- (3) 受講した科目の内容を説明した教授細目
- (4) 大学履修要項

2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会は、関係機関と協議の上審議し、留学した大学での取得単位を学則の定めるところにより認定することができる。

#### (帰国後の登録及び履修)

第11条 留学した学生の帰国直後の春学期又は秋学期における登録及び履修については、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が出国時までの履修状況等を勘案し、特別の措置を講ずることがある。なお、設置科目によっては関係機関との協議を必要とする。

#### (事務)

第12条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取り扱う。

#### (改廃)

第13条 この内規の改廃は、教務〔国際〕主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

#### 附 則

この内規は、2015年4月1日から施行する。

## 同志社大学外国協定大学派遣留学生に関する内規

### (目的)

第1条 この内規は、同志社大学外国協定大学派遣留学生制度を設け、本学の外国協定大学に学生を派遣し、もって本学建学の精神である国際主義を体得した学生を養成することを目的とする。

### (定義)

第2条 この制度による外国協定大学派遣留学生とは、本学と外国の大学との大学間協定に基づき、学長の推薦により、外国の大学に留学する学生をいう。

### (取扱い)

第3条 外国協定大学派遣留学生として留学をする場合は、この内規によるほか、「外国の大学に留学する学生の取扱いに関する内規」の定めるところによる。

### (出願条件)

第4条 外国協定大学派遣留学生として出願できる学生は、学力、人物共に優秀で本制度の趣旨をよく理解し、留学年度の4月1日現在、学部2年次生以上の者又は大学院に在学中の者とする。

### (義務)

第5条 外国協定大学派遣留学生として留学を希望する学生は、募集要項に定める出願書類を指定された期日までに提出しなければならない。

### (推薦方法)

第6条 外国協定大学派遣留学生は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の推薦に基づき、教務〔国際〕主任会議の審議を経て、学長が候補者を決定し、留学先大学に推薦する。

### (候補者の決定)

第7条 外国協定大学派遣留学生の最終決定は、留学先大学による当該留学生の受入れ決定に基づき、学長がこれを行う。

### (留学期間)

第8条 留学期間は、留学先大学の正規の1年以内とする。ただし、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、教務〔国際〕主任会議の審議を経て、学長が外国協定大学への在学留学期間の延長を認めることがある。

### (事務)

第9条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取り扱う。

### (改廃)

第10条 この内規の改廃は、教務〔国際〕主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

### 附 則

この内規は、2015年4月1日から施行する。



## 学業履修について

本学のカリキュラム（教育課程）は、各学部・学科の教育上の目的を達成するために、学部ごとに定められています。本学において卒業するためには、所定の単位を修得し、この課程を修めなければなりません。

各学部のカリキュラムに定める授業科目の登録・履修にあたっての詳細な説明・手続については、本要項および各学部ごとに作成されている『登録要領』を参照してください。なお、各授業科目の内容については『シラバス』を参照してください。

### 障がいのある学生への受講に対する配慮

身体、精神・発達等に障がいのある学生が、他の学生と等しい条件のもとで科目を受講できるよう、「合理的配慮」について検討します。

合理的配慮を希望される場合は、スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室（SDA室）までご相談ください。

### 単位制

単位制とは、各学部ごとに定められた授業科目を登録・履修し、試験に合格することによりそれぞれの授業科目の所定の単位を得、修業年限中に卒業に必要な単位数を修得していく制度です。

現在の我が国の大学制度は単位制度を基本としており、下記に記載している学則のとおり、1単位は、教室等での授業時間と準備学習や復習の時間を合わせて標準45時間の学修を要する教育内容をもって構成されています。授業だけでなく、準備学習や復習の時間の重要性をよく理解しておくようにしてください。

卒業必要単位数は学部によって異なるので、所属学部の欄を参照してください。学部授業科目の単位数の計算は、次の基準によります（学則第9条3項4項）。

3 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、次の基準による。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 実験、実習、実技等については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 第1号に規定する授業の方法と前号に規定する授業の方法を併用する場合の単位数の基準は、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める。

4 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。

また、本学では、文部科学省令である大学設置基準や文部科学省通知に基づき、同志社大学学則第9条の5において、多様なメディアを高度に利用して教室等以外の場所で履修させる授業（遠隔授業）により修得する単位は、各学部における卒業に必要な単位数から64単位を除いた単位数を上限として、卒業に必要な単位とすることができるものと定めています。シラバス等で表示される「学則第9条の5対象科目」の修得単位数の合計に留意して、履修計画を立てる必要があります（学則第9条の5）。

### 授業時間

本学における授業時間は1講時について90分とし、これを2時間と計算しています。例えば、「春学期・週2時間」とは、春学期期間中に90分の授業が週1回行われるということであり、「秋学期・週4時間」とは、秋学期期間中に90分の授業が週2回行われるということです。

講時	授業時間
1	9:00～10:30
2	10:45～12:15
3	13:10～14:40
4	14:55～16:25
5	16:40～18:10
6	18:25～19:55
7	20:10～21:40

### 休講

授業は、学年暦によって行われますが、担当者の公務、出張、学会、病気などによって休講となる場合もあります。休講に関する情報は本学学修支援システムDUET（以下DUETという）で確認することができます。急な休講や休講取消もありますので、DUETを適宜確認するようにしてください。なお、休講情報もなく、講義が始まらない場合は各キャンパスの教務センターへ申し出て、確かめるようにしてください。

### 補講

補講に関する情報は、DUETで確認することができます。日時、教室などをよく確認して受講してください。

### 集中講義

科目によっては、特定期間内に集中して行う講義（集中講義）があります。

### 授業教室

(1) 学部授業時間割表は、科目登録・履修に必要な書類とともに、各自に配付されますが、それ以後の教室変更などは、DUETでお知らせしますので、よく注意してください。なお、秋学期開講科目の学部授業時間割表は、9月中旬にあらためて公開、配付します。

(2) 開講当初の授業教室は、学部授業時間割表に記載しています。授業教室は登録者数の増減により変更することがありますので、DUETで変更教室を確認のうえ、授業に出席してください。

(3) 授業教室名はすべて略号と教室番号で記載されています（次頁表）。例えば、京田辺校地の場合「1-201」は知真館1号館201番教室（2階）、「KD202」は恵道館202番教室（2階）を、また、今出川校地の場合「Z地1（ZB1）」は尋真館地下1番教室（地階）、「S32」は至誠館32番教室（3階）を表すものです。

(4) 授業教室は、臨時に変更することがあります。この場合は「臨時教室変更」としてDUETでお知らせしますので、その講時のみ変更された教室で受講してください。

【京田辺キャンパス】

略号	館名
(TC) 1	知真館1号館
(TC) 2	知真館2号館
(TC) 3	知真館3号館
KD	恵道館
TS	頌真館
MK	夢告館
JM	情報メディア館
RM	ローム記念館
KR	交隣館
RG	理化学館
IN	医心館
YE	有徳館西館
YM	有徳館東館
SC	至心館
KC	香知館
HS	報辰館
SO	創考館
CG	知源館
SJ	知証館南館 心理学実験室
D	知証館南館 電気系実験実習棟
IJ	知証館北館 機械系実験実習棟
MS1	知証館北館 機械実習工場
MS2	実習工場別棟
HC	訪知館
BJ	磐上館
KHH	香柏館高層棟
KHL	香柏館低層棟
DV	デヴィス記念館
TW	体育シャワー棟

【今出川キャンパス】

N	寧静館
M	明德館
S	至誠館
K	弘風館
G	神学館
F	扶桑館
CL	クラーク記念館
H	博遠館
T	徳照館
KE	光塩館
RY	良心館

【新町キャンパス】

Z	尋真館
R	臨光館
SS	新創館
KS	溪水館

【烏丸キャンパス】

SK	志高館
----	-----

【室町キャンパス】

KMB	寒梅館
-----	-----

【大阪サテライト】

OS	大阪サテライト
----	---------

情報教室（京田辺キャンパス）

略称	教室名	館名
JM101	情報メディア館演習室1	情報メディア館1階
JM102A~C	情報メディア館情報道場1~3	情報メディア館1階
JM201~206	情報メディア館201~206番教室	情報メディア館2階
JM301~306	情報メディア館301~306番教室	情報メディア館3階
JM402~406	情報メディア館402~406番教室	情報メディア館4階
TS101・102	頌真館101・102番教室	頌真館1階
TS202	頌真館202番教室	頌真館2階

情報教室（今出川キャンパス）

K21・22・25	弘風館21・22・25番教室	弘風館2階
RY307~315	良心館307~315番教室	良心館3階

情報教室（新町キャンパス）

R303・304	臨光館303・304番教室	臨光館3階
----------	---------------	-------

情報教室（烏丸キャンパス）

SK地1・地9	志高館地下1・地下9番教室	志高館地階
---------	---------------	-------

KSR	継志寮
-----	-----

授業の録音・録画等について

科目担当者が事前に許可した場合を除き、次の行為を禁止します。

- (1)授業の撮影（黒板・スクリーン等の撮影を含む）
- (2)授業の録音・録画
- (3)授業において配付した資料の複写
- (4)視聴のためにサーバ等に保存した授業動画のダウンロード
- (5)上記(1)~(4)により取得したものの第三者への譲渡・公開等

成績評価の方法について

本学の成績評価は、期末試験、期末試験以外の評価により、多面的に行います。

1. 期末試験

各学期末の定められた期間に行われる試験を期末試験といいます。期末試験は教室で行われるものとレポートを含みます。

2. 期末試験以外の評価

期末試験以外の評価の方法には、レポート、小テスト、オンラインテスト、平常点等が含まれます。期末試験以外の評価は授業内で実施されるものだけでなく、授業時間外に取り組み課題も含まれます。

3. 追試験

病気またはやむを得ない理由のために、期末試験または学部教授会が認める期末試験以外の評価を受けることができなかった場合に限り行われる試験を追試験といいます。受験希望者は以下の点に注意してください。

- a. 当該科目の試験日の翌日から起算して3日以内（窓口業務休止日を除く）に、追試験願を所属学部・研究科窓口へ提出しなければならない。ただし、課外活動のために受験できない場合、追試験願は事前に提出し承認を受けなければならない。
- b. 追試験願には、当該試験を受験できなかった事由を証明する以下の書類を添付しなければならない。
- c. 追試験ごとに1,000円の追試験料を必要とする。ただし、裁判員制度および検察審査会制度を事由とする追試験については、追試験料を免除する。なお、追試験を未受験であった場合でも追試験料は返還しない。
- d. 追試験は通常の試験と同等に評価される。減点はされない。
- e. レポートは追試験の対象にはならないが、提出締切日・時間に突発的な事故等やむを得ない事由により、提出締切時間に間に合わなくなった場合は、必ず提出締切時間までに提出先に連絡を取り、指示を受けること。
- f. 追試験も何らかの事情により受験できなかった場合には、これに対する追試験は実施しない。

対象事由例	必要な証明書類
本人の病気、怪我	医師の診断書（試験当日安静が必要である旨の記載が必要） 学校感染症の場合は、大学所定の『学校において予防すべき感染症』罹患証明書』でも可
親族（2親等内）の死亡 （適用期間は次のとおりとする。 ・死亡日を1日目とした7日以内。 ・死亡前日を1日目として遡った3日以内。）	死亡診断書、会葬案内等
教育実習	免許資格課程センター事務室の証明書
介護等体験	免許資格課程センター事務室の証明書
館園実習	免許資格課程センター事務室の証明書
社会福祉援助、精神保健福祉援助に関する実習	社会学部・社会学研究科事務室の証明書
公認心理師に係る心理実習	心理学部・心理学研究科事務室の証明書
就職試験 （採用に関わらないインターンシップや説明会等は除く。）	企業等が発行する就職(採用)試験受験証明書(注) (大学所定用紙あり)
大学院入学試験	当該大学院が発行する受験証明書
正課科目のインターンシップ	キャリアセンター、または大学コンソーシアム京都が発行する証明書
大学コンソーシアム京都単位互換科目、同志社女子大学単位互換科目の定期試験	当該科目設置大学が発行する受験証明書
国家試験	当該試験の受験票
課外活動	事前届出に基づく学生支援センターの証明書
災害	被災証明書
路線の遅延、不通 （通学証明書に記載された通学区間における路線の15分以上の延着の場合に限る。）	交通機関が発行する延着証明書
裁判員制度 （裁判員候補者として裁判員等選任手続に参加 ・裁判員、補充裁判員として職務に従事	裁判所が発行する証明書
検察審査会制度 ・検察審査員、補充員として職務に従事	検察審査会事務局が発行する証明書

(注) 対象事由が発生した場合は、企業等に証明書の作成を依頼してください。依頼にあたり不明点等ある場合は、キャリアセンターに問い合わせてください。

#### 4. 期末試験に関する注意事項

##### 受験上の注意

- (1) 受験のためには次の条件を備えていることが必要です。
  - a. 有効な登録がなされた科目であること。
  - b. 学費納入が済んでいること。
  - c. 科目担当者の指定する条件を備えていること。なお、授業日数の3分の2以上の出席がない場合は、科目担当者の判断によって、受験資格を取消することがある。
- (2) 試験場においては次のことを守らなければなりません。
  - a. 指定された試験場で受験すること。
  - b. 必ず学生証を持参し、机上に提示すること。万一、持参しなかった場合は、その試験の始まる前に証明書自動発行機(発行手数料100円)で仮学生証を発行すること。
  - c. 持込みを許された物以外はすべて鞆・袋などに入れること。なお、携帯電話(スマートフォンを含む)、パソコン(モバイルPC等を含む)、タブレット端末、スマートウォッチ等の通信機器、携帯音楽プレーヤー等の携帯型録音再生機器等(以下「携帯機器類」という。)については、電源を切って鞆や袋などに入しうこと(携帯機器類は時計代わりの使用も認めない)。
  - d. 試験開始より15分以上遅刻したものは受験できない。また、試験開始後30分を経過するまでは退室できない。
  - e. 受験者は学生証と答案用紙の氏名との照合確認を受けること。
  - f. 答案用紙の学生ID、氏名は必ずペン書とする。
  - g. 試験を放棄する場合も答案用紙に学生ID、氏名を記入して提出すること。答案用紙を持ち帰ってはならない。
  - h. その他すべて試験監督者の指示に従うこと。
- (3) 次の場合には、その答案は無効とみなされることがあります。
  - a. 無記名の場合。
  - b. 指定された試験場で受験しなかった場合。
  - c. 氏名を訂正した場合。
- (4) 次の行為は、不正行為として取り扱います。
  - a. 本人以外の者が、本人になりすまして試験を受けること。
  - b. 試験を受験するにあたって、机上や衣服、身体等に書き込みをすること。
  - c. 試験を受験するにあたって、持ち込みや使用を認められたものに書き込みをする等、本来の使用目的と異なる使い方をすること。
  - d. 試験時間中に、カンニングペーパー類や持ち込みを許可されていない参考書・ノート類を持ち込んだり、他の受験生の答案を見ること、他の人から答えを教わること。
  - e. 試験時間中に、答えを教える等の他の受験生を利するような行為をすること。
  - f. 答案用紙配付から回収までの私語や答案の見せ合い、交換をすること。
  - g. その他、試験監督者の指示に従わないこと。
- (5) 次の行為は、不正行為として取り扱う場合があります。
  - a. 試験時間中に、使用を認められていない器具を使用して解答すること。

講時	試験時間
1	9:20~10:30
2	11:00~12:10
3	13:25~14:35
4	15:05~16:15
5	16:45~17:55
6	18:25~19:35
7	20:05~21:15

##### 窓口受付時間(開講期間)

	月~金曜日	土曜日	
今出川	今出川キャンパス教務センター 文学部、法学部、経済学部、今出川校地教務課、 免許資格課程センター事務局、 全学共通教養教育センター事務局	9:00~11:30 12:30~17:00 総合窓口 8:40~17:00	総合窓口のみ 8:40~11:30 12:30~17:00
	新町総合窓口 社会学部事務局、政策学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00 総合窓口 8:40~17:00	
	神学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	閉室
	商学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	
	グローバル地域文化学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	
京田辺	国際教育インスティテュート事務局 国際教養教育院事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	閉室
	京田辺キャンパス教務センター 生命医科学部、スポーツ健康科学部、心理学部、 グローバル・コミュニケーション学部、 免許資格課程センター事務局、京田辺校地教務課	9:00~11:30 12:30~17:00 総合窓口 9:00~17:00	閉室
	文化情報学部事務局 理工学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	閉室

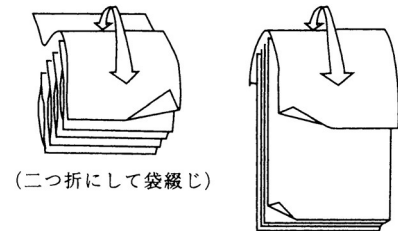
登録期間、休暇期間は受付時間が変わります。窓口受付時間が変更になる場合は、大学HP、掲示等によってお知らせします。  
※ 教務センターの総合窓口では、一般的な質問の受付等を行います。

- b. 試験監督者の試験開始の指示の前に解答を始めること。
  - c. 試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
  - d. 試験場において、他の受験生の迷惑となる行為をすること。
  - e. 試験時間中に、携帯電話(スマートフォンを含む)、パソコン(モバイルPC等を含む)、タブレット端末、スマートウォッチ等の通信機能を有する機器、携帯音楽プレーヤー等の携帯型録音再生機器等(以下「携帯機器類」という。)を身に付けていたり、指示された以外の場所・状態で保管していること。
  - f. 試験時間中に、携帯機器類・時計等の音(着信、アラーム、振動音等)を鳴らすこと。
  - g. その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- (6) 上記の(4)または(5)に該当する行為があつて、当該学部教授会がそれを不正行為と認定した場合は、その試験が実施された学期中の全科目を不合格(2004年度生以降)または0点(2003年度生以前)とし、これを公表します(ただし、当該教授会が定める科目については除く)。

##### 期末試験として実施するレポートの注意

- (1) レポート提出時は、次のことに注意すること。
  - a. レポートには所定の表紙(同志社生協で販売又は、[https://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/exam\\_type.html](https://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/exam_type.html)でダウンロード可)を付けること。
  - b. 表紙およびレポート受領書は、ペン書きのこと。
  - c. 学生証を持参のうえ、必ず本人が提出すること。郵送は認めない。
  - d. 提出締切日・時間に遅れたレポートは、受け付けない。ただし、提出締切日の突発的な事故等やむを得ない事由により、提出締切時間に間に合わない場合、必ず提出締切時間までに提出先に連絡を取り指示を受けること。
  - e. 一度提出したレポートは、提出締切日前であっても加筆・修正はできない。
  - f. レポート受領書は、評価が出るまで大切に保管すること。

〈見本〉 原稿用紙 レポート用紙



- (2) レポートに関する不正行為について。

次のようなレポートの不正作成は、教室で行われる試験と同様に不正行為として取扱い、教授会が認定した場合は学部一般内規に従って処分の対象とします。

- a. レポートの作成にあたって、他人の著作物やWEB上の情報等を参照・引用したにもかかわらず、引用部分の明示や出典の記載もなく、自身で作成したように記述すること。
- b. 他人が作成したレポートを自身が作成したものと提出すること。

- c. 他人に依頼し作成させたレポートや電子的なツールやソフト等に指示し生成させたレポートを自身が作成したのとして提出すること。
- d. 他人に依頼されてレポートを作成すること。
- e. 転記目的で他人が作成したレポートの提供を受けること、また自身が作成したレポートを転記目的で他人に提供すること。
- f. その他、レポートの公平性を損なう行為をすること。

### 5. 期末試験以外の評価について

期末試験以外の評価においても、評価の方法により、上記「4. 期末試験に関する注意事項」が適用されることがある。同様に、上記「3. 追試験」の対象となることもあるので、詳細は所属の学部・研究科事務室窓口で照会すること。

## 学業成績

### 成績評価

#### (1) 2004年度生以降

- a. 学業成績は以下の基準にしたがいA、B、C、D、Fの5段階で評価され、D以上が合格、Fが不合格です。就職用成績証明書等、本学以外で使用するために発行する学業成績証明書には、D以上の評価を得た科目とその成績に加えて、履修した全ての科目のGPA (Grade Point Average) が記載されます。

判定基準

評価	評点	判定内容
A	4.0	特に優れた成績を示した
B	3.0	優れた成績を示した
C	2.0	妥当と認められる成績を示した
D	1.0	合格と認められる最低限度の成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

- b. GPAは、A～Fの段階で評価された全科目の評価を評点を換算して、その単位数で加重平均することによって算出されます。GPAの算出方法は次のとおりです。

$$GPA = \frac{(A) \times 4.0 + (B) \times 3.0 + (C) \times 2.0 + (D) \times 1.0 + (F) \times 0.0}{(A) + (B) + (C) + (D) + (F)}$$

(A)～(F)はA～Fの評価が付いた科目の単位数の合計

#### (2) 2003年度生以前

- a. 学業成績の評価は、100点満点で60点以上が合格、それに満たないものは不合格です。ただし、就職用成績証明書等、本学以外で使用するために発行する学業成績証明書には優、良、可(英文の場合はA、B、C)による評価が使用されます。優(A)は100～80点、良(B)は79～70点、可(C)は69～60点です。
- b. 平均点は、合格点に達している科目の得点を、その単位数で加重平均することによって算出されます。加重平均の算出方法は次のとおりです。

$$\text{平均点} = \frac{(\text{各科目の得点} \times \text{単位数}) \text{の合計}}{\text{総単位数}}$$

## 成績発表

履修科目の成績は、春学期末(9月中旬)と秋学期末(3月中旬)に各自に通知します。それ以前の成績の照会には応じません。

### 採点質問

成績評価に関する質問や異議申し立てをしたい場合は、定められた成績通知日から1週間以内に、所属の学部・研究科窓口で採点質問票を提出してください。

### 不合格科目

#### (1) 2004年度生以降

F評価であった科目を再び履修してD以上の評価を得た場合は、直近のF評価についてのみGPAに算入されません。

ただし、一部の科目については取扱いが異なる場合がありますので、各学部の配布物等を参照してください。

#### (2) 2003年度生以前

不合格となった科目を再び履修して合格点を得た場合は、以前の不合格点は合格点に変更されます。

### 卒業の可否発表

卒業の可否の発表は2月下旬から3月上旬の卒業判定教授会終了後、各学生(父母住所宛)に通知します。それまでは、成績および卒業可否についての問い合わせは一切応じません。

## クレーム・コミッティ制度

科目担当者との直接的なコミュニケーションでは解決できない授業内容や授業方法に関する改善の要望がある場合は、所属の学部・研究科窓口で相談してください。学部・研究科で相談の内容を確認後、必要に応じて各学部等のクレーム・コミッティが事実関係を調査し、クレームに関わる一連の対応について回答します。

なお、いかなる場合であっても、相談者の学生IDや氏名が科目担当者に明かされることはなく、また相談によって決して不利益を被ることはありません。

## 欠席届

授業に欠席し、その理由を科目担当者へ伝える場合は、欠席届を利用します。欠席届の用紙は学部・研究科事務室または各キャンパス教務センターで配布していますので、必要事項を記入の上、科目担当者に直接提出してください。なお、欠席届は任意で提出するものですので、届出必要科目は各自で判断してください。

### ○提出の際の留意点

- ・欠席届は、欠席の事由を科目担当者へ伝える届です。本学には「公欠」の制度はありませんので、「追試験の対象となる事由」に該当する事由か否かにかかわらず、欠席届の取扱い(欠席扱いにしない・する等)は、担当者の判断に委ねられます。
- ・欠席の事由を客観的に証明する書類がある場合は、欠席届に添付して提出してください(コピーでも可)。  
例) 病気の場合は「診断書」

※ただし、欠席の事由が以下に該当する場合は、まずそれぞれの窓口で申し出て相談してください。

事由	相談窓口
学校感染症罹患による出席停止	所属の学部窓口
免許資格課程が必修としている 正課科目の実習（教育実習、博 物館実習、図書館演習）や介護 等体験に参加	免許資格課程センター事務室 （各キャンパス教務センター内）
資格取得に必修となっている 正課科目の実習に参加、など	当該科目の設置学部・研究科 事務室、所属の学部窓口
裁判員制度によるもの	所属の学部窓口
検察審査会制度によるもの	所属の学部窓口

# 路線の不通または暴風警報・特別警報発表に伴う 授業・期末試験の実施について

路線が不通の場合や暴風警報、特別警報が発表された場合には、授業および期末試験の実施について以下の措置をとります。

## I. 路線が不通の場合

- ・「1. 対象となる路線」の定める条件に合致した場合、発生時の次の講時から授業休講・期末試験中止とします。
- ・開通後は、「2. 開通時刻と授業・期末試験開始講時」により開始講時を決定します。
- ・該当交通機関の事故等による一時的な運転見合わせの場合には、平常どおり授業・期末試験を実施しますのでご注意ください。

### 1. 対象となる路線

次のイ、ロ、ハのいずれかひとつの条件に合致する場合、発生時の次の講時から授業休講・期末試験中止とします。

[今出川校地]

- イ. 京都市営バスおよび地下鉄が同時に全面不通の場合
- ロ. 次表のa～dの2以上が同時に不通（全面または部分を問わず）の場合

路線		
a	阪急電車	京都河原町～大阪梅田間
b	京阪電車	出町柳～淀屋橋間
c	近鉄電車	京都～大阪難波間（大和西大寺経由）
d	JR	神戸～米原間

[京田辺校地]

- イ. 京都市営バスおよび地下鉄が同時に全面不通の場合
- ロ. 近鉄電車（京都～大和西大寺間）が全面不通の場合
- ハ. 次表のa～eの2以上が同時に不通（全面または部分を問わず）の場合

路線		
a	阪急電車	京都河原町～大阪梅田間
b	京阪電車	出町柳～淀屋橋間
c	近鉄電車	京都～大阪難波間（大和西大寺経由）
d	JR	神戸～米原間
e	JR	木津～京橋間

## 2. 開通時刻と授業・期末試験開始講時

開通後は、次表の通り、開始講時を決定します。

授業・期末試験開始講時（※期末試験の時間帯は、授業時間と異なりますのでご注意ください。）

開通時刻	開始講時
6時30分までに開通	1講時から実施（平常どおり）
10時40分までに開通	3講時から実施
15時55分までに開通	6講時から実施
15時56分時点で不通が継続中	全講時休講

※司法研究科の期末試験開始講時は次表の通りとします。

期末試験開始講時

開通時刻	開始講時
6時30分までに開通	1講時(9時30分)から実施(平常どおり)
10時00分までに開通	2講時(13時00分)から実施
12時30分までに開通	3講時(15時30分)から実施
12時31分以後に開通	全講時実施しない

II. 暴風警報あるいは特別警報発表の場合

- ・「1. 警報発表対象地域」に示す表の府県予報区、一次細分区域、市町村等をまとめた地域、または二次細分区域のいずれかひとつを対象に暴風警報あるいはなんらかの特別警報が発表された場合、発表時の次の講時から、その日の授業・期末試験の実施を中止します。
- ・ただし、発表された時点で、すでに実施中もしくは開始直前の授業・期末試験については、警報の緊急性等を考慮の上で、大学がその中止を判断します。
- ・特別警報が発表された場合、該当地域は非常に危険な状況にあります。特別警報発表地域にいる学生は、各自ただちに命を守る行動をとってください。特別警報の種類は問いません。ただし、特別警報発表時に大学構内にいる学生は、大学の指示に従って行動してください。また自宅や通学中の学生で特別警報が発表された地域にいる場合は、自身の判断により、命を守るために最善と思われる行動をとってください。
- ・警報解除後、危険が回避されたことが確認された場合には、「2. 警報解除時刻と授業・期末試験開始講時」により開始講時を決定します。ただし、状況判断の上、別途指示することがあります。

I. 警報発表対象地域

府県予報区	一次細分区域	市町村等をまとめた地域	二次細分区域
京都府	南部	南丹・京丹波	南丹市、京丹波町
		京都・亀岡	京都市、亀岡市、向日市、長岡京市、大山崎町
		山城中部	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町
		山城南部	木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村
大阪府	大阪府	北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
		東部大阪	守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市
		大阪市	大阪市
		南河内	富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
		泉州	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町

## 2. 警報解除時刻と授業・期末試験開始講時

警報解除後は、次表の通り、開始講時を決定します。

授業・期末試験開始講時（※期末試験の時間帯は、授業時間と異なりますのでご注意ください。）

警報解除時刻	開始講時
6時30分までに解除	1講時から実施（平常どおり）
10時40分までに解除	3講時から実施
15時55分までに解除	6講時から実施
15時56分時点で警報が発表中	全講時休講

※司法研究科の期末試験開始講時は次表の通りとします。

期末試験開始講時

警報解除時刻	開始講時
6時30分までに解除	1講時（9時30分）から実施（平常どおり）
10時00分までに解除	2講時（13時00分）から実施
12時30分までに解除	3講時（15時30分）から実施
12時31分時点で警報が発表中	全講時実施しない。

- Ⅲ. I、Ⅱにかかわらず、授業・期末試験を行うことが困難もしくは危険であると学長が判断した場合、休講・中止とすることがあります。
- Ⅳ. I. に定めた路線において計画運休の確定情報が発表された場合、不通となる路線に応じて、授業の休講、期末試験の中止などの措置をとることがあります。
- Ⅴ. 路線の不通や暴風警報・特別警報の発表、荒天・自然災害などにより、平常どおり授業・期末試験を行うことができない時には、大学HP、同志社大学ポータル、DUET、e-class等を利用して、大学や授業担当者から、必要に応じた連絡を行います。大学HP、同志社大学ポータル、DUET、e-class等をこまめに確認してください。

以上